Canon

Zoom Lens

CN20x50

取扱説明書「情報ディスプレイ」

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

JPN

Memo

日本語版

Memo

はじめに

このたびは、キヤノンズームレンズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の取扱説明書の構成は下記の通りです。

- 取扱説明書「はじめにお読みください」（製品同梱）
- 取扱説明書「規制」（製品同梱）
- 取扱説明書「レンズ」（Web）
- 取扱説明書「情報ディスプレイ」（Web）
- クイックガイド「情報ディスプレイ 」（Web）
- 被写界深度表（Web）

この取扱説明書「情報ディスプレイ」では、情報ディスプレイの操作方法および操作手順が記載されていますので、ご覧ください。

この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。
この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止されています。

目次

はじめに 3

取扱説明書の見方 7

表記方法一覧 8

各部の名称 9

各部の名称と機能 9

操作キーの名称と操作方法 9

基本的な操作の流れ 10

1. 画面構成について 11

1.1 Top 画面 12

1.2 MENU 画面 14

2. モードを選択する 17

2.1 操作モードについて 18

3. 簡易モードで操作する 19

3.1 Top 画面から設定する 20

3.1.1 簡易モードを選択する 21

3.1.2 Top 画面について 22

3.1.3 オートアイリスゲインを設定する 24

3.1.4 AUX スイッチに機能を割り付ける 25

3.1.5 メカ端を自動調整する 26

3.1.6 AUX1 スイッチに機能を割り付ける 27

3.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切り替える 28

3.1.8 AUX2 スイッチに機能を割り付ける 29

3.1.9 アイリストルクを設定する 30

3.1.10 ズームカーブモードを設定する 31

3.2 MENU 画面から設定する 33
3.2.1 User 画面で設定する 34
3.2.2 Switch 画面で設定する 40
3.2.3 Preset 画面で設定する 44
3.2.4 Iris 画面で設定する 48
3.2.5 Zoom 画面で設定する 55
3.2.6 Focus 画面で設定する 59
3.2.7 Info 画面で設定する 61
3.2.8 Fol. 画面で設定する 68
3.3 設定一覧 70

4. 通常モードで操作する 73

4.1 Top 画面から設定する 74
4.1.1 通常モードを選択する 75
4.1.2 Top 画面について 76
4.1.3 ユーザーを切り替える 78
4.1.4 簡易モードに切り替える 79
4.1.5 メカ端を自動調整する 80
4.1.6 アイリスゲインを設定する 81
4.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切り替える 83
4.1.8 AUX スイッチに機能を割り付ける 84
4.1.9 アイリストルクを設定する 85
4.1.10 AUX1 スイッチに機能を割り付ける 86
4.1.11 VTR スイッチに機能を割り付ける 87
4.1.12 AUX2 スイッチに機能を割り付ける 88
4.1.13 RET スイッチに機能を割り付ける 89
4.1.14 ズームカーブモードを設定する 90
4.1.15 シーソーに機能を割り付ける 92
4.1.16 アイリス A/M スイッチを設定する 93
4.1.17 エスケープ操作をする 94
4.2 MENU 画面から設定する 95
4.2.1 User 画面で設定する 96
4.2.2 Switch 画面で設定する 113
4.2.3 Preset 画面で設定する 121
4.2.4 Iris 画面で設定する 127
4.2.5 Zoom 画面で設定する 134

4.2.6 Focus 画面で設定する 145
4.2.7 Info 画面で設定する 147
4.2.8 FoI. 画面で設定する 154

4.3 設定一覧 156

5. アナログモードで操作する 159

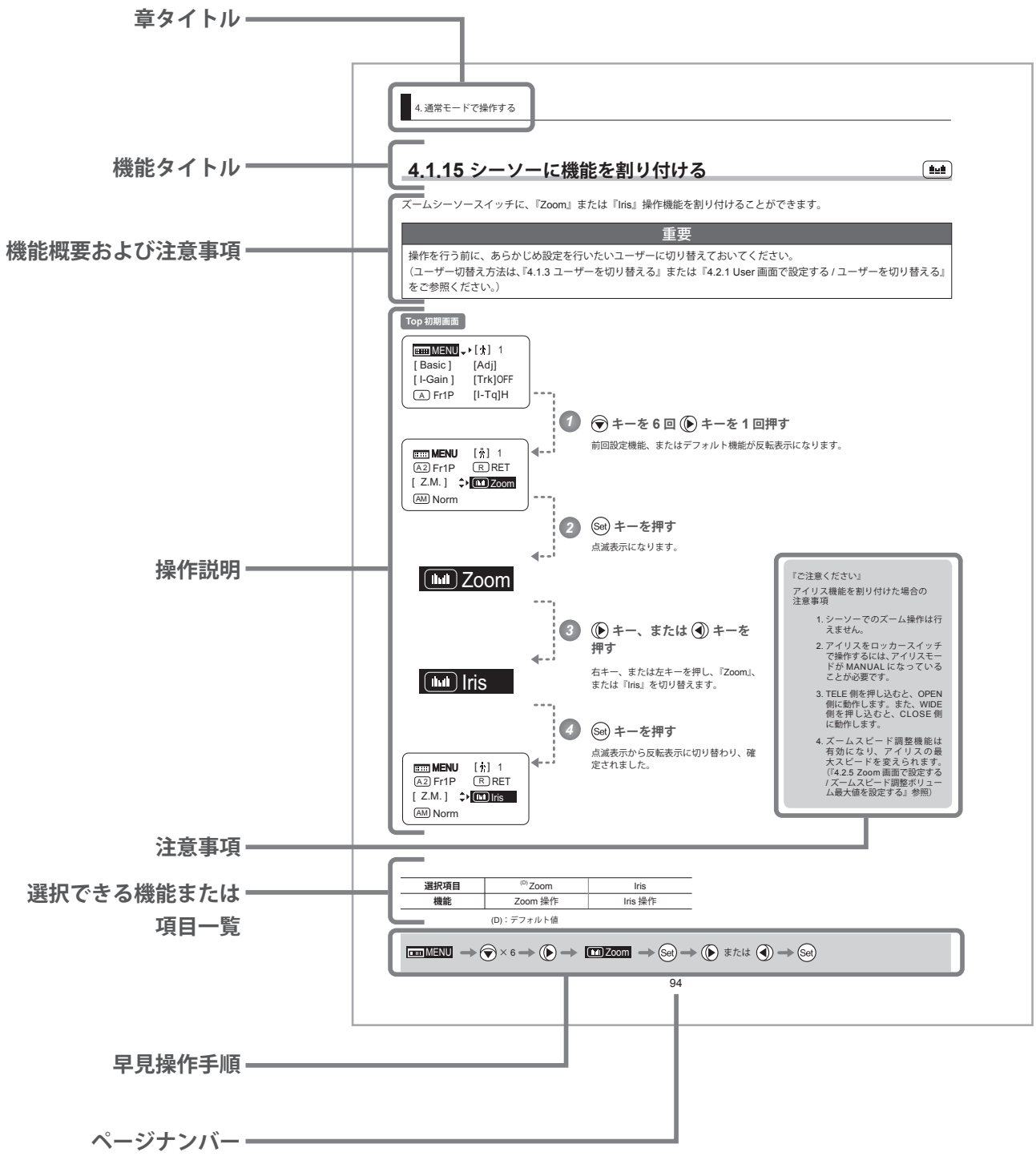
5.1 Top 画面から設定する 160
5.1.1 アナログモードを選択する 161
5.1.2 Top 画面について 162
5.1.3 オートアイリスゲインを設定する 163
5.1.4 簡易モードに切り替える 164

5.2 MENU 画面から設定する 165
5.2.1 User 画面で設定する 166

5.3 設定一覧 171

取扱説明書の見方

操作手順ページは以下のようになっています。



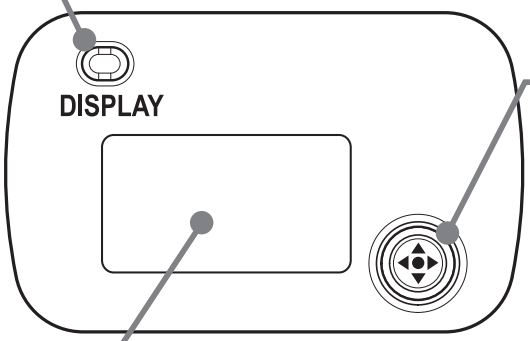
表記方法一覧

取扱説明書内での表記方法は、以下のようになっています。

表記	説明	例
●● 画面	情報ディスプレイの画面名は、下線を付けて表記します。	「Top 画面が表示されます。」など
［　　］	設定項目名は［　］で表記します。	「［Frame1］に下線が表示されます。」など
『　　』	選択項目名や選択機能名は『　』で表記します。	「『FAST』を選択してください。」など

各部の名称

各部の名称と機能



ディスプレイスイッチ

ディスプレイを表示する際、押します。
1 度押すとディスプレイが表示され、
もう 1 度押すと表示が消えます。

操作キー

ディスプレイでの設定操作は全て、
このキーにて行います。
操作方法により 5 種類の機能と名称
に変化します。
（下表『操作キーの名称と操作方法』
をご覧ください。）

ディスプレイ

ディスプレイスイッチが押された際
に表示されます。
操作しない状態が 2 分以上続きます
と、ディスプレイ表示は消えます。

操作キーの名称と操作方法

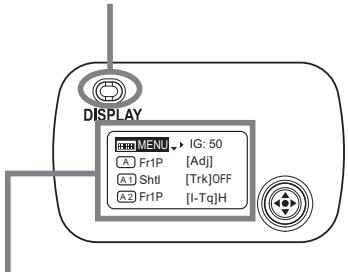
名称	操作	詳細	操作方法での記述
Set キー	押す PUSH	画面表示に『 』が出た場合や、選択を確定する際に押します。	Set キー
右キー	右方向に押す	画面表示に『▶』が出た際にキー操作が有効になります。	キー
左キー	左方向に押す	画面表示に『◀』が出た際にキー操作が有効になります。	キー
上キー	上方向に押す	画面表示に『▲』が出た際にキー操作が有効になります。	キー
下キー	下方向に押す	画面表示に『▼』が出た際にキー操作が有効になります。	キー

基本的な操作の流れ

1 **レンズの電源を入れます。**

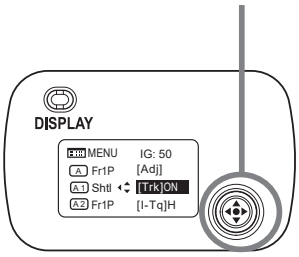
『ご注意ください』
レンズの電源の入れ方はカメラ取扱説明書をご覧ください。

2 **ディスプレイスイッチを押す。**



ディスプレイが点灯します。

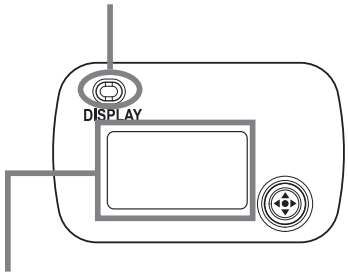
3 **操作キーを使用し、各種設定を行います。**



変更内容が保存されます。

『ご注意ください』
操作キーを操作しない状態が 2 分以上続くと、ディスプレイは自動的に消灯します。（自動消灯）ただし、Fol. 画面表示中は何分経過しても自動消灯しません。ディスプレイスイッチを押す操作でのみ消灯します。

4 **ディスプレイスイッチを押す。**



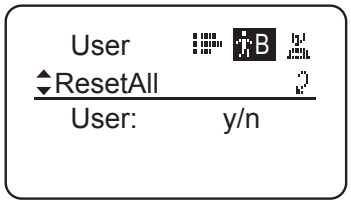
ディスプレイが消灯します。

『ご注意ください』
自動消灯で消灯された場合でも、ディスプレイスイッチで消灯させた場合と同様に、設定変更は保存されています。
ディスプレイ表示中にディスプレイスイッチを押すと設定変更内容を保存し、消灯します。
ディスプレイ表示中に、電源が OFF になった場合は、その変更内容が保存されない可能性があります。

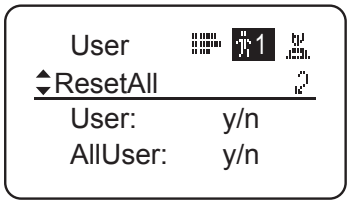
重要

参考：リセットする場合のディスプレイ表示

簡易モード



通常モード



設定を元に戻したいときには

試しに設定してみたときや間違えて設定してしまったときなどに、工場出荷時の初期値に戻すことが可能です。
詳しくは、『3. 簡易モードで操作する』『4. 通常モードで操作する』の「リセットする」をご覧ください。

1

画面構成について

1. 画面構成について

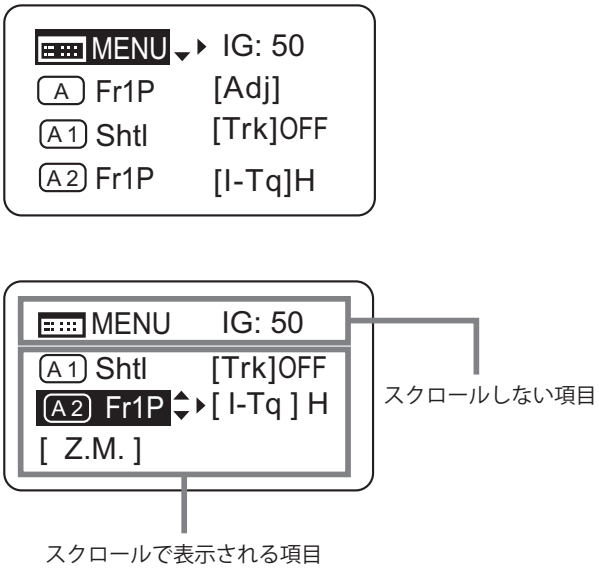
本製品のディスプレイ表示画面において、簡易モードでは 22 種類の設定項目と 3 種類のフォロー相対値表示、通常モードでは 38 種類の設定項目と 3 種類のフォロー相対値表示、またアナログモードでは 3 種類の設定項目が用意されています。よく使用される項目を Top 画面（ディスプレイスイッチを押して表示される画面）に表示しました。全項目の設定、詳細な設定は MENU 画面にて（1. 画面構成について『MENU 画面』参照）設定可能です。

1.1 Top 画面

（設定方法は各モードの操作方法の『Top 画面から設定する』参照）

Top 画面には、簡易モードでは 9 種類、通常モードでは 15 種類、アナログモードでは 3 種類の設定項目が用意されています。

簡易モード Top 初期画面

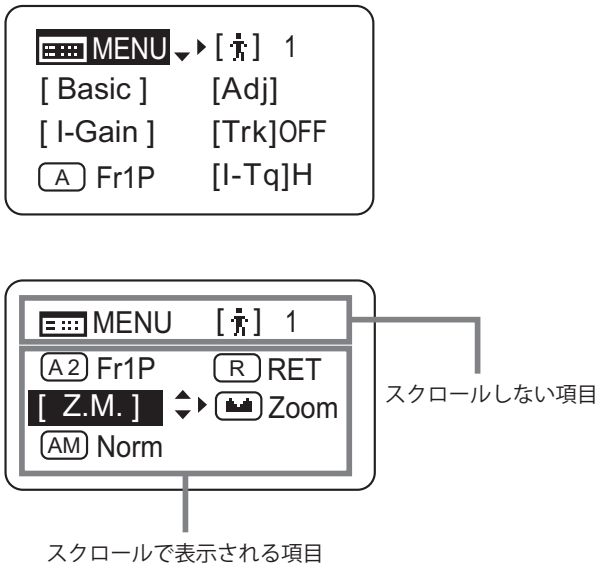


簡易モードの Top 画面構成

9 種類の中で良く使用される設定項目 8 種類が表示されています。残りの 1 種類の設定項目を表示させるには、下キーを押していくことで画面がスクロールし、表示されます。

1. MENU 画面へ
2. オートアイリスゲインの設定
3. AUX スイッチへの機能割付け
4. メカ端の自動調整
5. AUX1 スイッチへの機能割付け
6. ズームトラックの ON/OFF 切替え
7. AUX2 スイッチへの機能割付け
8. アイリストルクの設定
9. ズームカーブモードの設定

通常モード Top 初期画面



通常モードの Top 画面構成

15 種類の中でも最も良く使用される設定項目 8 種類が表示されています。残りの 6 種類の設定項目を表示させるには、下キーを押していくことで画面がスクロールし、表示されます。

1. MENU 画面へ
2. ユーザー切替え
3. 簡易モードへの切替え
4. メカ端の自動調整
5. アイリスゲインの設定
6. ズームトラックの ON/OFF 切替え
7. AUX スイッチへの機能割付け
8. アイリストルクの設定
9. AUX1 スイッチへの機能割付け
10. VTR スイッチへの機能割付け
11. AUX2 スイッチへの機能割付け
12. RET スイッチへの機能割付け
13. ズームカーブモードの設定
14. シーソーへの機能割付け
15. アイリス A/M スイッチの設定

アナログモード Top 初期画面



アナログモードの Top 画面構成

1. MENU 画面へ
2. オートアイリスゲインの設定
3. 簡易モードへの切替え

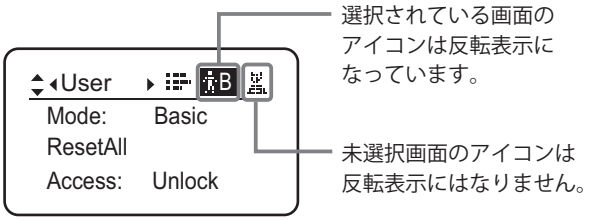
1.2 MENU 画面

（設定方法は各モードの操作方法の『MENU 画面について』参照）

各モードの設定項目とフォロー相対値表示を、機能ごとに分類しました。これらを総称して MENU 画面[*1] といいます。

簡易モードの MENU 画面

簡易モードでは 22 種類の設定項目と 3 種類のフォロー相対値表示を、機能ごとに以下の 8 種類に分類しました。



1. User 画面
2. Switch 画面
3. Preset 画面
4. Iris 画面
5. Zoom 画面
6. Focus 画面
7. Info 画面
8. Fol. 画面

[*1]：MENU 画面という画面自体は存在しませんが、8 種類の画面を総称して MENU 画面と呼びます。

これらの画面を表示するには、Top 画面にある［MENU］を選択し Set キーを押します。始めに User 画面が表示され、右キーまたは、左キーを押すことで画面が切り替わり、他の画面が表示されます。

簡易モードの MENU 画面

User 画面

User
Mode: Basic
ResetAll
Access: Unlock

Switch 画面

Switch
A AUX: Fr1P
A1 AUX1: Shtl
A2 AUX2: Fr1P

Preset 画面

Preset
Frame1: Zoom
Frame2: Zoom
ZSpeed: 800

Iris 画面

Iris
[I-Gain]
Torque: High
Comp: ON

Zoom 画面

Zoom
CurveMode
VR-Dem: ON

Focus 画面

Focus
CurveMode

Info 画面

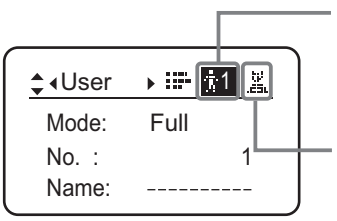
Info
S/N
3D: OFF
Encoder: OFF

Fol. 画面

Fol.
Iris: 1000
Zoom: 0000
Focus: 0000

通常モードの MENU 画面

通常モードでは 38 種類の設定項目と 3 種類のフォロー相対値表示を、機能ごとに以下の 8 種類に分類しました。



選択されている画面のアイコンは反転表示になっています。

未選択画面のアイコンは反転表示にはなりません。

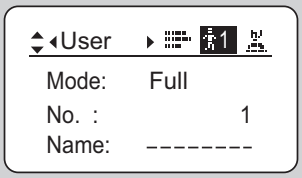
1. User 画面
2. Switch 画面
3. Preset 画面
4. Iris 画面
5. Zoom 画面
6. Focus 画面
7. Info 画面
8. Fol. 画面

*1：MENU 画面という画面自体は存在しませんが、8 種類の画面を総称して MENU 画面と呼びます。

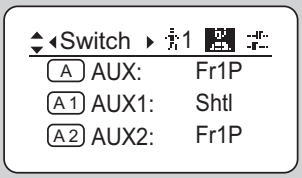
これらの画面を表示するには、Top 画面にある［MENU］を選択し Set キーを押します。始めに User 画面が表示され、右キーまたは、左キーを押すことで画面が切り替わり、他の画面が表示されます。

通常モードの MENU 画面

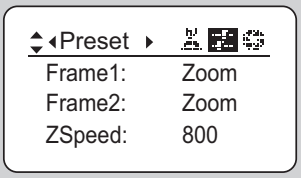
User 画面



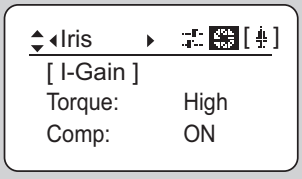
Switch 画面



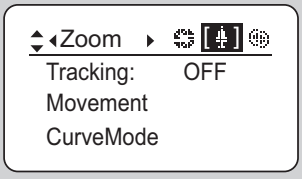
Preset 画面



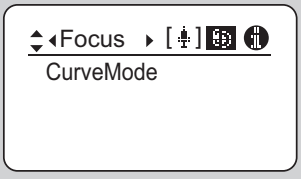
Iris 画面



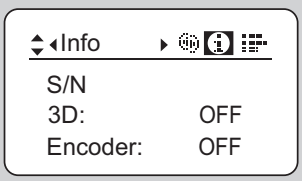
Zoom 画面



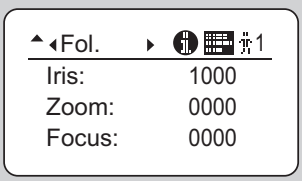
Focus 画面



Info 画面

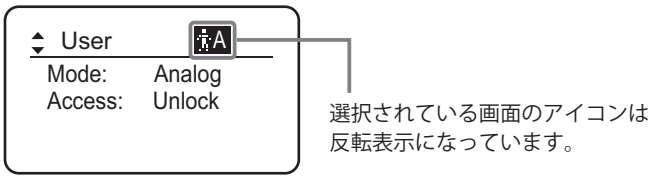


Fol. 画面



アナログモードの MENU 画面

アナログモードでは 2 種類の設定項目を、User 画面として表示します。



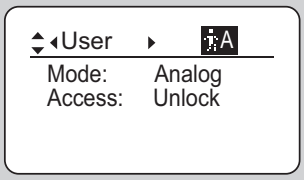
1. User 画面

＊1：MENU 画面という画面自体は存在しませんが、［MENU］を選択して表示される画面を総称して MENU 画面と呼びます。

画面を表示するには、Top 画面にある［MENU］を選択し Set キーを押します。それで User 画面が表示されます。

アナログモードの MENU 画面

User 画面



2

モードを選択する

2. モードを選択する

2.1 操作モードについて

操作モードには下記の 3 つのモードがあり、用途、お好みに応じて選択することができます。

1. 簡易モード： 設定、確認できる項目が限定されており、複雑な設定を必要としないユーザーの方におすすめのモードです。工場出荷時には簡易モードに設定されています。

2. 通常モード： 全ての項目を設定、確認することができるモードです。

3. アナログモード： デジタル機能を全く使用しない場合に選択するモードです。

各操作モードの詳細については、『3. 簡易モードで操作する』『4. 通常モードで操作する』『5. アナログモードで操作する』をご覧ください。

3

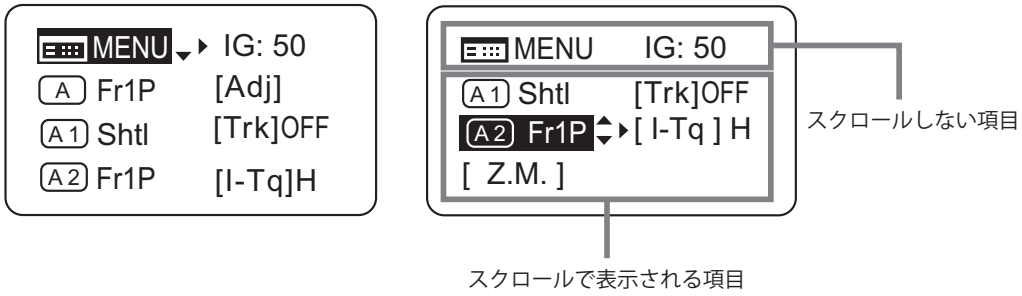
簡易モードで操作する

3. 簡易モードで操作する

3.1 Top 画面から設定する

ディスプレイスイッチを押して表示される画面を Top 画面と言います。
簡易モードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 9 項目です。最初に表示される画面を Top 初期画面と言います。
また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。

簡易モード Top 初期画面

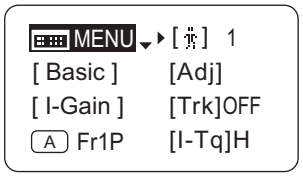


3.1.1 簡易モードを選択する

工場出荷時には簡易モードに設定されていますが、他のモードから簡易モードに切り替える場合は下記の手順にて設定を切り替えることができます。

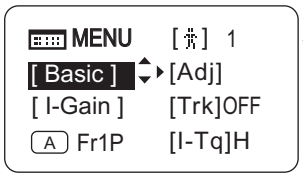
通常モード⇒簡易モードへの切替え

通常モード Top 初期画面



1 ⟲ キーを押す

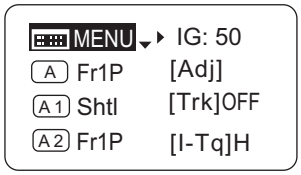
[Basic] が反転表示になります。



2 Set キーを押す

簡易モードの Top 初期画面に切り替わります。

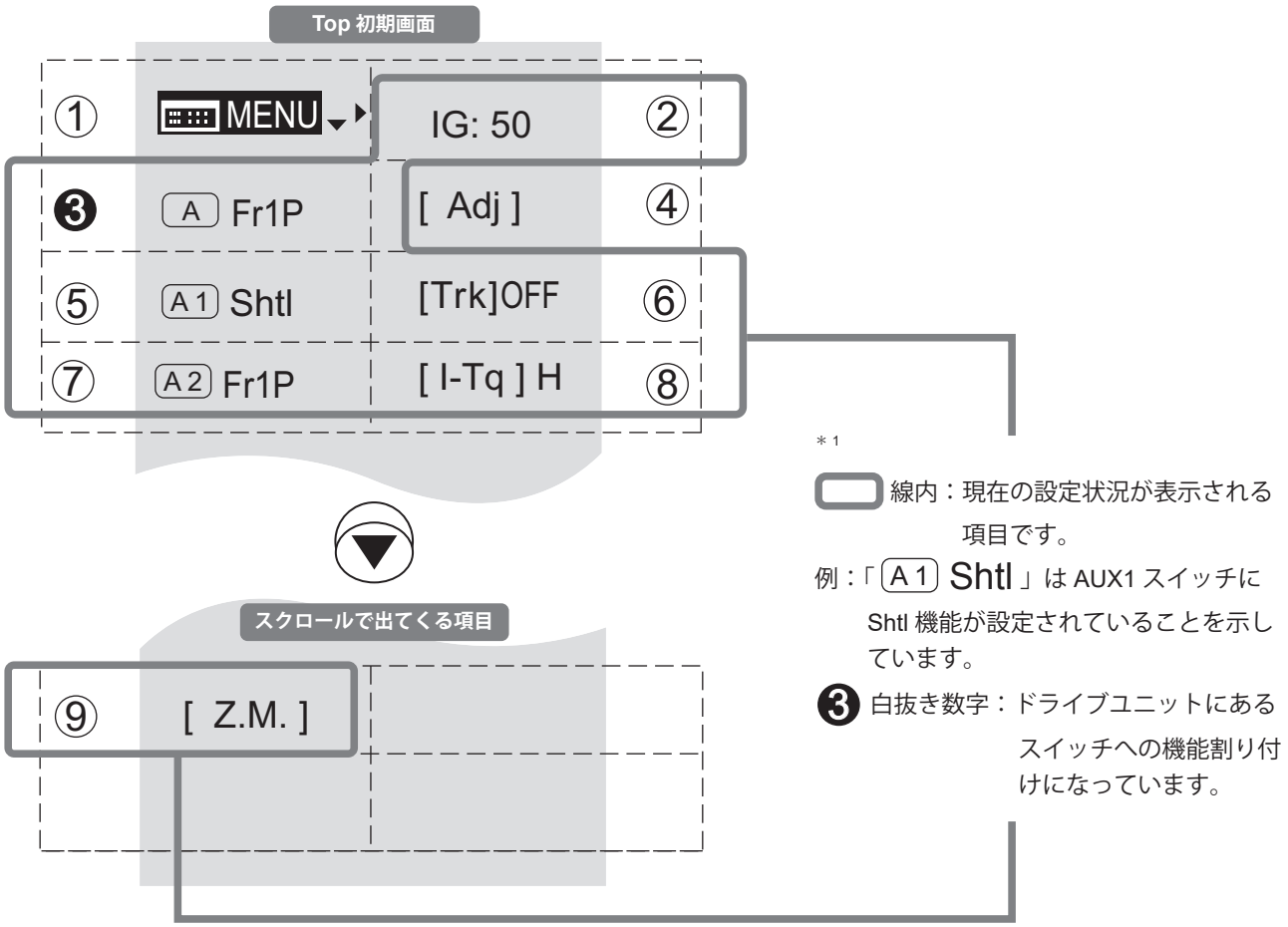
簡易モード Top 初期画面



MENU → ⟲ → [Basic] → Set

3.1.2 Top 画面について

簡易モードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 9 項目で、最初に表示される画面を Top 初期画面といい、8 項目が表示されています。下キーを押していくことで表示がスクロールし、残りの項目が表示されます。（下図参照）
また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。（下図[*1]）



＊1

線内：現在の設定状況が表示される項目です。

例：「A1 Shtl」は AUX1 スイッチに Shtl 機能が設定されていることを示しています。

❸ 白抜き数字：ドライブユニットにあるスイッチへの機能割り付けになっています。

① MENU **MENU 画面**

『3.2 MENU 画面から設定する』をご覧ください。

② IG **オートアイリスゲイン**

オートアイリスゲインの値を変更することができます。

『3.1.3 オートアイリスゲインを設定する』をご覧ください。

❸ A **AUX スイッチ**

ドライブユニットの AUX スイッチには出荷時『フレームプリセット 1』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『3.1.4 AUX スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

④ [Adj] **メカ端自動調整**

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

『3.1.5 メカ端を自動調整する』をご覧ください。

⑤ A 1 **AUX1 スイッチ**

ズームデマンドの AUX1 スイッチには出荷時『シャトル』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『3.1.6 AUX1 スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⑥ [Trk] **ズームトラック**

ズームトラックを使用する際、ON に切り替えます。

『3.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切替える』をご覧ください。

⑦ A 2 **AUX2 スイッチ**

ズームデマンドの AUX2 スイッチには出荷時『フレームプリセット 1』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『3.1.8 AUX2 スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⑧ [I-Tq] **アイリストルク**

アイリスリングをマニュアルで操作したときの操作力を変更することができます。

『3.1.9 アイリストルクを設定する』をご覧ください。

⑨ [Z.M.] **ズームカーブモード**

ズームシーソースイッチの押込み量または、アナログデマンドにあるサムリングの倒し込み量に対するズームスピードの特性を変えられます。

『3.1.10 ズームカーブモードを設定する』をご覧ください。

3.1.3 オートアイリスゲインを設定する [IG]

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
変更方法には、オートアイリスゲイン調整トリマーによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）とディスプレイ操作による変更方法とがあります。2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。
オートアイリスゲインの設定値は、全てのユーザーに共通で使用されます。

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

画面 A

MENU ◂ **IG: 50**
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

1 ▶ キーを押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

点滅表示になります。

IG: 50

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、
または左キーを押します。

IG: 51

4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、
確定されました。

MENU ◂ **IG: 51**
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、

→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。

→ カメラのアイリスモードを［Auto］にします。

『ご注意ください』
レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが最高になるように設定してください。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、3.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

デフォルト値：工場出荷値により異なりますが、アイリスゲイン調整トリマーでの設定値となります。

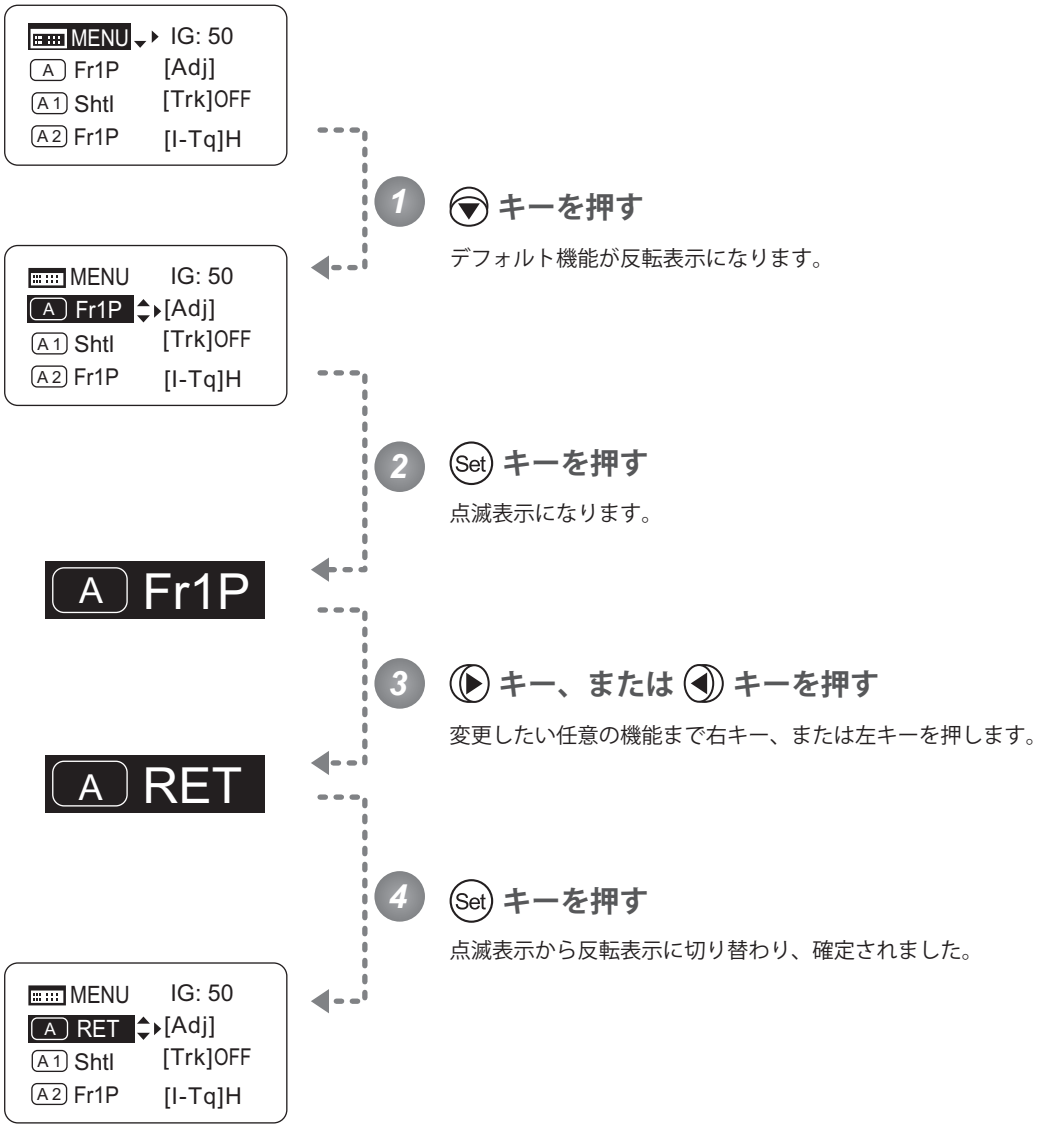
MENU → ▶ → IG → Set → ▶ または ◀ → Set

3.1.4 AUX スイッチに機能を割り付ける

A

AUX スイッチへ機能を割り付けます。

Top 初期画面



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ (設定速度)	Framing Preset1 スイッチ (最高速度)	Framing Preset2 スイッチ (設定速度)	Framing Preset2 スイッチ (最高速度)	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ → A Shtl → Set → ▶ または ◀ → Set

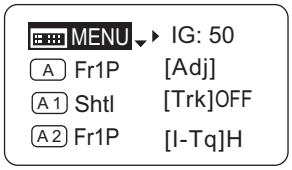
3.1.5 メカ端を自動調整する [Adj]

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

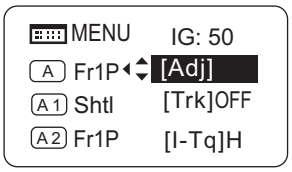
『ご注意ください』

メカ端調整完了時に “Auto-Adjustment: Error/Lens Interface: Non-Connected” と表示された場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。

Top 初期画面



画面 A

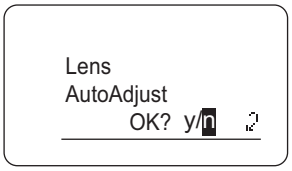


1 ▼ キーを押し、▶ キーを押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

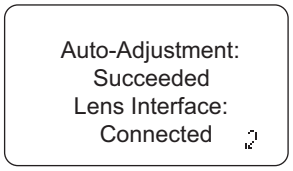
メカ端調整画面に切り替わります。



3 ◀ キーを押し、Set キーを押す

調整を開始します。

調整中は画面が点滅します。



これで調整は完了です。

調整終了後は Set を押すと画面 A に戻ります。

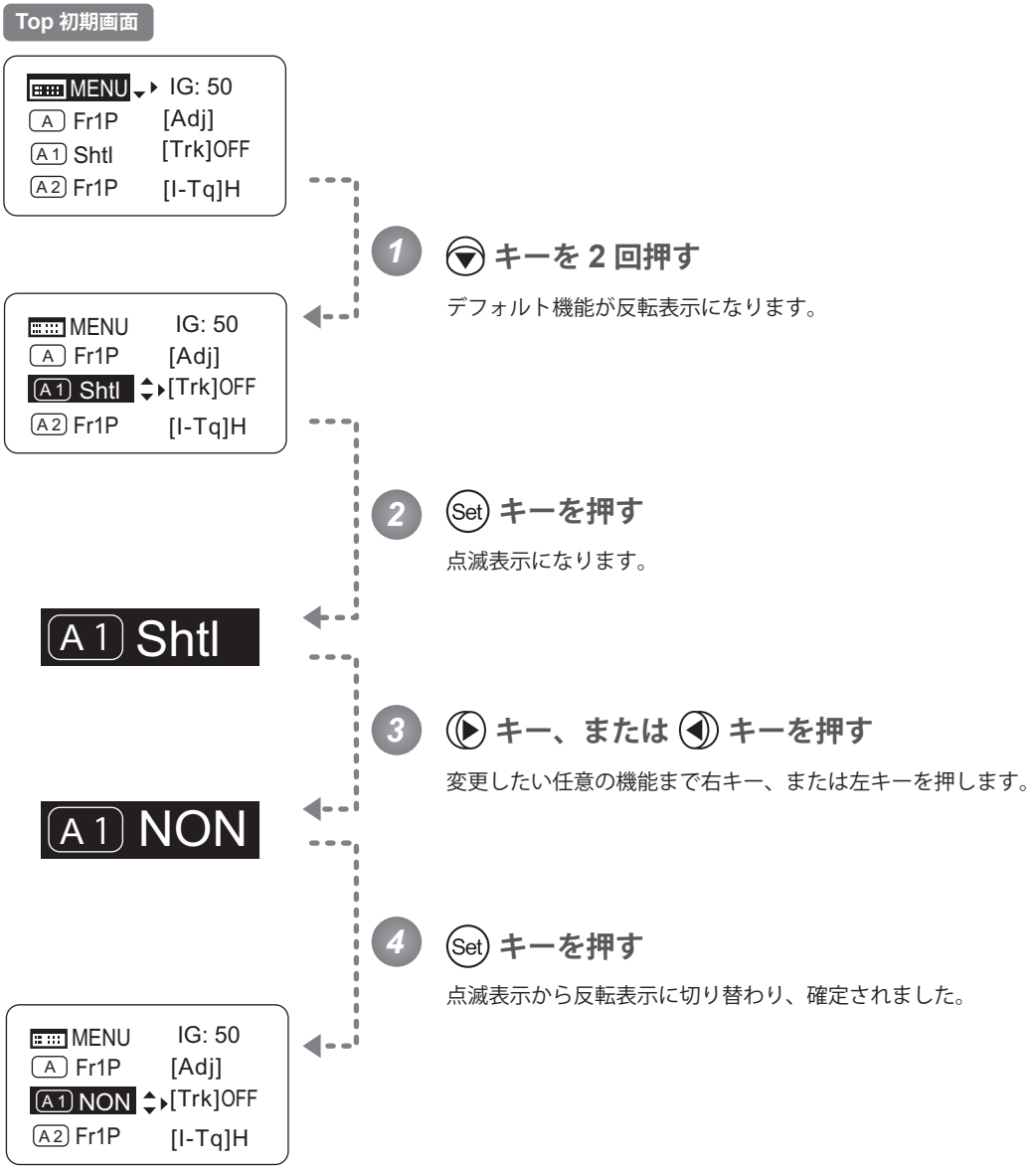
『ご注意ください』

ズーム、フォーカスがマニュアルに設定されている場合、手順 3 の後に “Please Check Servo/Manual OK?” という表示が出ます。確認後、Set キーを押すと、調整を開始します。

MENU → ▼ → ▶ → [Adj] → Set → ◀ → Set

3.1.6 AUX1 スイッチに機能を割り付ける A1

AUX1 スイッチへ機能を割り付けます。



選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	(D) Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ (設定速度)	Framing Preset1 スイッチ (最高速度)	Framing Preset2 スイッチ (設定速度)	Framing Preset2 スイッチ (最高速度)	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → × 2 → A Shtl → Set → または → Set

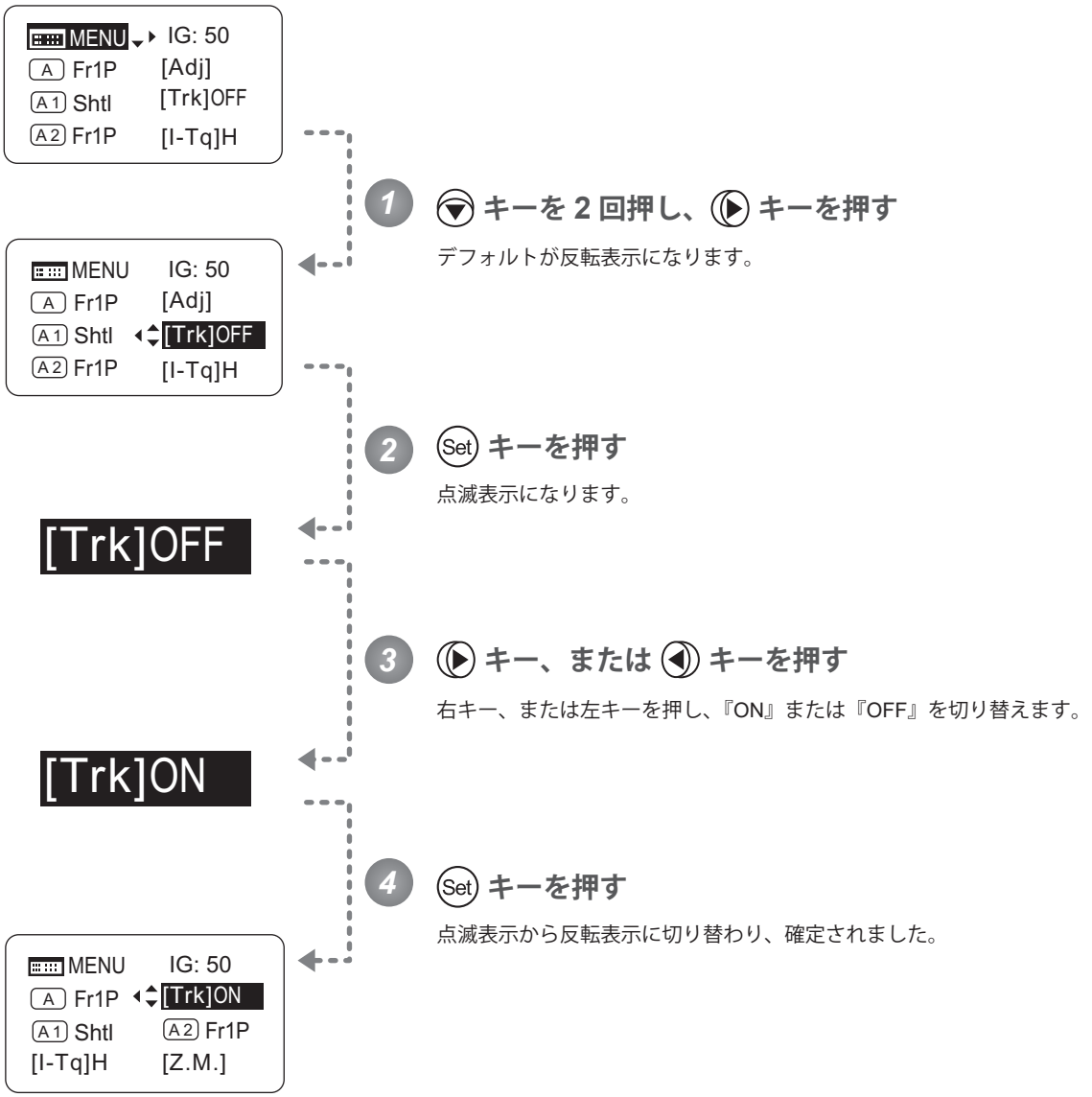
3.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切り替える [Trk]

ズームトラックの ON/OFF を切り替えます。

重要

簡易モードでは、ズームトラックの ON/OFF は、電源 ON 時に常に初期値に戻り、設定変更を記憶しません。

Top 初期画面



選択項目	(D) OFF	ON

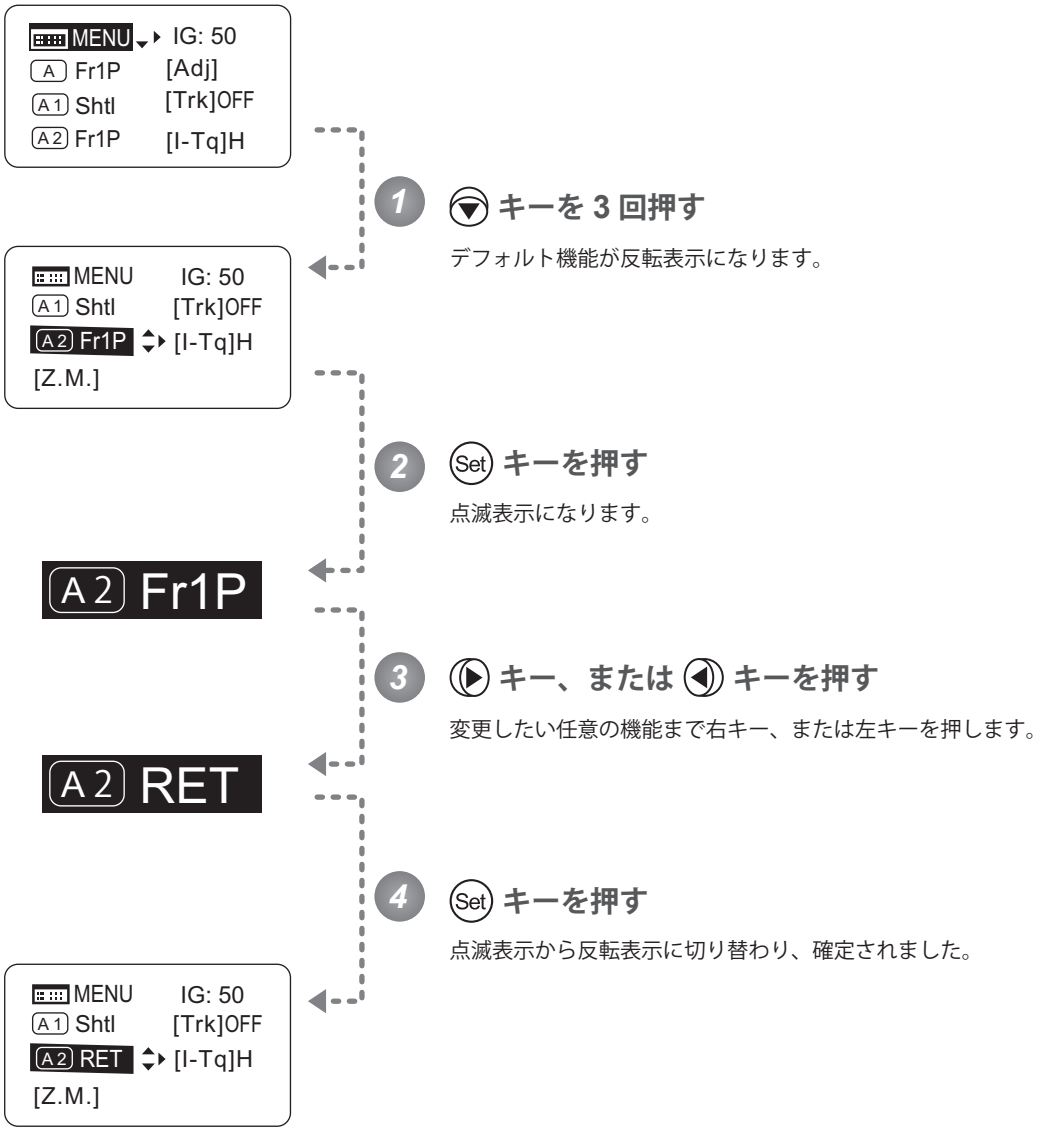
(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 2 → ▶ → [Trk]OFF → Set → ▶ または ◀ → Set

3.1.8 AUX2 スイッチに機能を割り付ける A2

AUX2 スイッチへ機能を割り付けます。

Top 初期画面



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ (設定速度)	Framing Preset1 スイッチ (最高速度)	Framing Preset2 スイッチ (設定速度)	Framing Preset2 スイッチ (最高速度)	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

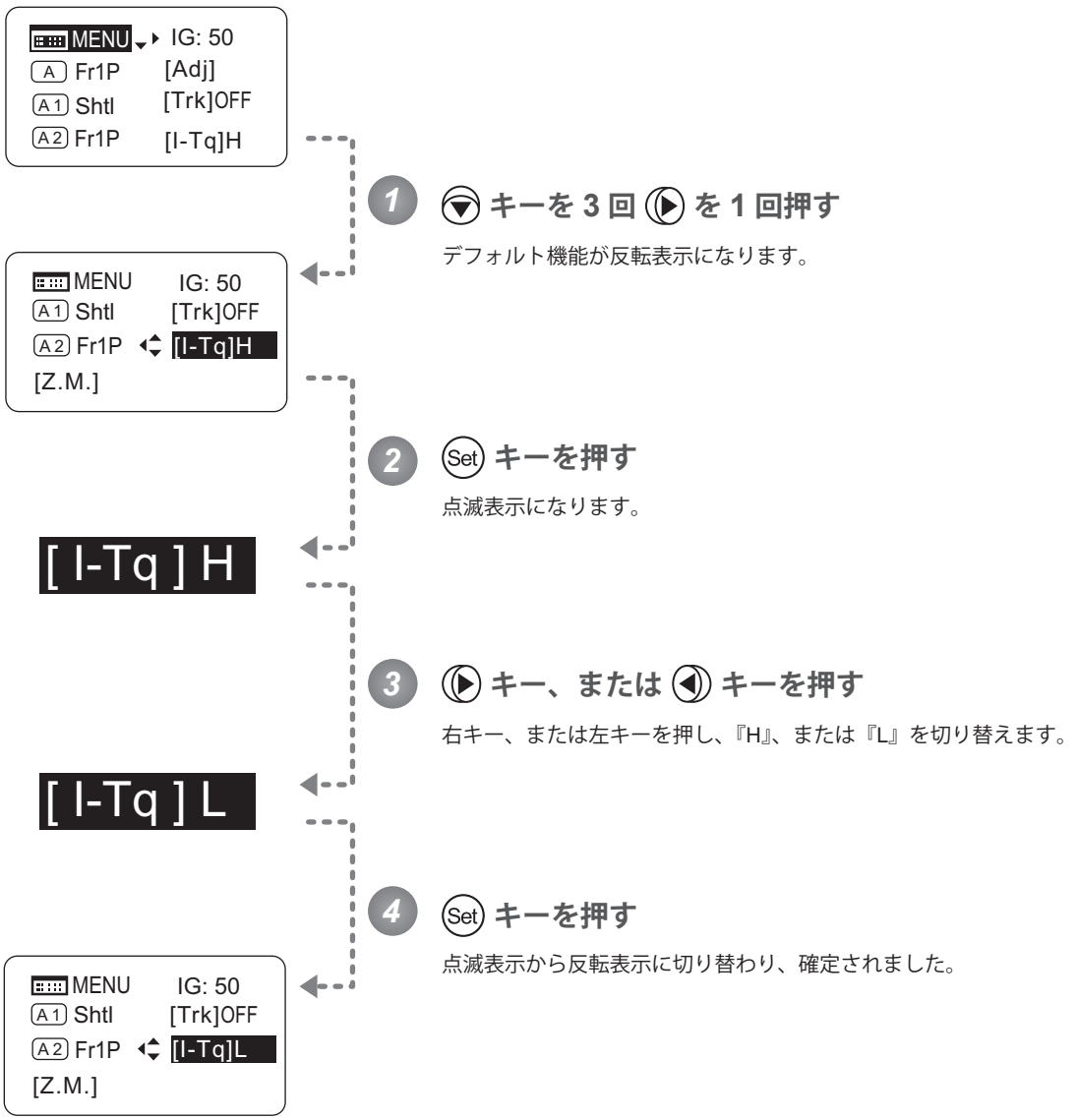
(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 3 → A2 Fr1P → Set → ▶ または ◀ → Set

3.1.9 アイリストルクを設定する [I-Tq]

アイリスリングをマニュアル操作したときの、操作力が選択できます。

Top 初期画面



選択項目	(D) H	L
機能	操作力が重い	操作力が軽い

(D)：デフォルト値

MENU → × 3 → → [I-Tq] H → Set → または → Set

3.1.10 ズームカーブモードを設定する [Z.M.]

シーソーカーブの特性を設定する

ズームシーソースイッチの押込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

画面 A

MENU IG: 50
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H
[Z.M.]

CurveMode 画面

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: ◂D5▸
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: ◂ 3 ▸▸
Demand: 5

1 ▼ キーを 4 回押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

3 ▼ キーを押す

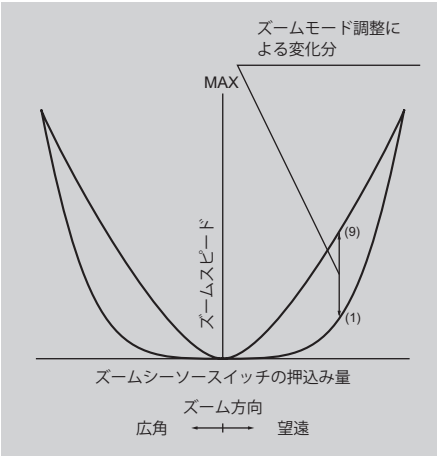
［Seesaw］に下線が付きます。
デフォルト値が反転表示になります。

4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、
または左キーを押します。

5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 4 → [Z.M.] → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

アナログデマンドカーブの特性を設定する

アナログデマンドの倒し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

画面 A

MENU IG: 50
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H
[Z.M.]

CurveMode 画面

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: D5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 8

1 ▼ キーを 4 回押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

3 ▼ キーを 2 回押す

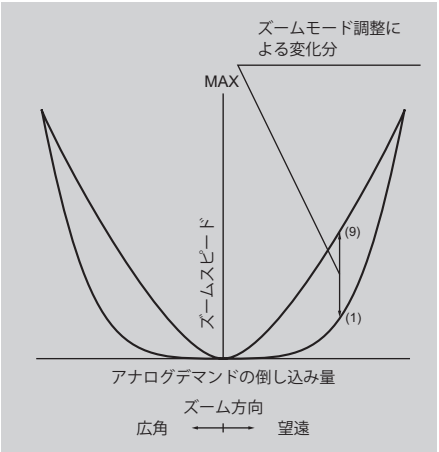
［Demand］に下線が付きます。
デフォルト値が反転表示になります。

4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、
または左キーを押します。

5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

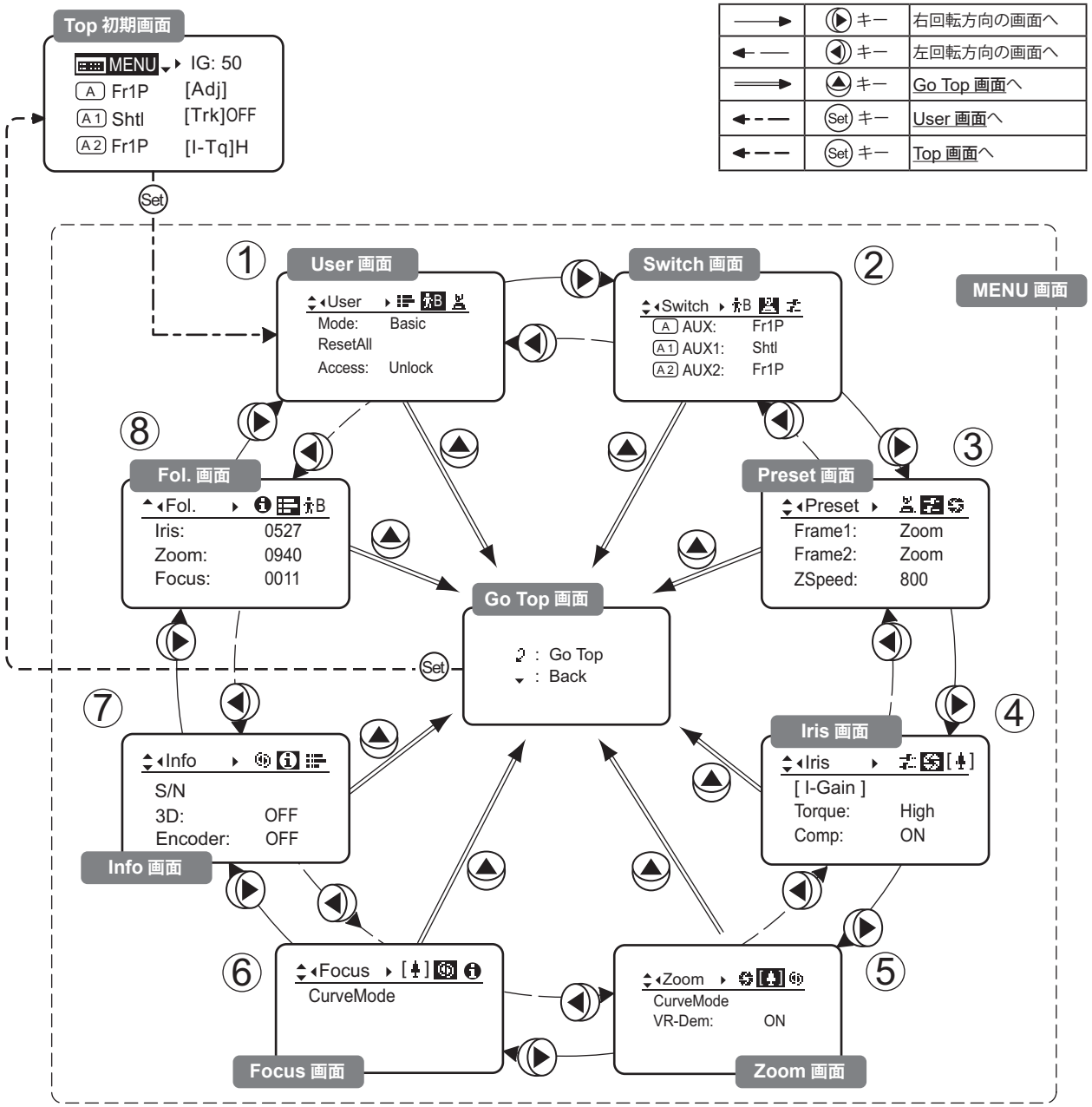
(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 4 → [Z.M.] → Set → ▼ × 2 → ▶ または ◀ → Set

3.2 MENU 画面から設定する

簡易モードの MENU 画面*では、本情報ディスプレイにある 22 種類の設定項目と、3 種類のフォロー相対値表示を設定または表示させることができます。
簡易モードの MENU 画面では、機能ごとに User 画面、Switch 画面、Preset 画面、Iris 画面、Zoom 画面、Focus 画面、Info 画面、Fol. 画面の 8 種類に分類されています。
Top 画面の［MENU］を選択し Set キーを押すと、まず始めに User 画面が表示されます。右キー、または左キーを押すことで、他の 7 画面に切り替えることができます。（下図参照）

*： MENU 画面という画面そのものは存在しませんが、8 種類の画面を総称して MENU 画面と呼びます。
機能タイトル横に Top の表示がある設定項目は、Top 画面でも設定可能です。



①	User 画面	3.2.1
②	Switch 画面	3.2.2
③	Preset 画面	3.2.3
④	Iris 画面	3.2.4
⑤	Zoom 画面	3.2.5
⑥	Focus 画面	3.2.6
⑦	Info 画面	3.2.7
⑧	Fol. 画面	3.2.8

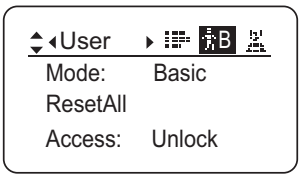
3.2.1 User 画面で設定する

簡易モードのユーザーは、User B です。

User 画面では下記項目が設定できます。

モードを切り替える
リセットする
ロックモードを設定する

簡易モード User 画面

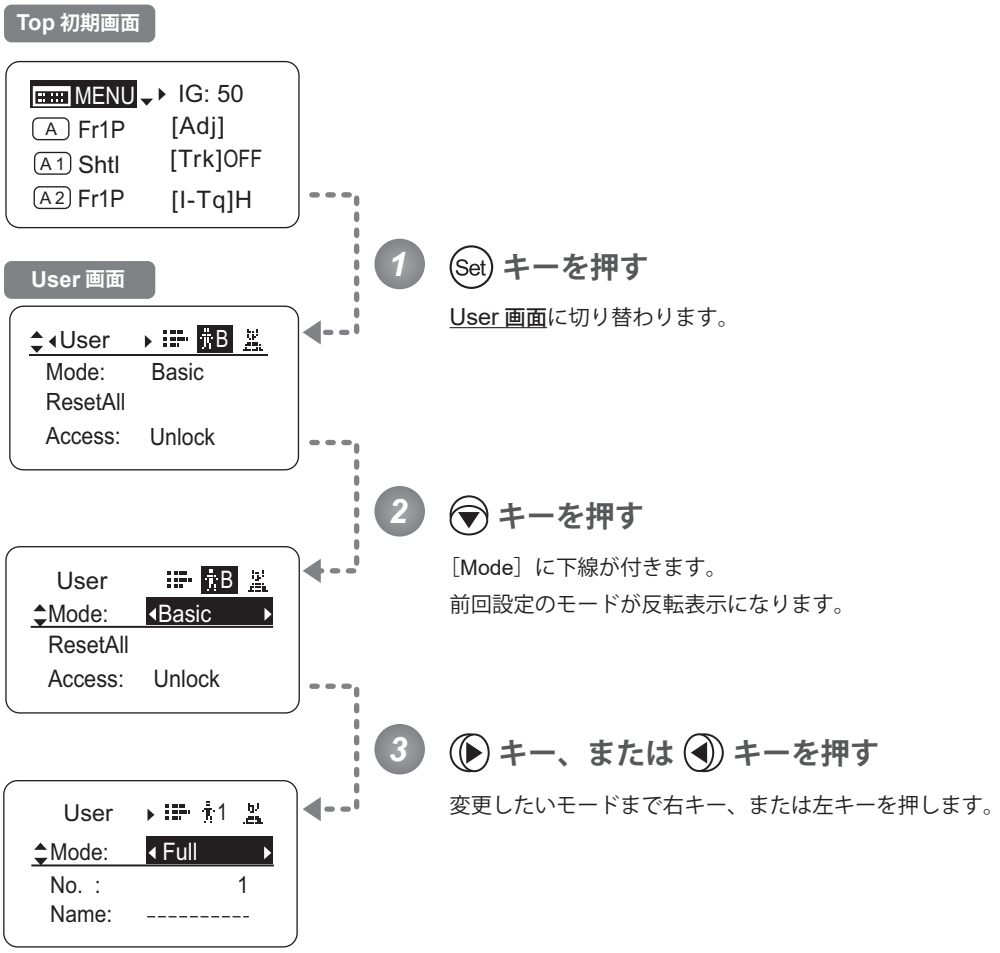


モードを切り替える

使用するモード（通常モード、アナログモード）への切替えができます。

重要

電源を OFF しても、モードの切替え設定を記憶します。



選択項目	(D) Basic	Full	Analog
設定保存	簡易モード	通常モード	アナログモード

(D)：デフォルト値

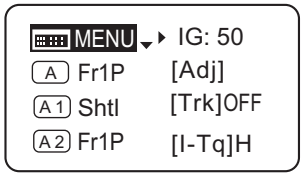
MENU → Set → User → → → または

リセットする

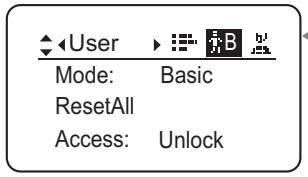
1 つのユーザーに設定された内容をリセットし、デフォルト値に戻すことができます。

『ご注意ください』
アイリスゲイン値については、リセットは行われません。リセット前の値が残ります。

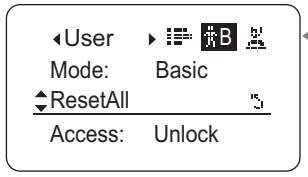
Top 初期画面



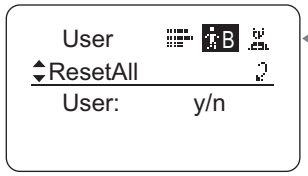
User 画面

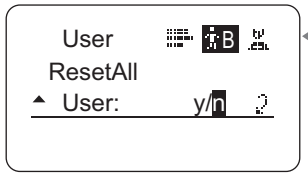


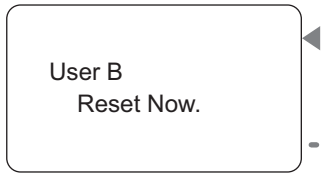
タイトル Reset



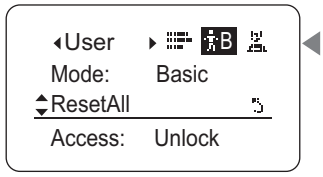
Reset 画面







タイトル Reset



1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 2 回押す

［ResetAll］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

Reset 画面に切り替わります。

『ご注意ください』
手順 5 の Set キーを押すまでは、リセットをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。リセットせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

4 ▼ キーを押す

あらかじめ選択しておいたユーザーをリセットしてもよいかを聞いてきます。

5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

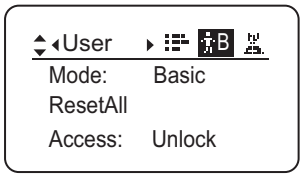
一時的に『リセット中』を表す画面表示になり、タイトル Reset に戻ります。
これでリセットされました。

MENU → Set → User → ▼ × 2 → Set → ▼ → ◀ → Set

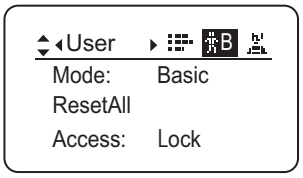
ロックモードを設定する

設定した機能が容易に変更されないようにするため、特定の機能にロックモードを設定できます。

Unlock 状態



Lock 状態



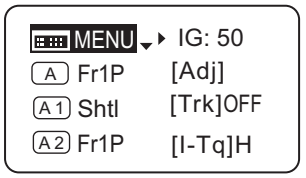
『ご注意ください』

Lock 状態では下記項目の設定のみが可能で、それ以外の設定はできなくなります。

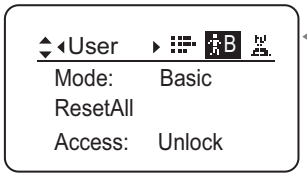
- プリセットデーター (ShtlShot 位置、FramePreset 位置、PresetSpeed) の設定
- AutoIrisGain 設定

（1）Lock 操作

Top 初期画面



User 画面

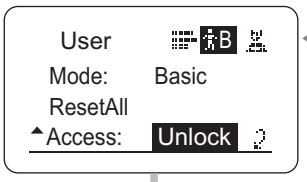


1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

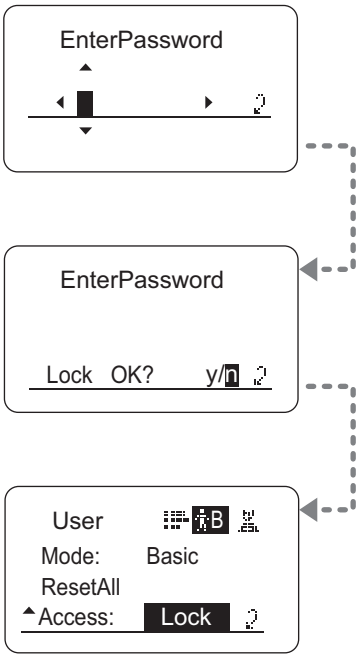
前回設定値、またはデフォルト値が反転表示になります。



3 Set キーを押す

次ページへ

前ページより



4 パスワードを入力し、Set キーを押す

パスワード文字入力

上下キーで文字を探し、桁の移動および修正をするときは左右キーで行ってください。
パスワード入力完了までは、絶対に Set キーを押さないでください。

5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

Lock が設定されました。

『ご注意ください』

パスワードについて
本製品には、パスワードを特別に設けておりません。Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードです。したがって、パスワードは毎回メモを取っておくなどしてください。パスワードを忘れた場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。パスワードは未入力から最大 8 桁まで入力できます。

パスワード入力可能文字

選択項目	(D) __ー ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
文字数	最大 8 文字まで

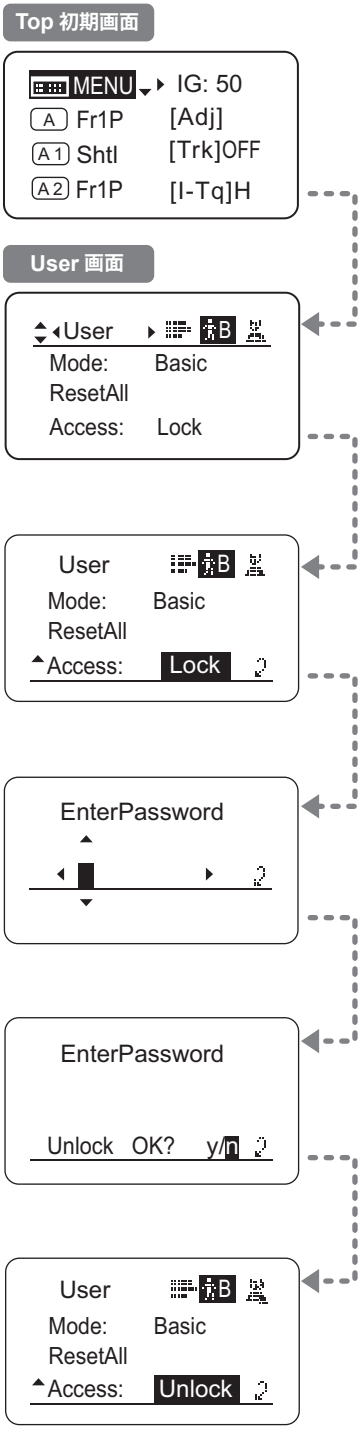
(D)：デフォルト値
__ ：スペース

選択項目	(D) Unlock	Lock

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▼ × 3 → Set → パスワード入力 → Set → ◀ → Set → DISPLAY

（2）Unlock 操作



1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

前回設定値、またはデフォルト値が反転表示になります。

3 Set キーを押す

4 パスワードを入力し、Set キーを押す

Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードになります。

5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

Unlock が設定されました。

選択項目	(D) Unlock	Lock

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▼ × 3 → Set → パスワード入力 → Set → ◀ → Set → DISPLAY

3.2.2 Switch 画面で設定する

Switch 画面では下記項目が設定できます。

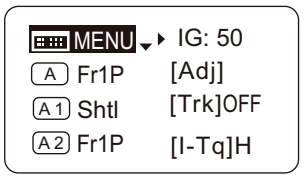
AUX スイッチに機能を割り付ける Top
AUX1 スイッチに機能を割り付ける Top
AUX2 スイッチに機能を割り付ける Top

Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

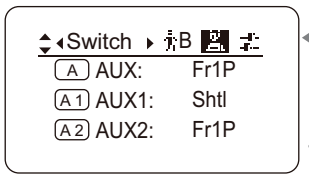
AUX スイッチに機能を割り付ける Top

AUX スイッチに、機能を割り付けることができます。

Top 初期画面



Switch 画面

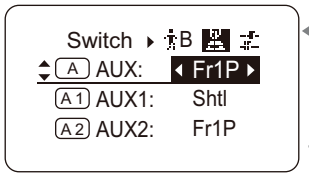


1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

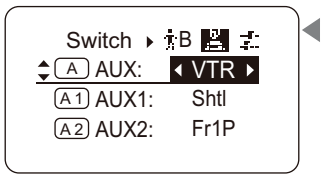
2 ▼ キーを押す

［AUX］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

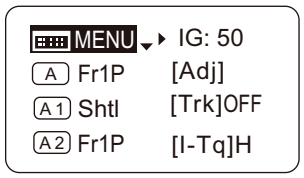
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch B → ▼ → ▶ または ◀

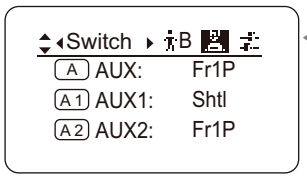
AUX1 スイッチに機能を割り付ける Top

ズームデマンドの AUX1 スイッチに、機能を割り付けることができます。

Top 初期画面

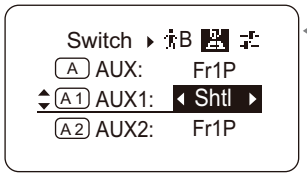


Switch 画面



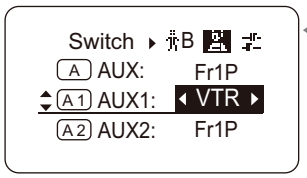
1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 2 回押す

［AUX1］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	(D) Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

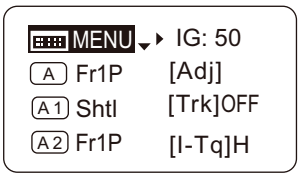
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch B → ▼ × 2 → ▶ または ◀

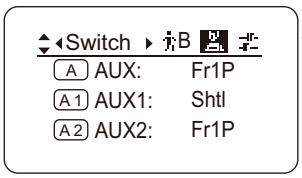
AUX2 スイッチに機能を割り付ける Top

ズームデマンドの AUX2 スイッチに、機能を割り付けることができます。

Top 初期画面



Switch 画面

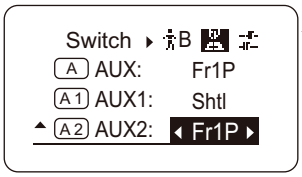


1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

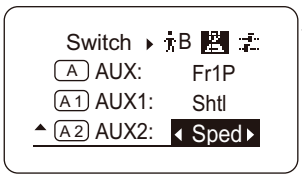
2 ▼ キーを 3 回押す

［AUX2］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch B → ▼ × 3 → ▶ または ◀

3.2.3 Preset 画面で設定する

Preset 画面では下記項目が設定できます。

Frame Preset1 の制御対象を切り替える

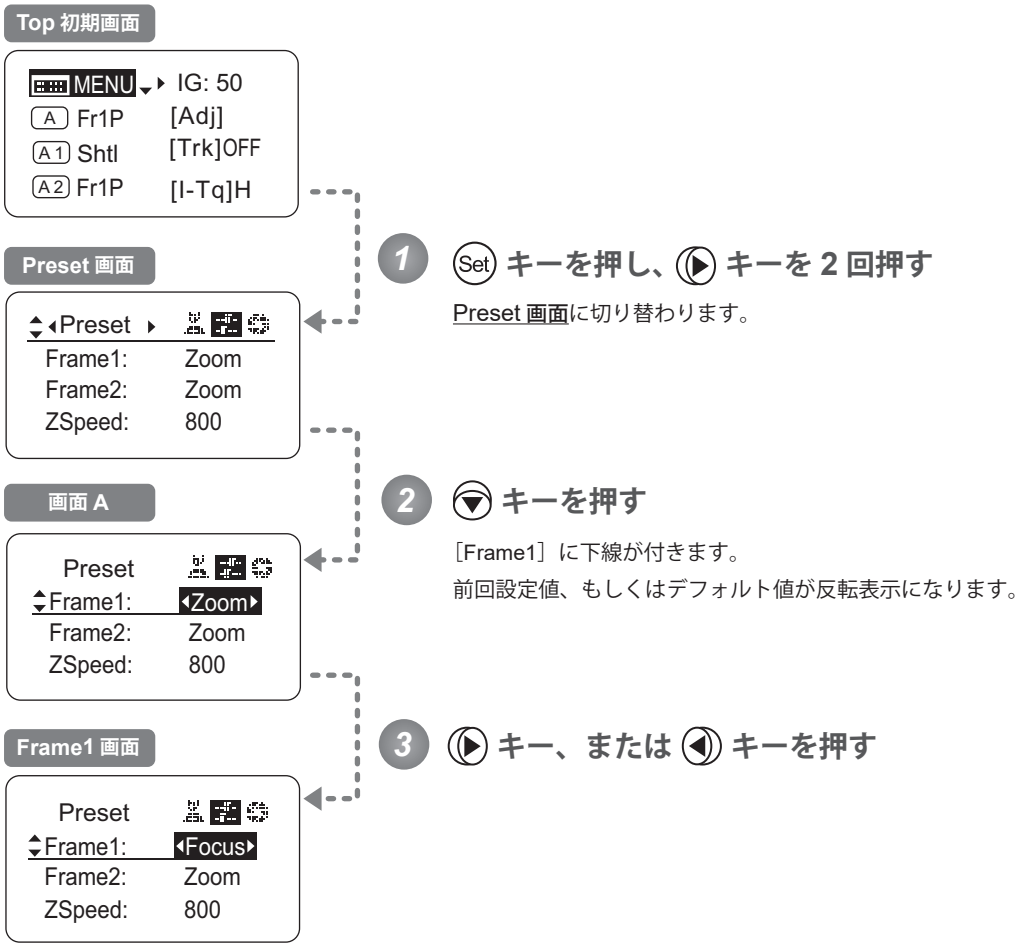
Frame Preset2 の制御対象を切り替える

プリセットモード時のズームスピードを設定する

Frame Preset1 の制御対象を切り替える

フレームプリセット 1 の制御対象を切り替えることができます。

Zoom ： ズームがメモリ位置へ移動
Focus ： フォーカスがメモリ位置へ移動
Z+F ： ズーム、フォーカスがメモリ位置へ移動



選択項目	(D) Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム動作制御	フォーカス動作制御	ズーム + フォーカス動作制御

(D)：デフォルト値

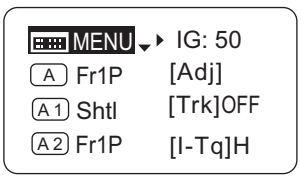
MENU → Set → ▶ × 2 → Preset → ▼ → ▶ または ◀

Frame Preset2 の制御対象を切り替える

フレームプリセット 2 の制御対象を切り替えることができます。

Zoom ： ズームがメモリ位置へ移動
Focus ： フォーカスがメモリ位置へ移動
Z+F ： ズーム、フォーカスがメモリ位置へ移動

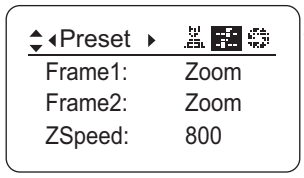
Top 初期画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

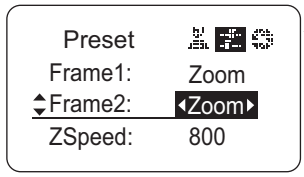
Preset 画面



2 ▼ キーを 2 回押す

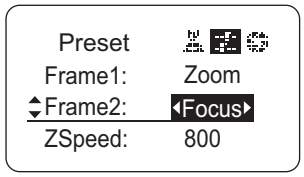
［Frame2］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

画面 A



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

Frame2 画面



選択項目	(D) Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム動作制御	フォーカス動作制御	ズーム + フォーカス動作制御

(D)：デフォルト値

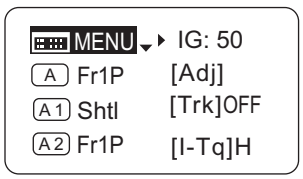
MENU → Set → ▶ × 2 → Preset → ▼ × 2 → ▶ または ◀

プリセットモード時のズームスピードを設定する

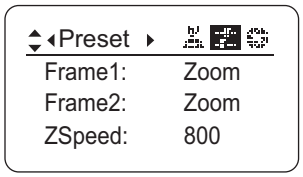
任意の位置から記憶ポジションまでのズームスピードを、設定することができます。
変更方法には、Memo スイッチによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）と、ディスプレイ操作による変更方法とがあります。
2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。

『ご注意ください』
設定した値は、Fr1P, Fr2P の両方に同じ値が適用されます。

Top 初期画面



Preset 画面

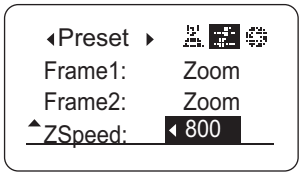


1 Set キーを押し、▶ キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

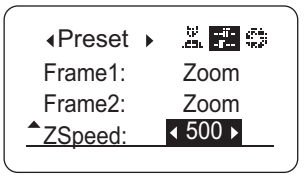
2 ▼ キーを 3 回押す

［ZSpeed］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。



選択項目	1	～	(D) 800
機能	最低速		最高速

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 2 → Preset → ▼ × 3 → ▶ または ◀

3.2.4 Iris 画面で設定する

Iris 画面では下記項目が設定できます。

アイリスゲインを設定する

(1) オートアイリスゲインを設定する Top

(2) リモートアイリスゲインを設定する

アイリストルクを設定する Top

アイリス補正の ON/OFF を切り替える

アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える

フォーカスデマンドによるアイリス操作の ON/OFF を切り替える

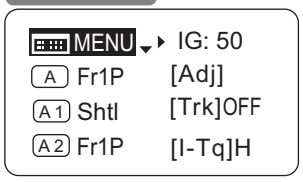
Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

アイリスゲインを設定する

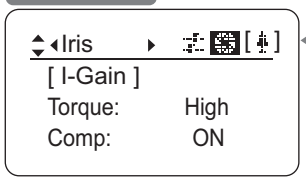
(1) オートアイリスゲインを設定する Top

出荷時には適正に設定されていますが、設定を変更することができます。
変更方法には、オートアイリスゲイン調整トリマーによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）と、ディスプレイ操作による変更方法とがあります。2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。
オートアイリスゲインの設定値は、全てのユーザーに共通で使用されます。

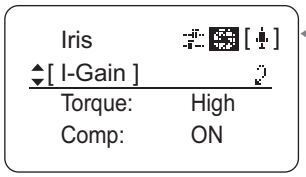
Top 初期画面



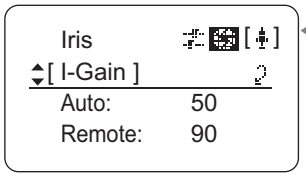
Iris 画面

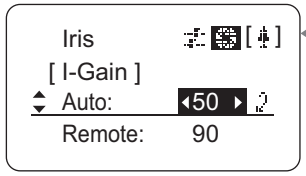


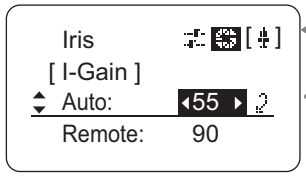
画面 A



[I-Gain] 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［I-Gain］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

[I-Gain] 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

［Auto］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Auto］にします。

『ご注意ください』
レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが最高になるように設定してください。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、3.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

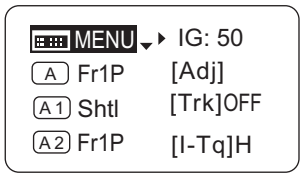
デフォルト値：工場出荷値により異なりますが、アイリスゲイン調整トリマーでの設定値となります。

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris ▸ [ ] → ▼ → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

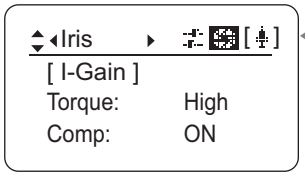
(2) リモートアイリスゲインを設定する

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
リモートアイリスゲインの設定値は、全てのユーザーに共通で使用されます。

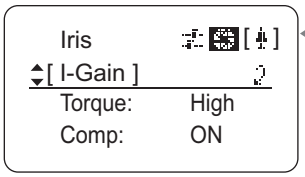
Top 初期画面



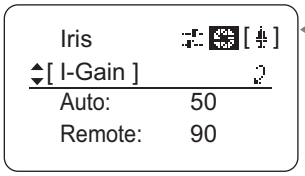
Iris 画面

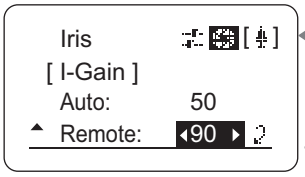


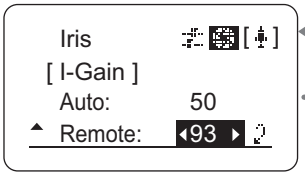
画面 A



[I-Gain] 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［I-Gain］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

[I-Gain] 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 2 回押す

［Remote］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、

→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。

→ カメラのアイリスモードを［Remote］にします。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、3.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

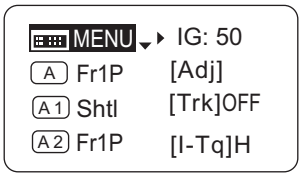
デフォルト値：90

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [I-Gain] → ▼ → Set → ▼ × 2 → ▶ または ◀ → Set

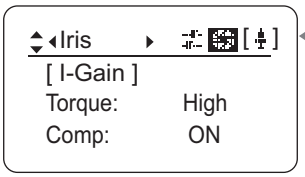
アイリストルクを設定する Top

アイリスリングをマニュアル操作したときの操作力が選択できます。

Top 初期画面

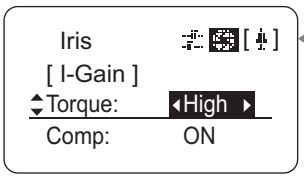


Iris 画面



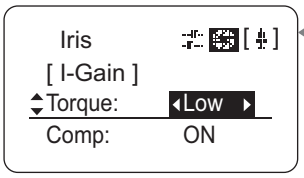
1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 2 回押す

［Torque］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キーまたは、左キーを押し、『High』または『Low』に切り替えます。

選択項目	(D) High	Low
機能	操作力が重い	操作力が軽い

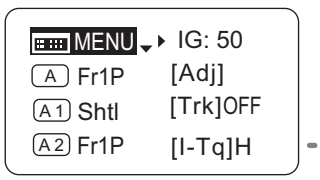
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris ▸ [ ] → ▼ × 2 → ▶ または ◀

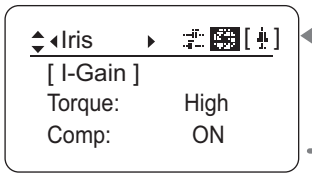
アイリス補正の ON/OFF を切り替える

エクステンダー（1.5x）を使用すると、光量が低下します。そのため、光量を維持するようにアイリスをオープン側に補正する機能が設定できます。

Top 初期画面

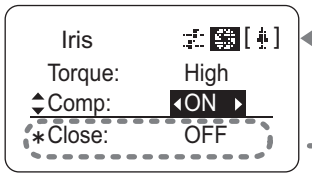


Iris 画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

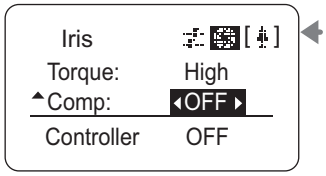


2 ▼ キーを 3 回押す

［Comp］に下線が付きます。

前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。

＊：『Comp』が ON 時に表示されます。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

『ご注意ください』

アイリス補正を ON に設定、エクステンダー（1.5x）のとき、アイリスは完全クローズにならない場合があります。このときは「アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える」で ON に設定してください。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	アイリス補正する	アイリス補正しない

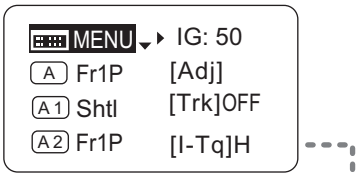
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [ ] → ▼ × 3 → ▶ または ◀

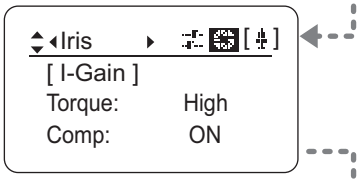
アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える

アイリス補正機能が ON になっているときに、エクステンダー（1.5x）を入れると、アイリスをクローズにできない状態になります。その対策として、クローズを検出したときは、クローズさせる機能を設定できます。

Top 初期画面

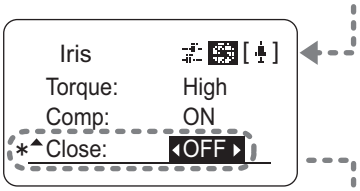


Iris 画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

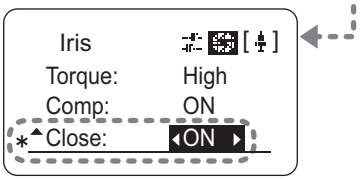


2 ▼ キーを 4 回押す

［Close］に下線が付きます。

前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。

＊：『Comp』が ON 時に表示されます。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

『ご注意ください』

カメラによっては、レンズのアイリス補正とカメラからのアイリスコントロールとの相互関係で、アイリスが正常に動作できない場合があります。そのときはアイリスクローズ検出機能を OFF にしてください。

『ご注意ください』

アイリス補正が ON 設定時に、アイリスクローズ検出が有効になります。

選択項目	(D) OFF	ON
機能	クローズ検出しない	クローズ検出する

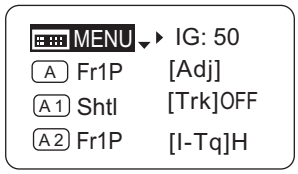
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris → ▼ × 4 → ▶ または ◀

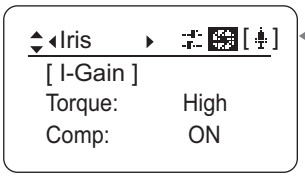
フォーカスデマンドによるアイリス操作の ON/OFF を切り替える

フォーカスデマンドによるアイリス操作の ON/OFF 切り替えが可能になります。

Top 初期画面

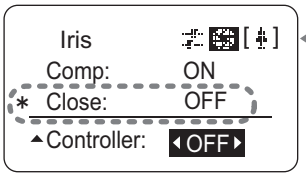


Iris 画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

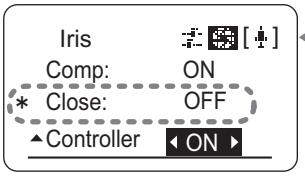


2 ▼ キーを 5 回押す

［Controller］に下線が付きます。

前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。

＊：『Comp』が ON 時に表示されます。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

選択項目	ON	(D) OFF
機能	フォーカスデマンドでアイリス操作する	フォーカスデマンドでアイリス操作しない

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris ▸ [ ] → ▼ × 5 → ▶ または ◀

3.2.5 Zoom 画面で設定する

Zoom 画面では下記項目が設定できます。

シーソーのカーブ特性を設定する

アナログデマンドのカーブ特性を設定する

ズームスピード調整ボリュームをデマンドに対して有効 / 無効に設定する

シーソーのカーブ特性を設定する

ズームシーソースイッチの押込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

Zoom 画面

◂Zoom ▸ [ ]
CurveMode
VR-Dem: ON

画面 A

Zoom [ ]
CurveMode
VR-Dem: ON

CurveMode 画面

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom
CurveMode
Seesaw: ◂ D5 ▸
Demand: 5

Zoom
CurveMode
Seesaw: ◂◂ 7 ▸
Demand: 5

1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［CurveMode］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

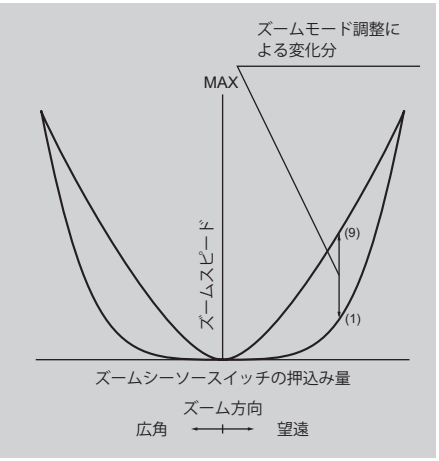
［Seesaw］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 4 → ◂Zoom ▸ [ ] → ▼ → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

アナログデマンドのカーブ特性を設定する

アナログデマンドの倒し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
A Fr1P [Adj]
A1 Shtl [Trk]OFF
A2 Fr1P [I-Tq]H

Zoom 画面

◂Zoom ▸ [ ]
CurveMode
VR-Dem: ON

画面 A

Zoom [ ]
◂CurveMode
VR-Dem: ON

CurveMode 画面

Zoom [ ]
◂CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
▲ Demand: ◂ D5 ▸

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
▲ Demand: ◂◂ 7 ▸

1 (Set) キーを押し、(▶) キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 (▼) キーを押す

［CurveMode］に下線が付きます。

3 (Set) キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

4 (▼) キーを 2 回押す

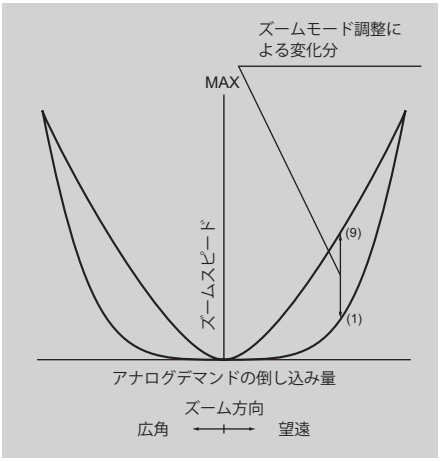
［Demand］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 (▶) キー、または (◀) キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 (Set) キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

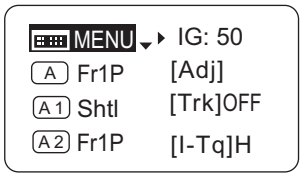
(D)：デフォルト値

MENU → (Set) → (▶) × 4 → ◂Zoom ▸ [ ] → (▼) → (Set) → (▼) × 2 → (▶) または (◀) → (Set)

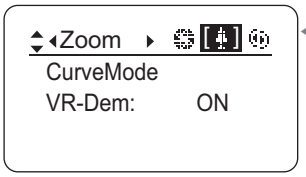
ズームスピード調整ボリュームをデマンドに対して有効 / 無効に設定する

ドライブユニットの最高ズームスピード調整を、ズームデマンドに対して有効 / 無効にする設定ができます。

Top 初期画面

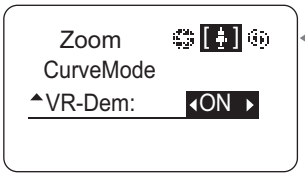


Zoom 画面



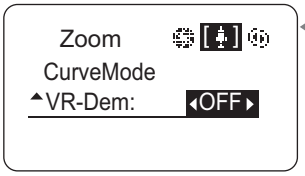
1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 2 回押す

［VR-Dem］に下線が付きます。
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	有効	無効

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → [ ] → ▼ × 2 → ▶ または ◀

3.2.6 Focus 画面で設定する

Focus 画面では下記項目が設定できます。

フォーカスデマンドのカーブ特性を設定する

フォーカスデマンドのカーブ特性を設定する

アナログフォーカスデマンドの操作に対して、カーブ特性を設定することができます。

『ご注意ください』
フォーカスデマンドにはカーブ切替えスイッチを有し、そのスイッチは FAR 側を選択したときに有効になります。

Top 初期画面

MENU ▸[ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

Focus 画面

Focus ▸[ ]
CurveMode

画面 A

Focus [ ]
CurveMode

CurveMode 画面

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: 5

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: D5

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: 7

1 Set キーを押し、◀ キーを 3 回押す

Focus 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［CurveMode］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

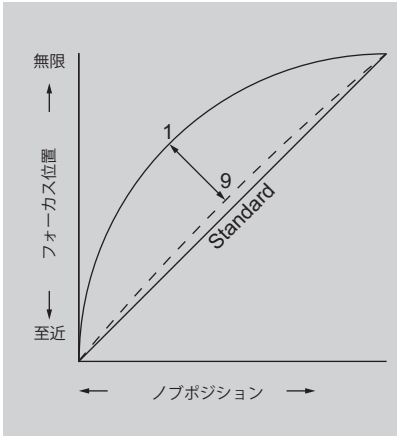
［ADemand］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	～	9
機能	カーブが大きい		カーブが小さい

デフォルト値：5

MENU → Set → ◀ × 3 → Focus ▸[ ] → ▼ → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

3.2.7 Info 画面で設定する

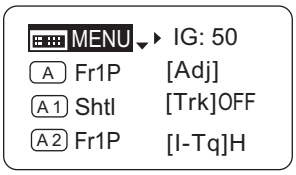
Info 画面では下記項目が設定できます。

シリアル No. を確認する
3D 機能を設定する（3D 機能を設定する際は、3D 専用ケーブル「BC-100」の取扱説明書をご覧ください。）
エンコーダー出力を設定する
カメラシリアル通信の有効 / 無効を設定する
カメラからの指令信号の入力経路を設定する
/ Technology 使用時の距離単位を設定する
ドライブユニットとレンズ本体との通信状態を確認する

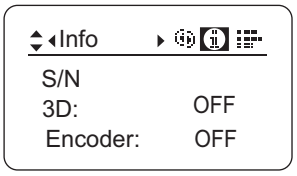
シリアル No. を確認する

レンズ本体とドライブユニットのシリアル No. を確認することができます。

Top 初期画面

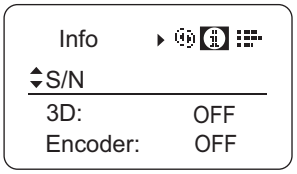


Info 画面



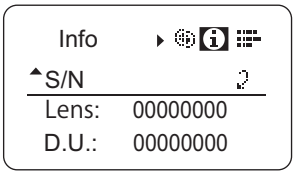
1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを押す

［S/N］に下線が付きます。



3 Set キーを押す

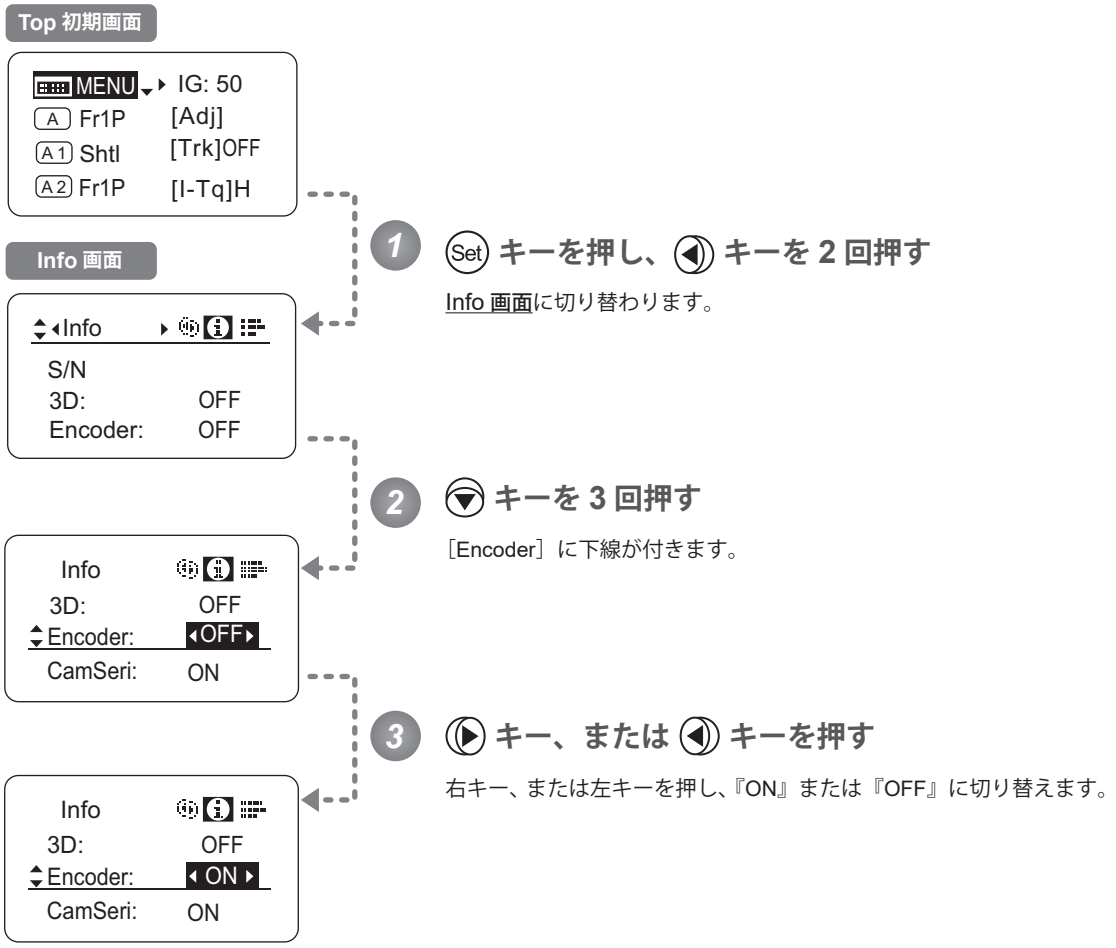
レンズ本体とドライブユニットのシリアル No. が表示されます。

『ご注意ください』
カメラマウントからレンズ本体に電源が供給されていない場合は、レンズ本体のシリアル No. は表示されません。

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → B → ▼ → Set

エンコーダー出力を設定する

エンコーダー出力機能の有効 / 無効を設定できます。有効の場合は、バーチャルコネクターより出力されます。詳しくは、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。



1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

［Encoder］に下線が付きます。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

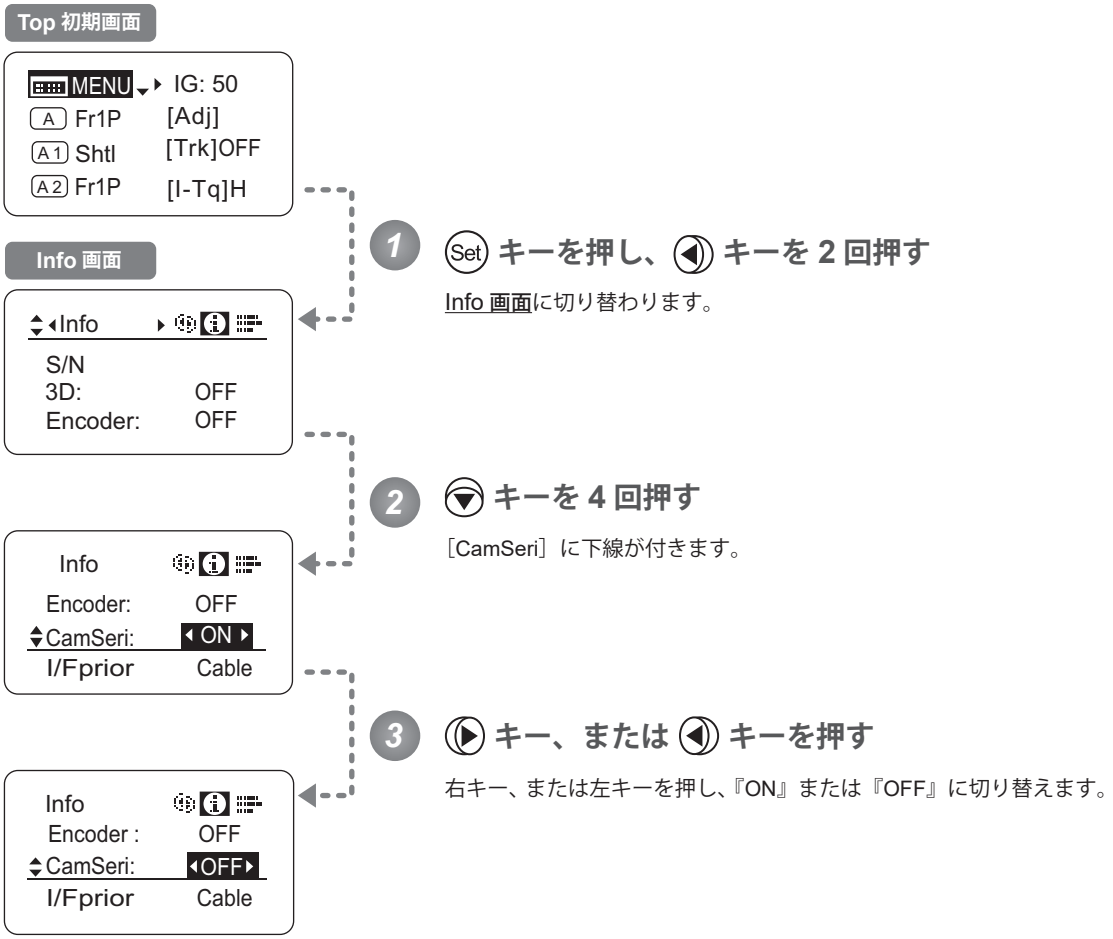
選択項目	(D) OFF	ON
機能	出力無効	出力有効

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info ▸ B → ▼ × 3 → ▶ または ◀

カメラシリアル通信の有効 / 無効を設定する

カメラとレンズの間のインターフェースには、シリアル通信制御とアナログ制御の 2 種類があります。本設定は、このインターフェースの自動認識を行う設定と、アナログ制御を行う設定の切替えを行います。
出荷時設定は " 有効 " で、このときレンズは、シリアル通信制御とアナログ制御の自動認識を行います。
" 無効 " を選択すると、カメラとレンズ間のインターフェースはアナログ制御となります。



1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 4 回押す

［CamSeri］に下線が付きます。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	カメラシリアル通信 有効	カメラシリアル通信 無効

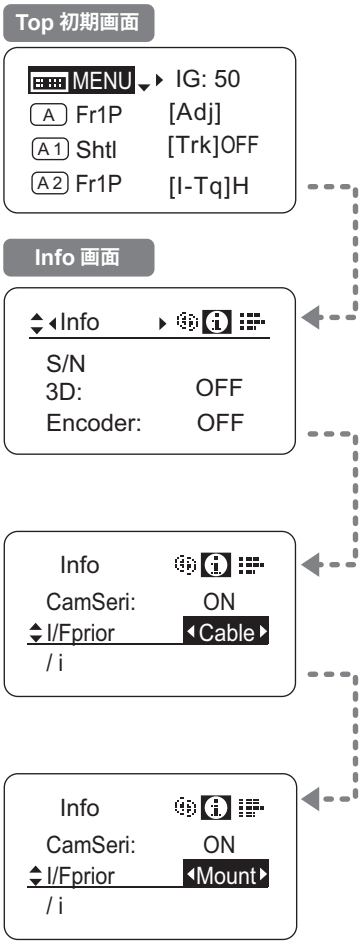
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 4 → ▶ または ◀

カメラからの指令信号の入力経路を設定する

カメラからの指令信号の入力経路は、マウント経由と 12 ピンケーブル経由の 2 種類があります。この設定では、カメラからの指令信号入力経路を設定します。出荷時は『Mount』に設定されていますが、このときレンズは、マウント経由の指令信号を優先的に採用します。
ただし、マウント経由の指令信号が入力されていない場合は、12 ピンケーブル経由の指令信号に自動的に切替わります。
また、『Cable』を選択すると、12 ピンケーブル経由の指令信号のみを採用します。

『ご注意ください』
カメラのオートフォーカス機能を使用する場合は、『Mount』に設定してください。（オートフォーカス対応カメラにつきましては、キヤノン（株）、または販売会社へお問い合わせください。）



1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 5 回押す

［I/Fprior］に下線が付きます。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Cable』または『Mount』に切り替えます。

選択項目	(D) Mount	Cable
機能	マウント経由	12 ピンケーブル経由

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 5 → ▶ または ◀

Technology 使用時の距離単位を設定する

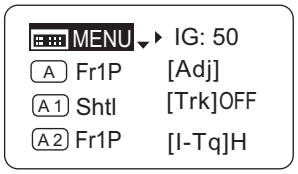
Technology 使用時 (PL マウントカメラ搭載時のみ) のカメラへの送信情報の距離単位（Feet/Meter) の初期設定をすることができます。この設定により、実際の被写体距離、過焦点距離、至近側被写体距離、無限側被写体距離、入射瞳位置の情報が設定した距離単位で送信されます。

『ご注意ください』

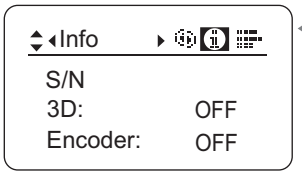
カメラ側で距離単位が設定されている場合は、カメラ側の設定が優先されます。

はクック・オプティクス社の登録商標です。

Top 初期画面

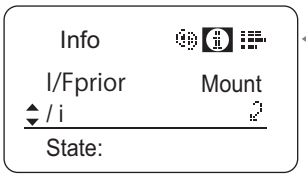


Info 画面



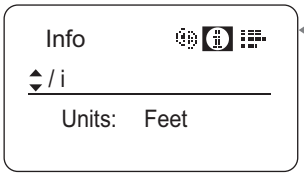
1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

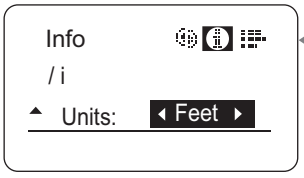


2 ▼ キーを 6 回押す

［/ i］に下線が付きます。

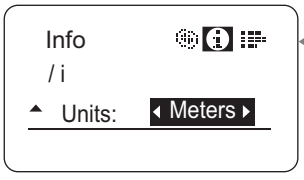


3 Set キーを押す



4 ▼ キーを押す

［Units］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Feet』または『Meters』に切り替えます。

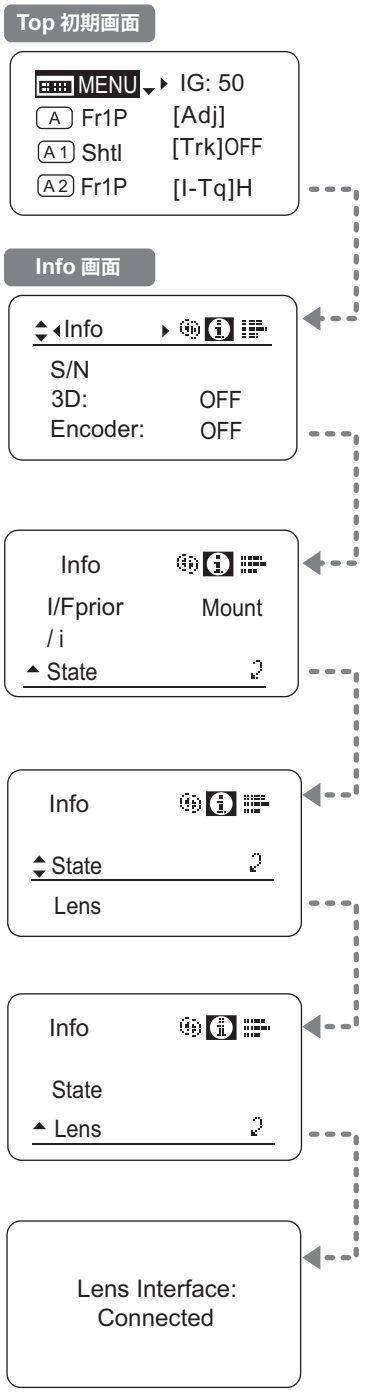
選択項目	(D) Feet	Meters
機能	フィート	メートル

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 6 → Set → ▼ → ▶ または ◀

ドライブユニットとレンズ本体の通信状態を確認する

ドライブユニットとレンズ本体の通信状態を表示します。



1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 7 回押す

［State］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

4 ▼ キーを押す

［Lens］に下線が付きます。

5 Set キーを押す

この画面が表示されたら、通信状態は正常です。

“Non-connected” の表示が出た場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。

『ご注意ください』

カメラマウントからレンズ本体に電源が供給されていない場合は、“Non-connected” が表示されます。

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 7 → Set → ▼ → Set

3.2.8 FoI. 画面で設定する

FoI. 画面では下記項目が設定できます。

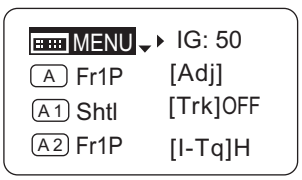
レンズのフォロー（Iris, Zoom, Focus）を表示する

レンズのフォロー（Iris, Zoom, Focus）を表示する

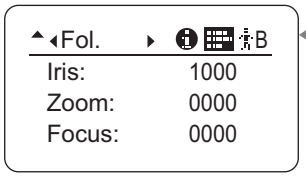
Iris, Zoom, Focus それぞれのメカ的に動作する全領域を、0 ～ 1000 の相対値として表示します。

『ご注意ください』
Fol. 画面表示中は、2 分以上操作しない状態が続いても、ディスプレイ表示が自動的には消えません。消す場合は、ディスプレイスイッチを押してください。

Top 初期画面



Fol. 画面



1 **Set キーを押し、◀ キーを押す**

Fol. 画面に切り替わり、Iris, Zoom, Focus フォローが相対表示されます。

MENU → Set → ◀ → Fol. B

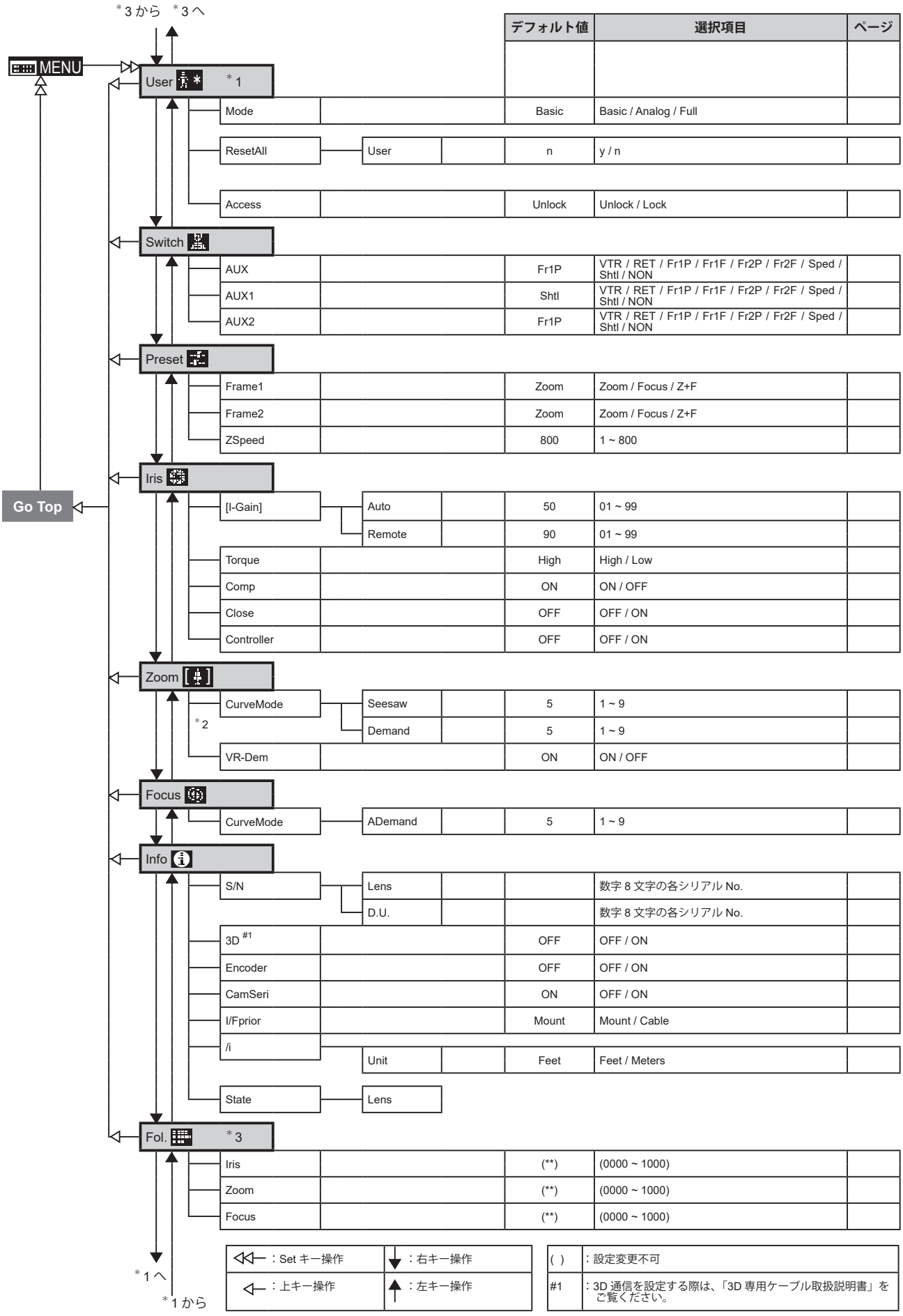
3.3 設定一覧

Top

	デフォルト値	選択項目	ページ
MENU		次ページ *1 へ	
IG	50	01 ～ 99	
A	Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
[Adj]	n	y / n	
A 1	Shtl	VTR / RET / Fr1P/ Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
[Trk]	OFF	OFF / ON	
A 2	Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
[I-Tq]	H	H / L	
[Z.M.]			

次ページ *2 へ

エスケープ操作	User 0 設定状態に移動	Display スイッチ と Set キーを同時に 2 秒押す	



				デフォルト値	選択項目	ページ
User ＊1	Mode			Basic	Basic / Analog / Full	
	ResetAll	User		n	y / n	
	Access			Unlock	Unlock / Lock	
Switch	AUX			Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
	AUX1			Shtl	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
	AUX2			Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON	
Preset	Frame1			Zoom	Zoom / Focus / Z+F	
	Frame2			Zoom	Zoom / Focus / Z+F	
	ZSpeed			800	1 ~ 800	
Iris	[I-Gain]	Auto		50	01 ~ 99	
		Remote		90	01 ~ 99	
	Torque			High	High / Low	
	Comp			ON	ON / OFF	
	Close			OFF	OFF / ON	
	Controller			OFF	OFF / ON	
Zoom	CurveMode	Seesaw		5	1 ~ 9	
		Demand		5	1 ~ 9	
	VR-Dem			ON	ON / OFF	
Focus	CurveMode	ADemand		5	1 ~ 9	
Info	S/N	Lens			数字 8 文字の各シリアル No.	
		D.U.			数字 8 文字の各シリアル No.	
	3D #1			OFF	OFF / ON	
	Encoder			OFF	OFF / ON	
	CamSeri			ON	OFF / ON	
	I/Fprior			Mount	Mount / Cable	
	/i	Unit		Feet	Feet / Meters	
	State	Lens				
Fol. ＊3	Iris			(**)	(0000 ~ 1000)	
	Zoom			(**)	(0000 ~ 1000)	
	Focus			(**)	(0000 ~ 1000)	

Memo

4

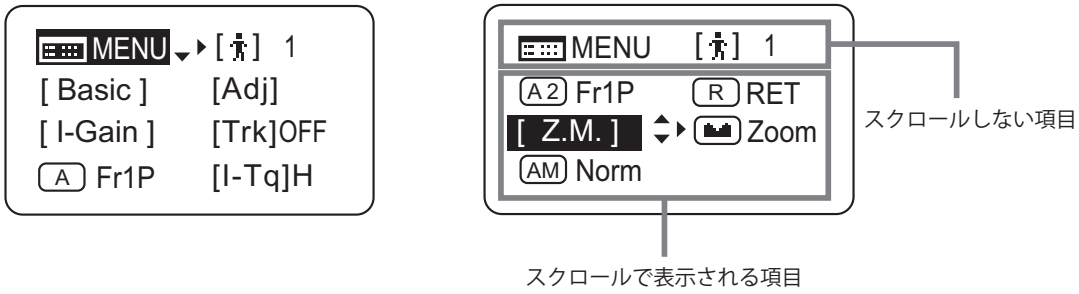
通常モードで操作する

4. 通常モードで操作する

4.1 Top 画面から設定する

ディスプレイスイッチを押して表示される画面を Top 画面と言います。
通常モードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 15 項目です。最初に表示される画面を Top 初期画面と言います。
また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。

通常モード Top 初期画面

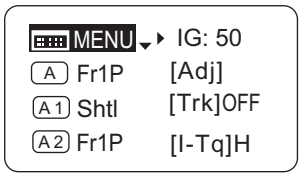


4.1.1 通常モードを選択する

工場出荷時には簡易モードに設定されていますが、通常モードに切り替える場合は下記の手順にて設定を切り替えることができます。

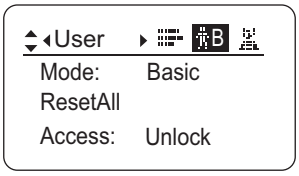
簡易モード⇒通常モードへの切替え

簡易モード Top 初期画面



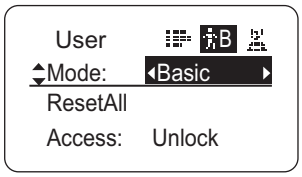
1 Set キーを押す

簡易モード User 画面



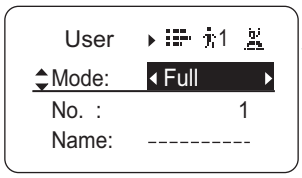
2 キーを押す

[Basic] が反転表示になります。



3 キーを押す

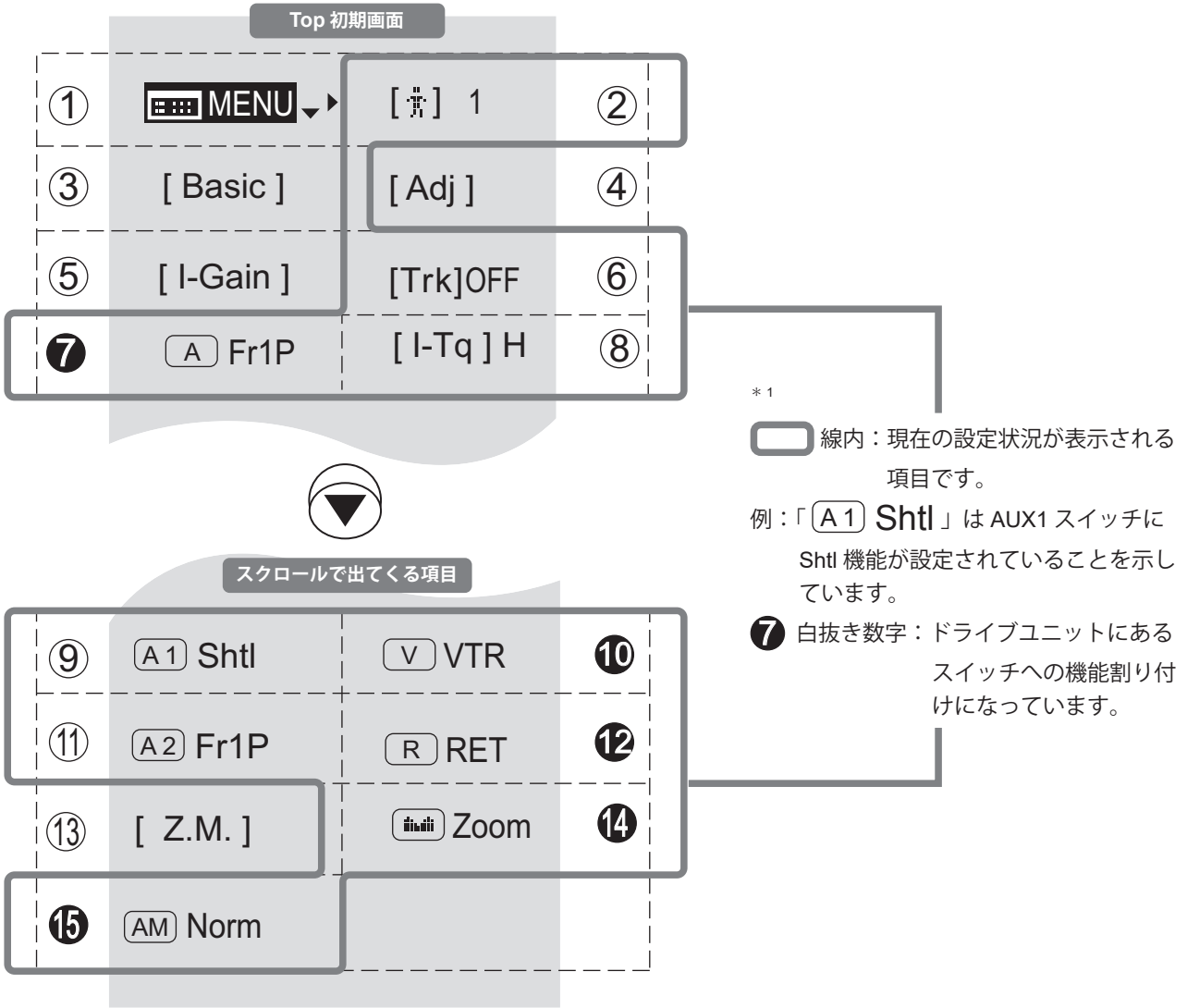
[Full] が反転表示に切り替わり、確定されました。



MENU → Set → → → [Full]

4.1.2 Top 画面について

通常モードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 15 項目で、最初に表示される画面を Top 初期画面といい、8 項目が表示されています。下キーを押していくことで表示がスクロールし、残りの 7 項目が順次表示されます。（下図参照）
また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。（下図＊1）



＊1
線内：現在の設定状況が表示される項目です。
例：「A1 Shtl」は AUX1 スイッチに Shtl 機能が設定されていることを示しています。
❼ 白抜き数字：ドライブユニットにあるスイッチへの機能割り付けになっています。

① MENU **MENU 画面**

『4. 2 MENU 画面から設定する』をご覧ください。

② [ ] **ユーザー**

0 ～ 9 までの 10 ユーザーごとに設定変更をし、使い分けることが可能です。使用するまたは、設定変更するユーザーをここで切り替えられます。

『4.1.3 ユーザーを切り替える』をご覧ください。

③ [Basic] **簡易モードへの切替え**

簡易モードに切り替えることができます。

『4.1.4 簡易モードに切り替える』をご覧ください。

④ [Adj] **メカ端自動調整**

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

『4.1.5 メカ端を自動調整する』をご覧ください。

⑤ [I-Gain] **アイリスゲイン**

オートまたはリモートアイリスゲインの値を変更することができます。

『4.1.6 アイリスゲインを設定する』をご覧ください。

⑥ [Trk] **ズームトラック**

ズームトラックを使用する際、ON に切り替えます。

『4.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切り替える』をご覧ください。

❼ [A] **AUX スイッチ**

ドライブユニットの AUX スイッチには出荷時『フレームプリセット 1』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『4.1.8 AUX スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⑧ [I-Tq] **アイリストルク**

アイリスリングをマニュアルで操作したときの操作力を変更することができます。

『4.1.9 アイリストルクを設定する』をご覧ください。

⑨ [A 1] **AUX1 スイッチ**

ズームデマンドの AUX1 スイッチには出荷時『シャトル』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『4.1.10 AUX1 スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

❿ [V] **VTR スイッチ**

ドライブユニットの VTR スイッチには出荷時『VTR』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『4.1.11 VTR スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⓫ [A 2] **AUX2 スイッチ**

ズームデマンドの AUX2 スイッチには出荷時『フレームプリセット 1』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『4.1.12 AUX2 スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⓬ [R] **RET スイッチ**

ドライブユニットの RET スイッチには出荷時『リターン』機能が割り付けられていますが、ほかの機能を割り付けることが可能です。

『4.1.13 RET スイッチに機能を割り付ける』をご覧ください。

⓭ [Z.M.] **ズームカーブモード**

ズームシーソースイッチの押込み量または、アナログデマンドにあるサムリングの倒し込み量に対するズームスピードの特性を変えられます。

『4.1.14 ズームカーブモードを設定する』をご覧ください。

⓮ **シーソー**

ズームシーソースイッチによるアイリス操作を可能にします。

『4.1.15 シーソーに機能を割り付ける』をご覧ください。

⓯ [AM] **アイリス A/M スイッチ**

ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの動きを変更することができます。

『4.1.16 アイリス A/M スイッチを設定する』をご覧ください。

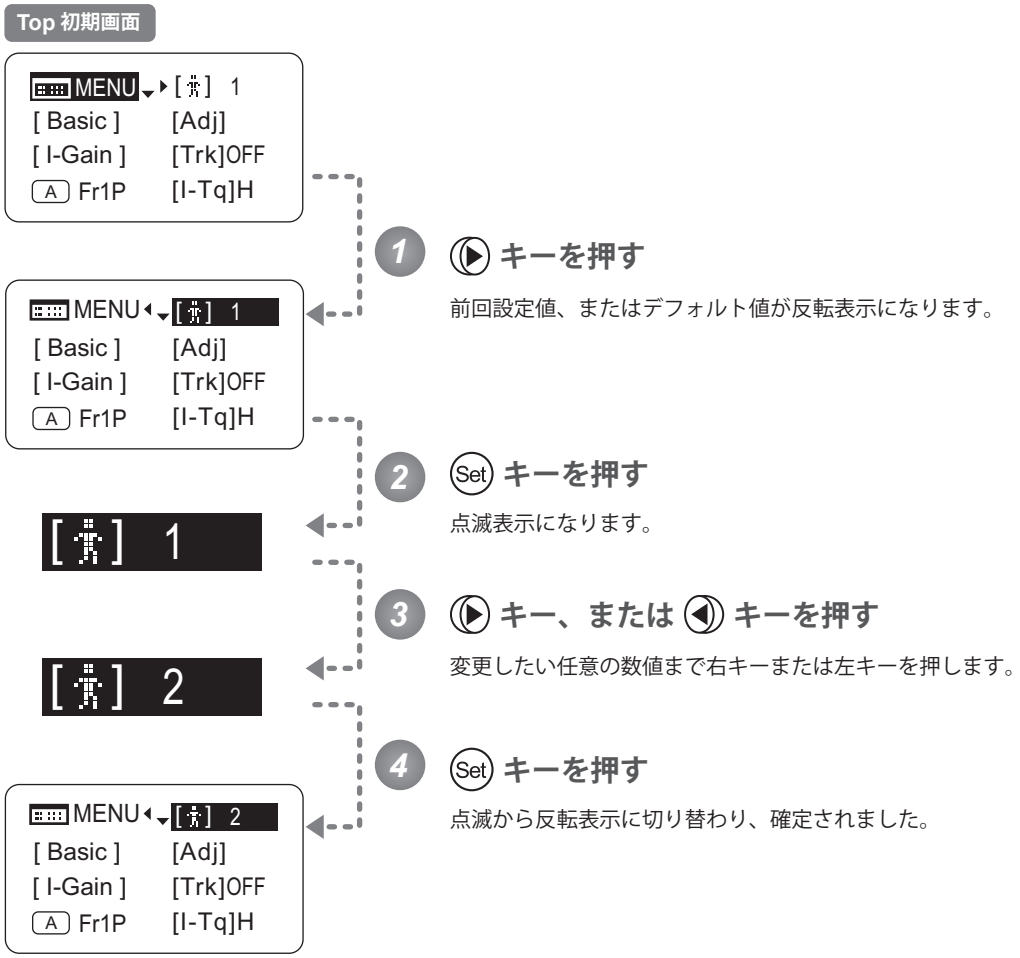
4.1.3 ユーザーを切り替える [🚹]

通常モードで設定可能なユーザーは User 0 ～ 9 となっています。

User 1 から 9
使用されるユーザーごとに詳細な設定が行えます。その設定内容を保存できます。
User 0
一時的に設定変更し使用することができるデフォルトユーザーです。設定内容を保存することはできません。
User 1 から 9 へ切替えを行ったり、電源 OFF を行った場合、設定内容は解除されます。エスケープ操作を行ったときは User 0 になります。エスケープの詳細な操作は『4.1.17 エスケープ操作をする』をご覧ください。User 0 を選択すると、工場出荷時の設定になります。（ただしオートアイリスゲイン値・リモートアイリスゲイン値・エンコーダー出力設定は除きます。）

Top 画面では、使用するユーザー（User 0 ～ 9）の切替えができます。
User 0 ～ 9 の詳細な設定は MENU 画面より行います。（『4.2 MENU 画面から設定する』をご覧ください。）

Top 初期画面



選択項目	0	(D)1	2	3	4	5	6	7	8	9
設定保存	不可 ただし保存はされないが、一時的に変更可能 ユーザー切替え操作、またはレンズ電源 OFF 操作でデフォルト値に戻ります。	ユーザーごとに保存可能								

(D)：デフォルト値

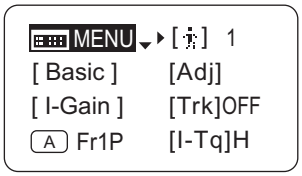
MENU → ▶ → [🚹] 1 → Set → ▶ または ◀ → Set

4.1.4 簡易モードに切り替える [Basic]

Top 画面から簡易モードへの切替えができます。

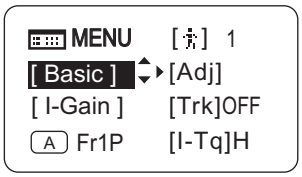
通常モード⇒簡易モードへの切替え

通常モード Top 初期画面



1 ◎ キーを押す

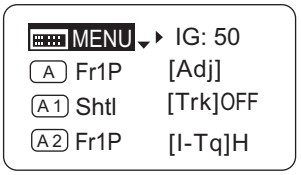
[Basic] が反転表示になります。



2 Set キーを押す

簡易モードの Top 初期画面に切り替わりました。

簡易モード Top 初期画面



MENU → ◎ → [Basic] → Set

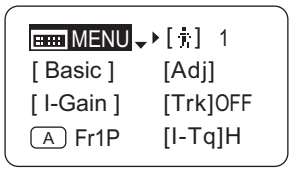
4.1.5 メカ端を自動調整する [Adj]

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

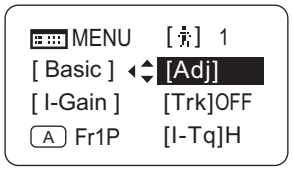
『ご注意ください』

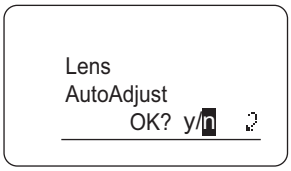
メカ端調整完了時に “Auto-Adjustment: Error/Lens Interface: Non-Connected” と表示された場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。

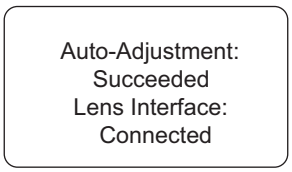
Top 初期画面



画面 A







1 ▼ キーを押し、▶ キーを押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

メカ端調整画面に切り替わります。

3 ◀ キーを押し、Set キーを押す

調整を開始します。
調整中は画面が点滅します。

これで調整は完了です。
調整終了後は Set を押すと画面 A に戻ります。

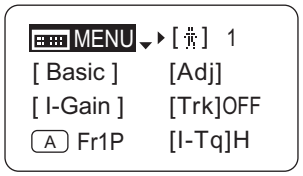
MENU → ▼ → ▶ → [Adj] → Set → ◀ → Set

4.1.6 アイリスゲインを設定する [I-Gain]

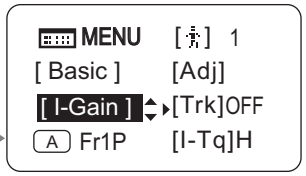
オートアイリスゲインを設定する

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
変更方法には、オートアイリスゲイン調整トリマーによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）とディスプレイ操作による変更方法とがあります。2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。
オートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく全てのユーザーに共通で使用されます。そのため、ユーザー切替えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に 0 ユーザーにも設定変更が反映されます。

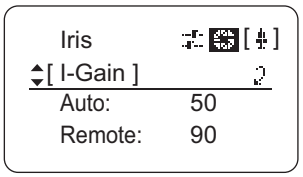
Top 初期画面

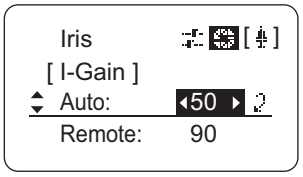


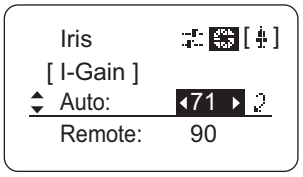
画面 A



［I-Gain］画面







1 ▼ キーを 2 回押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

［I-Gain］画面に切り替わります。

3 ▼ キーを押す

［Auto］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Auto］にします。

『ご注意ください』
レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが最高になるように設定してください。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、4.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

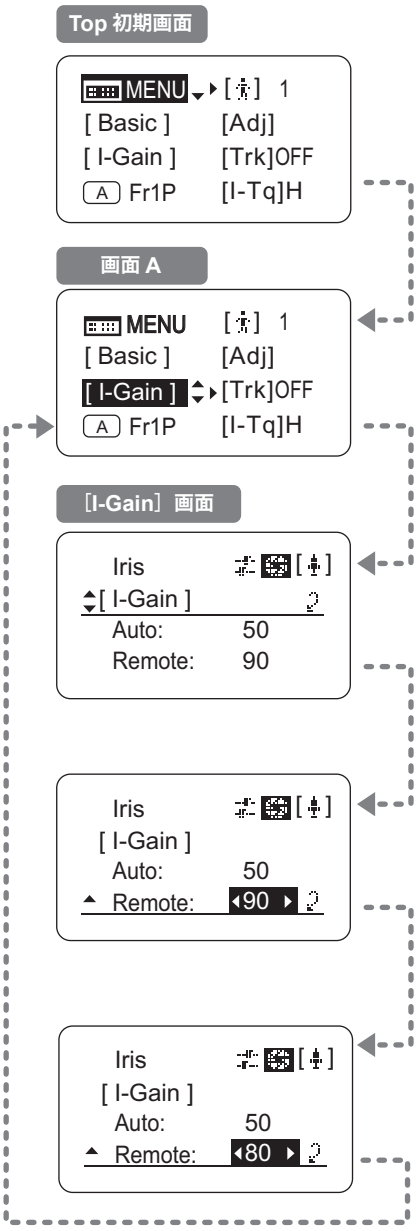
選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

デフォルト値：工場出荷値により異なりますが、アイリスゲイン調整トリマーでの設定値となります。

MENU → ▼ × 2 → [I-Gain] → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

リモートアイリスゲインを設定する

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
リモートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく、全てのユーザーに共通で使用されます。そのため、ユーザー切替えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に 0 ユーザーにも設定変更が反映されます。



1 ▼ キーを 2 回押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

［I-Gain］画面に切り替わります。

3 ▼ キーを 2 回押す

［Remote］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Remote］にします。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、4.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

デフォルト値：90

MENU → ▼ × 2 → [I-Gain] → Set → ▼ × 2 → ▶ または ◀ → Set

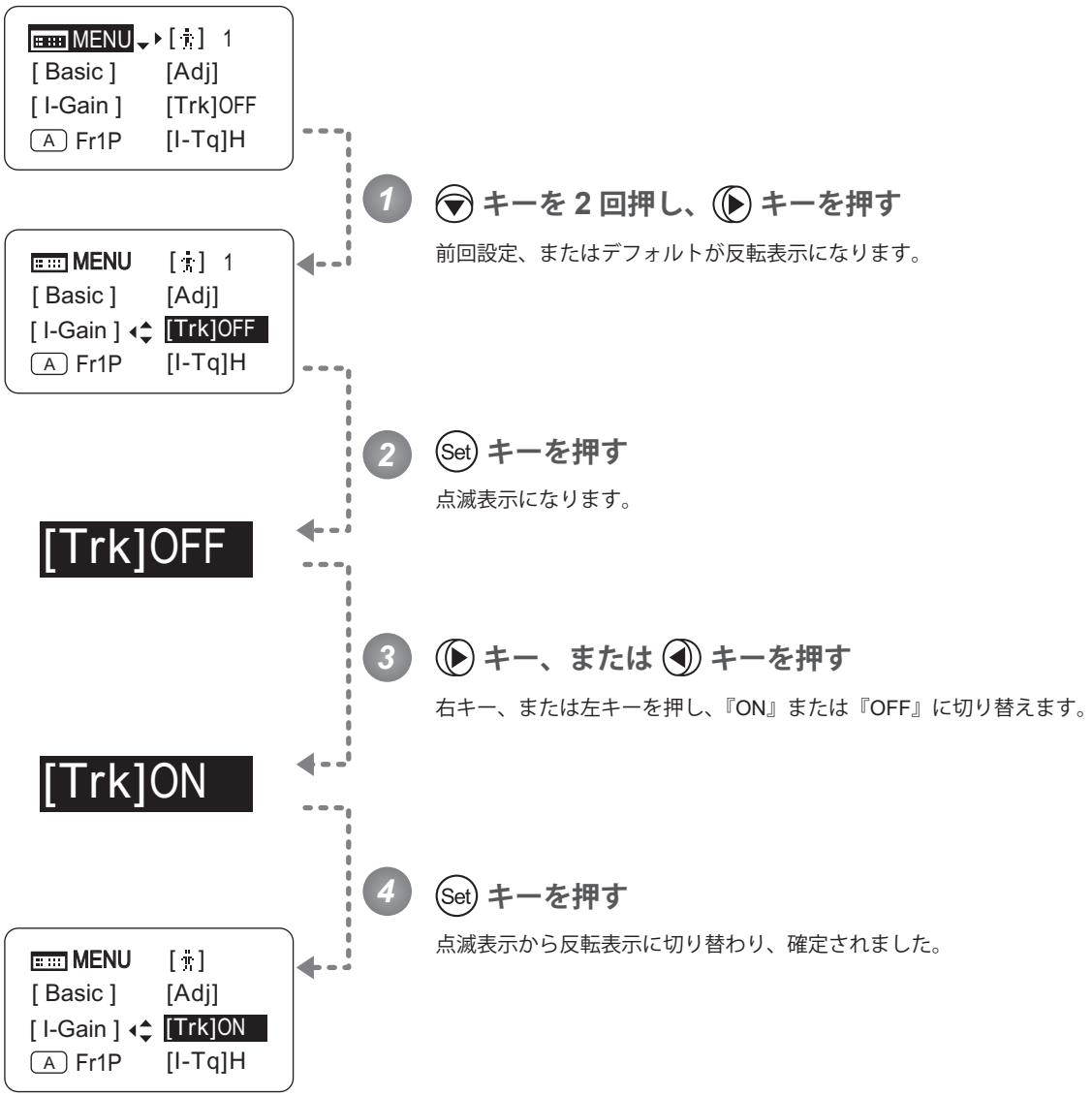
4.1.7 ズームトラックの ON/OFF を切り替える [Trk]

ズームトラックの ON/OFF を切り替えます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



選択項目	(D) OFF	ON

(D)：デフォルト値

MENU → × 2 → → [Trk]OFF → Set → → または → Set

4.1.8 AUX スイッチに機能を割り付ける

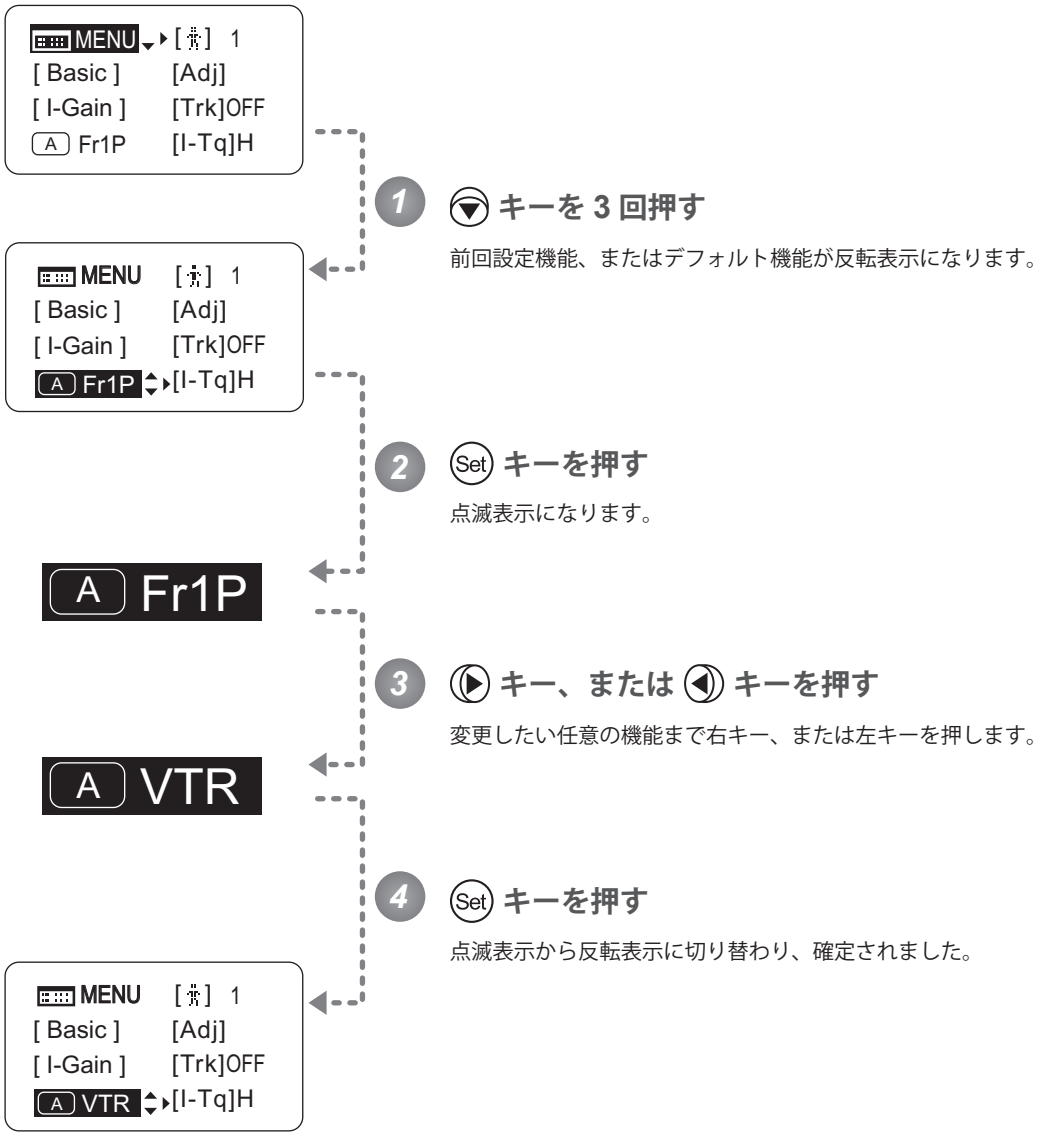
A

AUX スイッチへ機能を割り付けます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → × 3 → A Fr1P → Set → または → Set

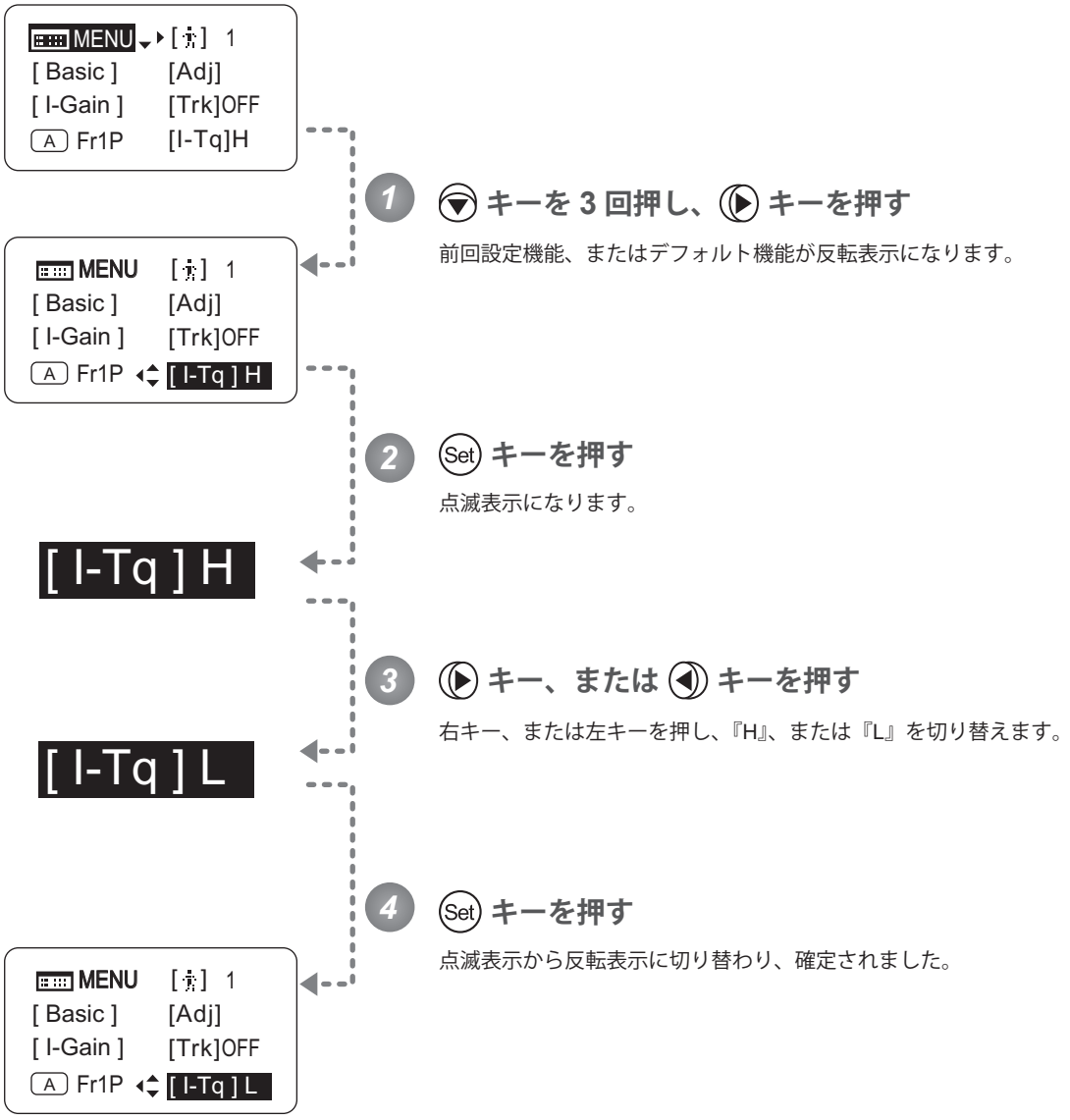
4.1.9 アイリストルクを設定する [I-Tq]

アイリスリングをマニュアル操作したときの、操作力が選択できます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



選択項目	(D) H	L
機能	操作力が重い	操作力が軽い

(D)：デフォルト値

MENU → × 3 → → [I-Tq] H → Set → または → Set

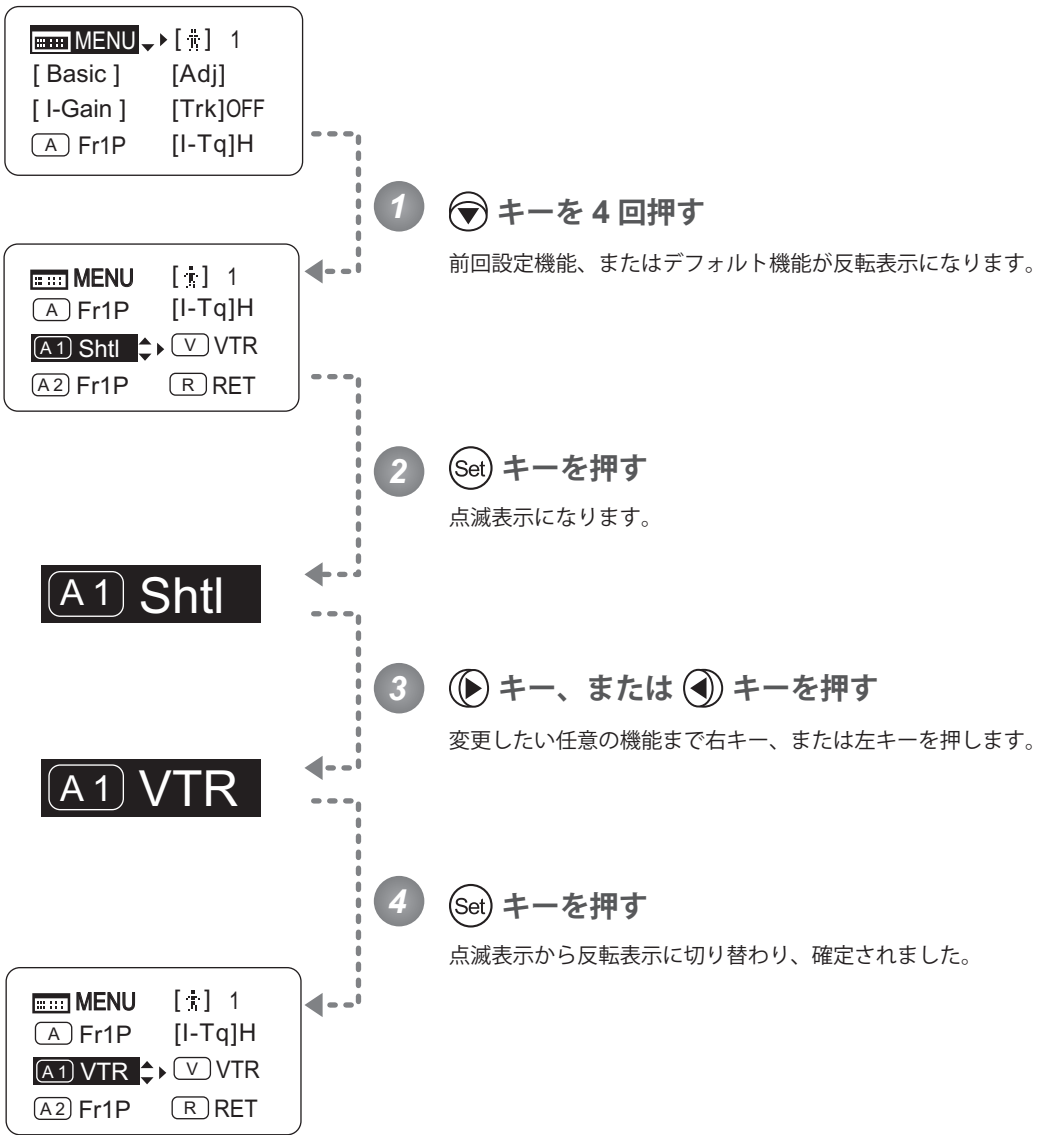
4.1.10 AUX1 スイッチに機能を割り付ける A1

AUX1 スイッチへ機能を割り付けます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 ▼ キーを 4 回押す

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。

2 Set キーを押す

点滅表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	(D) Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 4 → A1 Shtl → Set → ▶ または ◀ → Set

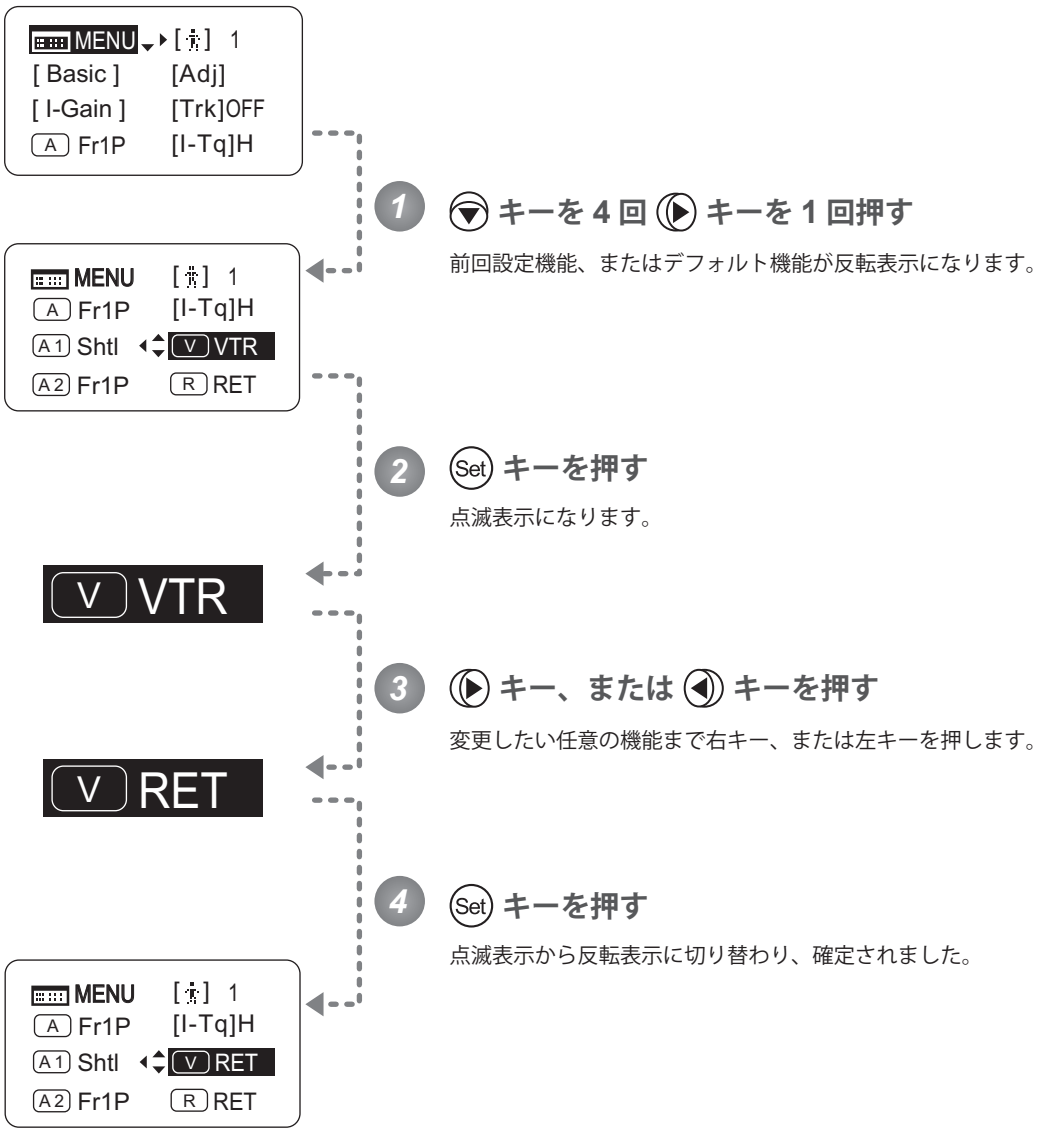
4.1.11 VTR スイッチに機能を割り付ける

VTR スイッチへ機能を割り付けます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 ▼ キーを 4 回 ▶ キーを 1 回押す

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。

2 Set キーを押す

点滅表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

選択項目	(D) VTR	RET	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl
機能	VTR スイッチ	RET スイッチ	Framing Preset1 スイッチ (設定速度)	Framing Preset1 スイッチ (最高速度)	Framing Preset2 スイッチ (設定速度)	Framing Preset2 スイッチ (最高速度)	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 4 → ▶ → V VTR → Set → ▶ または ◀ → Set

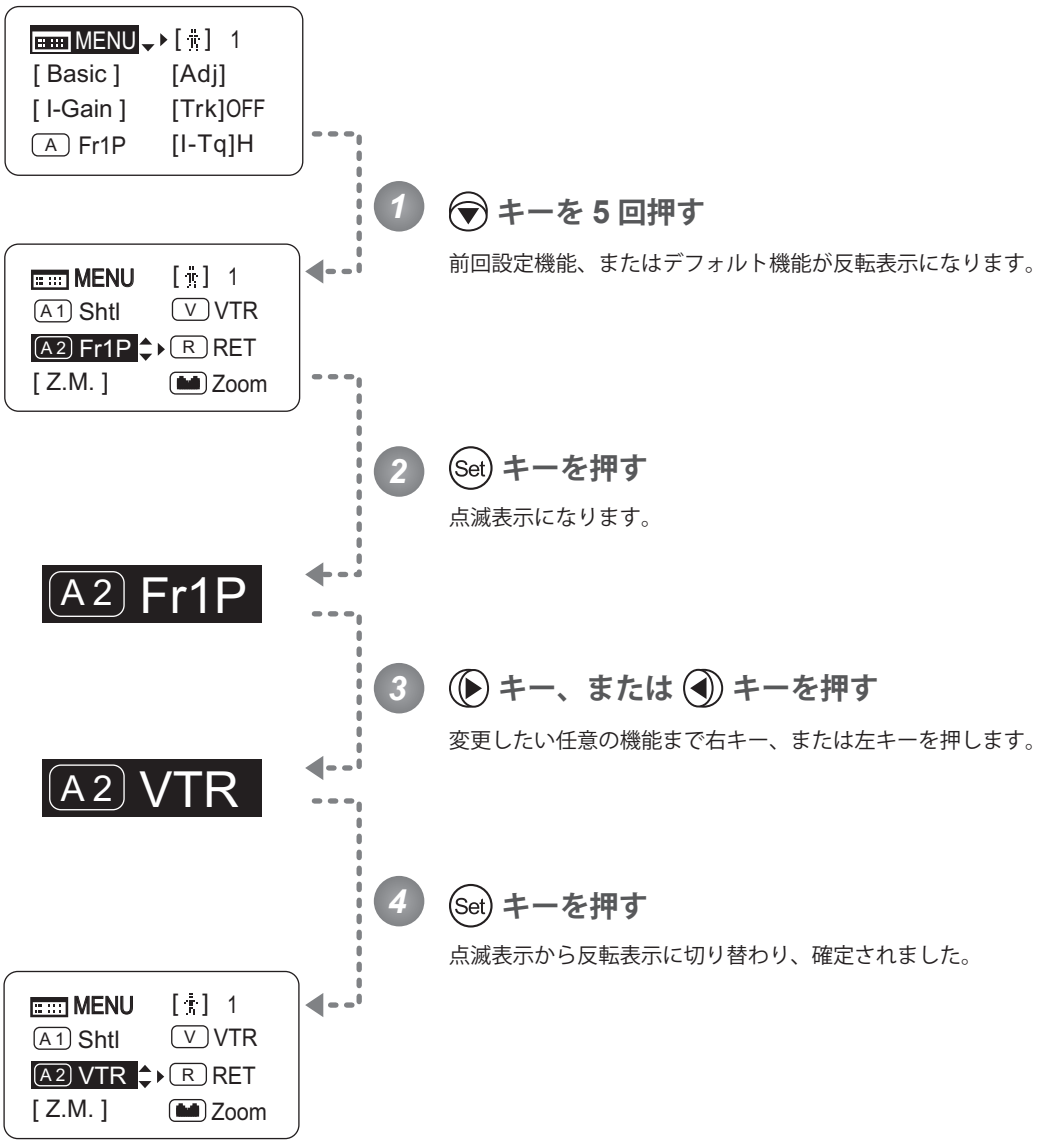
4.1.12 AUX2 スイッチに機能を割り付ける A2

AUX2 スイッチへ機能を割り付けます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 ▼ キーを 5 回押す

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。

2 Set キーを押す

点滅表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 5 → A2 Fr1P → Set → ▶ または ◀ → Set

4.1.13 RET スイッチに機能を割り付ける

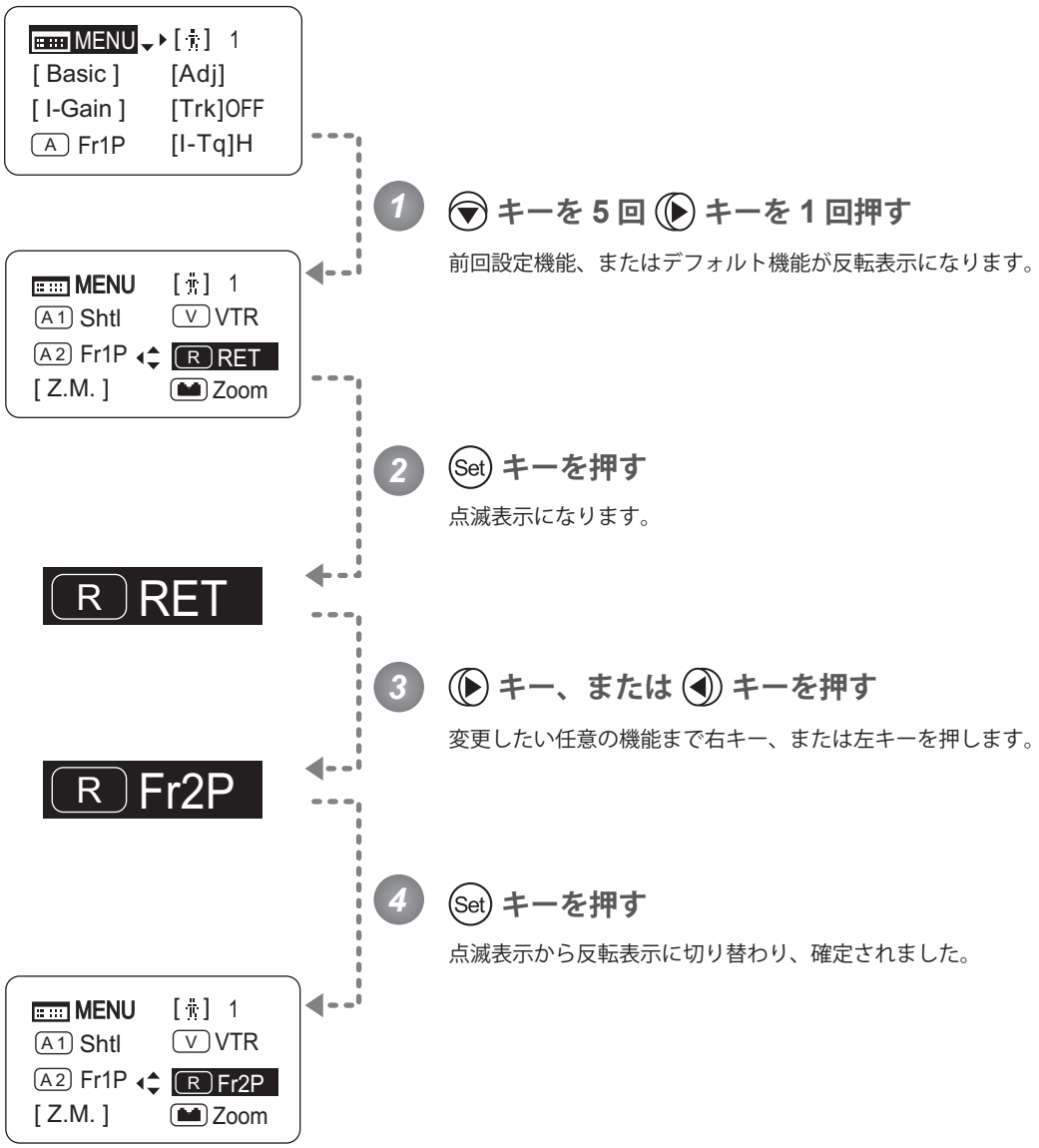
R

RET スイッチへ機能を割り付けます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 **▼ キーを 5 回 ▶ キーを 1 回押す**

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。

2 **Set キーを押す**

点滅表示になります。

3 **▶ キー、または ◀ キーを押す**

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

4 **Set キーを押す**

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

選択項目	VTR	(D) RET	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl
機能	VTR スイッチ	RET スイッチ	Framing Preset1 スイッチ (設定速度)	Framing Preset1 スイッチ (最高速度)	Framing Preset2 スイッチ (設定速度)	Framing Preset2 スイッチ (最高速度)	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 5 → ▶ → R RET → Set → ▶ または ◀ → Set

4.1.14 ズームカーブモードを設定する [Z.M.]

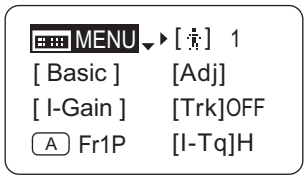
シーソーカーブの特性を設定する

ズームシーソースイッチの押込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

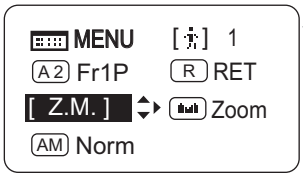
Top 初期画面



1 ▼ キーを 7 回押す

反転表示になります。

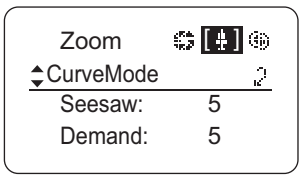
画面 A



2 Set キーを押す

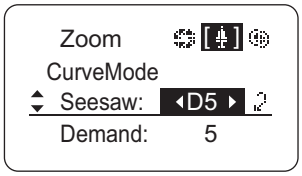
CurveMode 画面に切り替わります。

CurveMode 画面



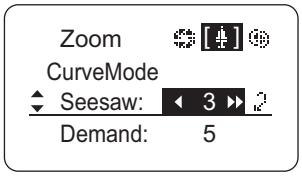
3 ▼ キーを押す

［Seesaw］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



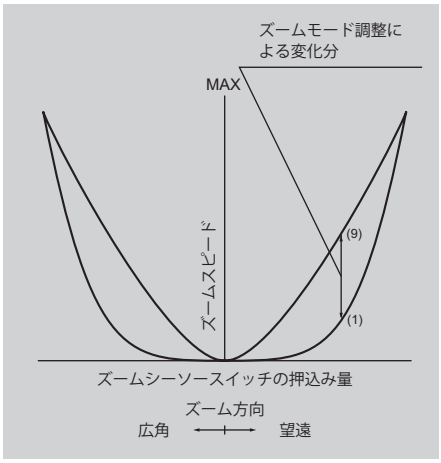
4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。



5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 7 → [Z.M.] → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

アナログデマンドカーブの特性を設定する

アナログデマンドの倒し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ [🚹]
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

画面 A

MENU [🚹] 1
A2 Fr1P R RET
[Z.M.] ▸ Zoom
AM Norm

CurveMode 画面

Zoom [🚹]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom [🚹]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: ◂ D5 ▸

Zoom [🚹]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: ◂◂ 8 ▸

1 ▼ キーを 6 回押す

反転表示になります。

2 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

3 ▼ キーを 2 回押す

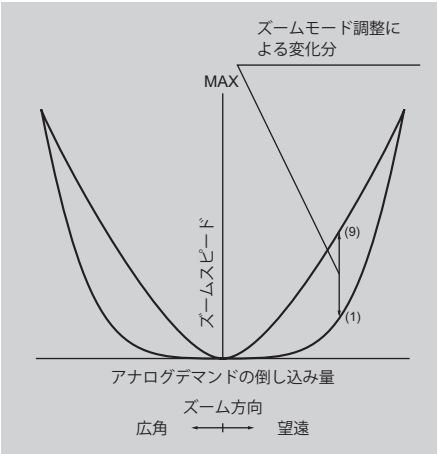
［Demand］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

4 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

5 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 6 → [Z.M.] → Set → ▼ × 2 → ▶ または ◀ → Set

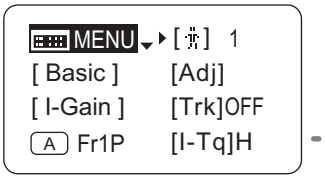
4.1.15 シーソーに機能を割り付ける

ズームシーソースイッチに、『Zoom』または『Iris』操作機能を割り付けることができます。

重要

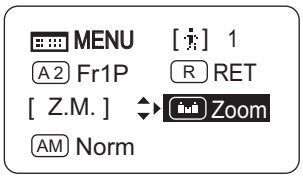
操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 ▼ キーを 6 回 ▶ キーを 1 回押す

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。



2 Set キーを押す

点滅表示になります。



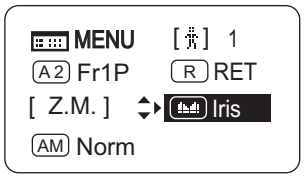
3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Zoom』、または『Iris』を切り替えます。



4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。



『ご注意ください』
アイリス機能を割り付けた場合の注意事項

1. シーソーでのズーム操作は行えません。
2. アイリスをロッカースイッチで操作するには、アイリスモードが MANUAL になっていることが必要です。
3. TELE 側を押し込むと、OPEN 側に動作します。また、WIDE 側を押し込むと、CLOSE 側に動作します。
4. ズームスピード調整機能は有効になり、アイリスの最大スピードを変えられます。（『4.2.5 Zoom 画面で設定する / ズームスピード調整ボリューム最大値を設定する』参照）

選択項目	(D) Zoom	Iris
機能	Zoom 操作	Iris 操作

(D)：デフォルト値

MENU → ▼ × 6 → ▶ → Zoom → Set → ▶ または ◀ → Set

4.1.16 アイリス A/M スイッチを設定する

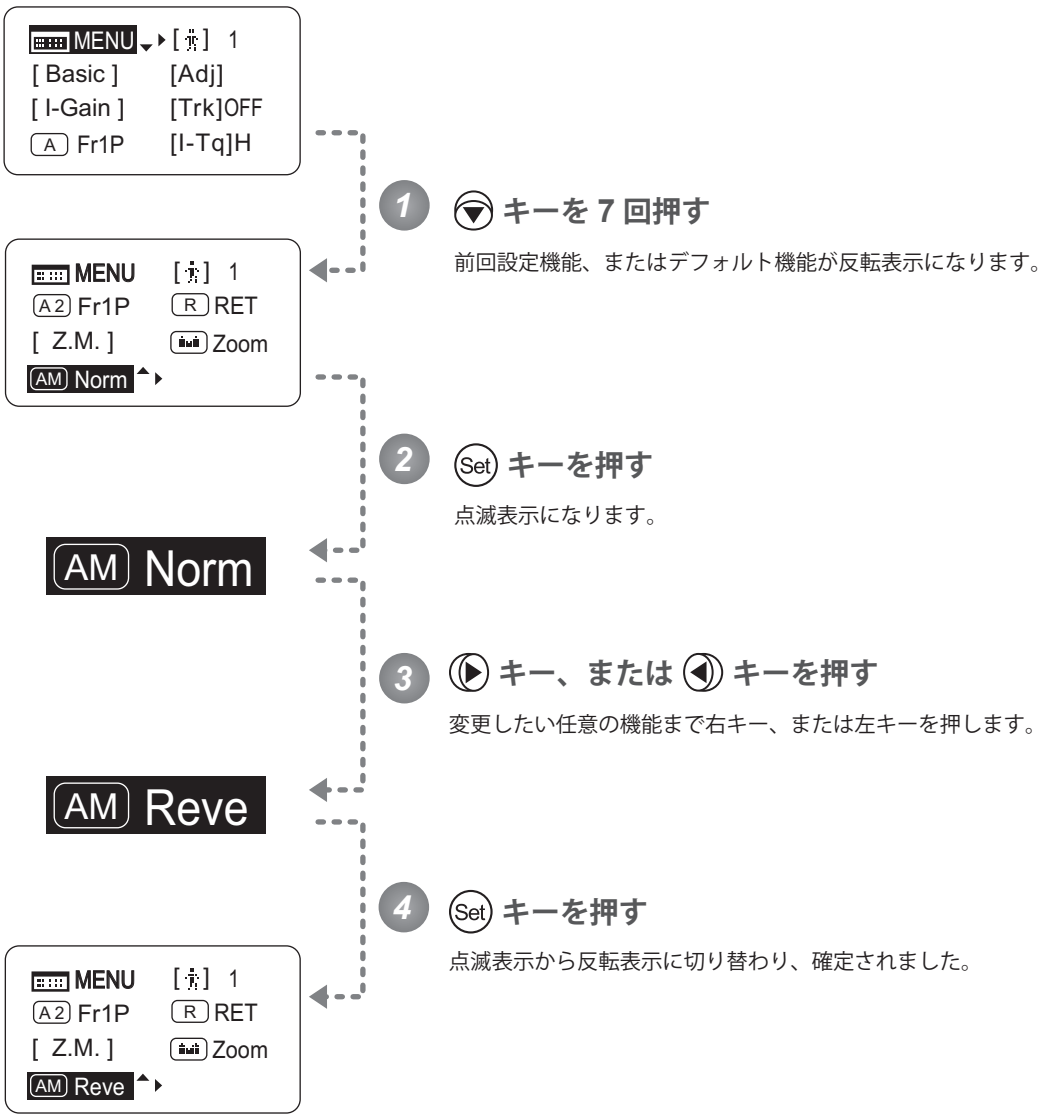
AM

ドライブユニット上部にあるアイリス A/M スイッチに、機能を割り付けることができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



1 ▼ キーを 7 回押す

前回設定機能、またはデフォルト機能が反転表示になります。

2 Set キーを押す

点滅表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

4 Set キーを押す

点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

選択項目	(D) Norm	Reve	Auto	Manu
機能	標準動作 A：Auto / M：Manual	逆転動作 A：Manual / M：Auto	Auto Only A：Auto / M：Auto	Manual Only A：Manual / M：Manual

(D)：デフォルト値

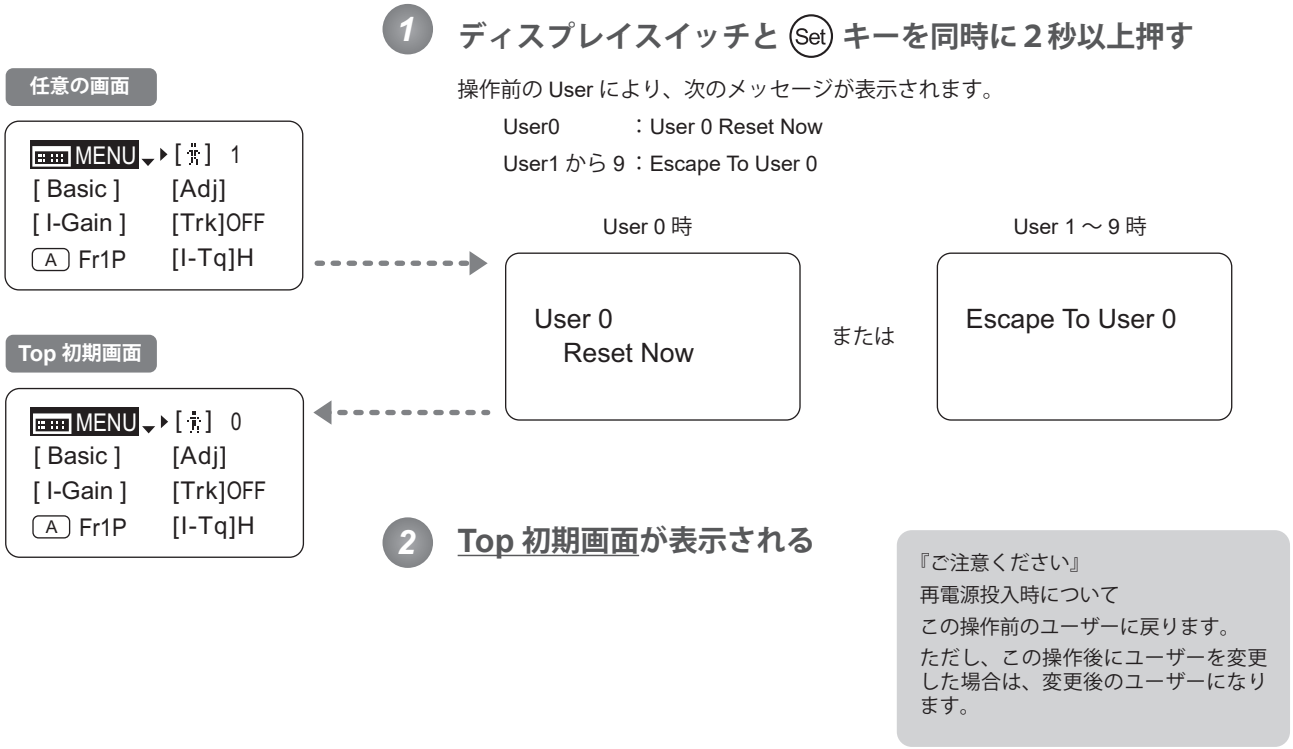
MENU → ▼ × 7 → AM Norm → Set → ▶ または ◀ → Set

4.1.17 エスケープ操作をする

この操作は、現在どのようなユーザー（User 0 から 9）の設定状態にあっても、瞬時に User 0 設定状態（工場出荷設定状態）にジャンプすることができます。

『ご注意ください』

1. Lock 中にこの操作はできません。
2. この操作を行った場合でも、次の項目の設定内容は操作前と同じです。
   オートアイリスゲイン値・リモートアイリスゲイン値・エンコーダー出力設定・カメラフォロー電圧調整



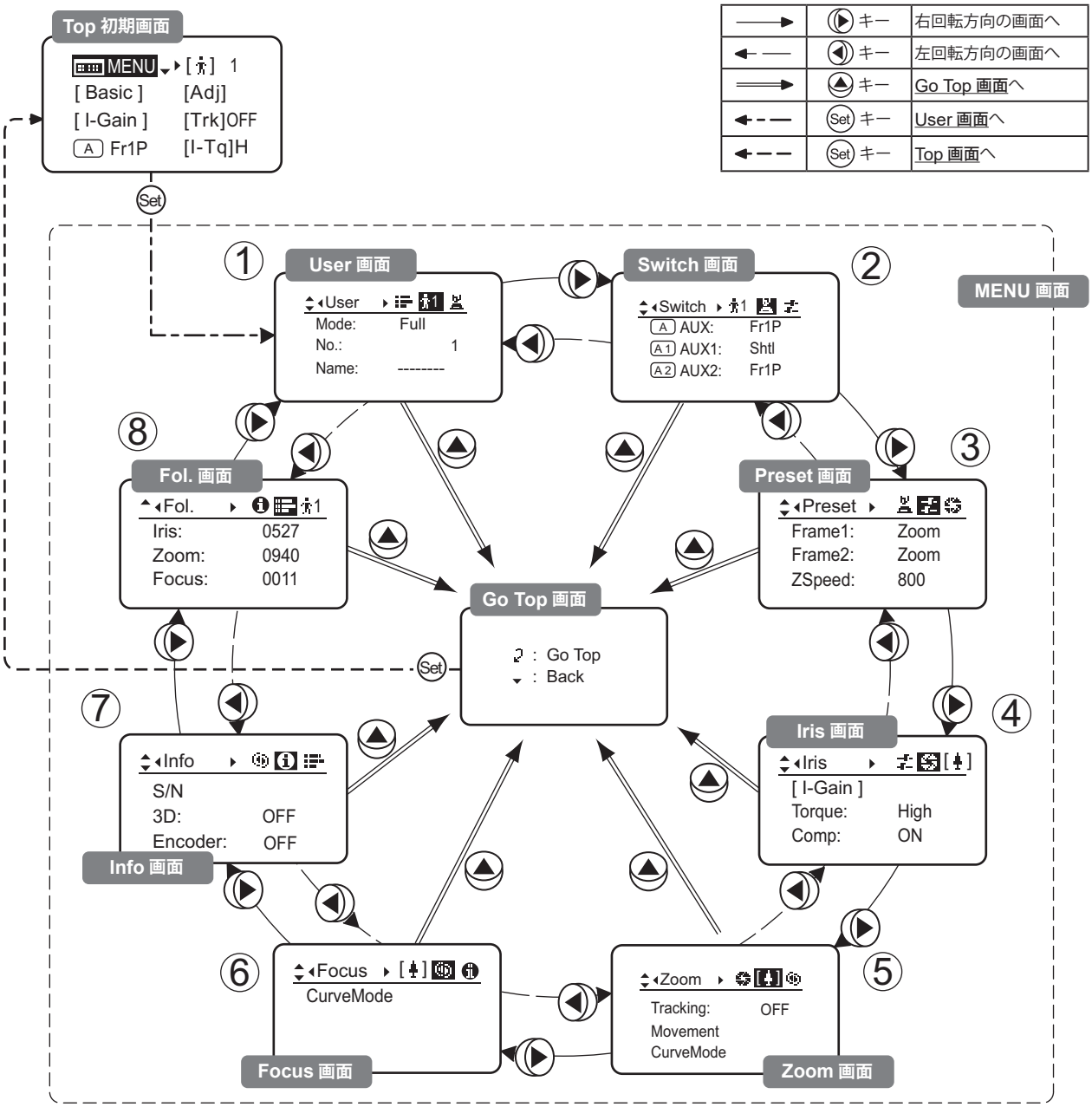
『ご注意ください』
再電源投入時について
この操作前のユーザーに戻ります。
ただし、この操作後にユーザーを変更した場合は、変更後のユーザーになります。

[DISPLAY and Set] 2秒

4.2 MENU 画面から設定する

通常モードの MENU 画面*では、本情報ディスプレイにある 38 種類の設定項目と、3 種類のフォロー相対値表示を設定または表示させることができます。
通常モードの MENU 画面では、機能ごとに User 画面、Switch 画面、Preset 画面、Iris 画面、Zoom 画面、Focus 画面、Info 画面、Fol. 画面の 8 種類に分類されています。
Top 画面の［MENU］を選択し Set キーを押すと、まず始めに User 画面が表示されます。右キー、または左キーを押すことで、他の 7 画面に切り替えることができます。（下図参照）

*：MENU 画面という画面そのものは存在しませんが、8 種類の画面を総称して MENU 画面と呼びます。
機能タイトル横に Top の表示がある設定項目は、Top 画面でも設定可能です。



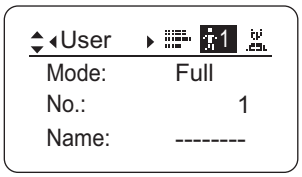
①	User 画面	4.2.1
②	Switch 画面	4.2.2
③	Preset 画面	4.2.3
④	Iris 画面	4.2.4
⑤	Zoom 画面	4.2.5
⑥	Focus 画面	4.2.6
⑦	Info 画面	4.2.7
⑧	Fol. 画面	4.2.8

4.2.1 User 画面で設定する

通常モードで設定可能なユーザーについては『4.1.3 ユーザーを切り替える』をご覧ください。

User 画面では下記項目が設定できます。

通常モード User 画面



モードを切り替える

ユーザーを切り替える Top

ユーザーに名前を付ける

リセットする

(1) 1 ユーザー分の設定をリセットする
(2) 全ユーザー分の設定をリセットする

1 ユーザー分の設定を他の 1 ユーザーへコピーする

レンズ間でデーターをコピーする

(1) 他のレンズへ、 1 ユーザー分のデーター設定をコピーする
(2) 他のレンズへ、全ユーザー分のデーター設定をコピーする
(3) エラー表示が出た場合

ロックモードを設定する

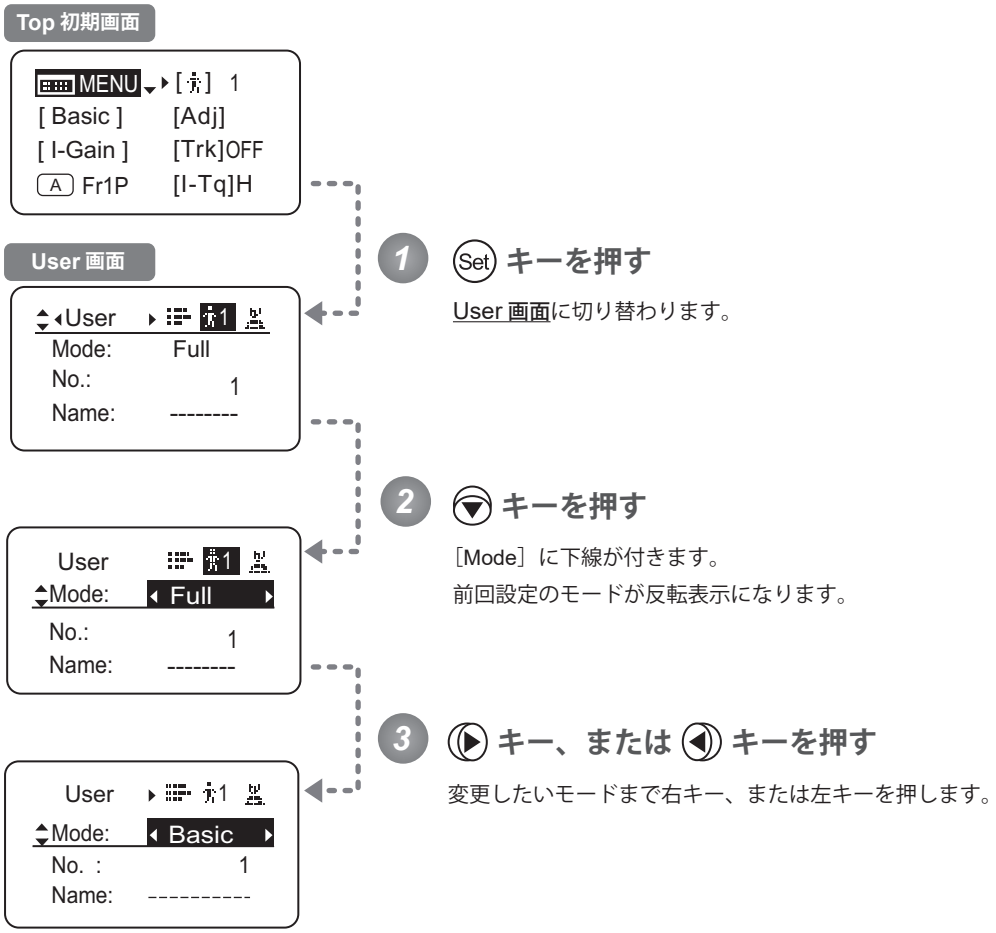
Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

モードを切り替える

使用するモード（簡易モード、アナログモード）への切替えができます。

重要

電源を OFF しても、モードの切替え設定を記憶します。



選択項目	(D) Basic	Full	Analog
設定保存	簡易モード	通常モード	アナログモード

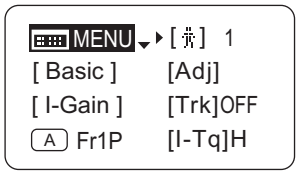
(D)：デフォルト値

MENU → Set → User → → または

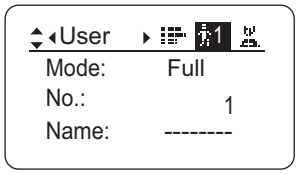
ユーザーを切り替える Top

使用するユーザー（User 0 ～ 9）の切替えができます。ユーザーごとの設定を行うときに、User No. を切り替えます。

Top 初期画面

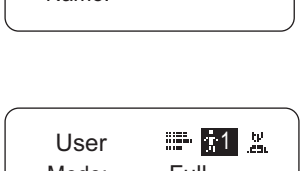


User 画面



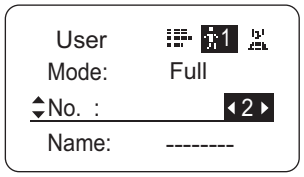
1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 2 回押す

［No.］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したいモードまで右キー、または左キーを押します。

選択項目	0	(D) 1	2	3	4	5	6	7	8	9
設定保存	不可 ただし保存はされないが、一時的に変更可能 ユーザー切替え操作、またはレンズ電源 OFF 操作でデフォルト値に戻ります。	ユーザーごとに保存可能								

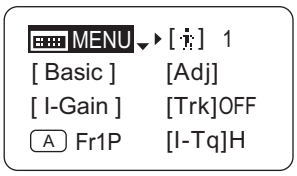
(D)：デフォルト値

MENU → Set → User → ▼ × 2 → ▶ または ◀

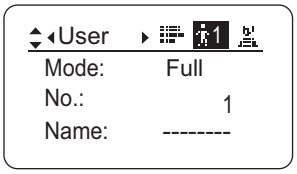
ユーザーに名前を付ける

ユーザーごとに名前をつけることができます。

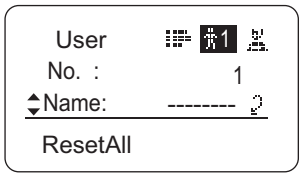
Top 初期画面

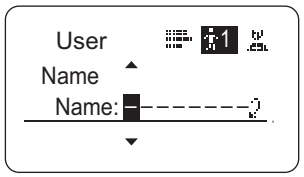


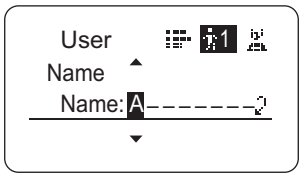
User 画面



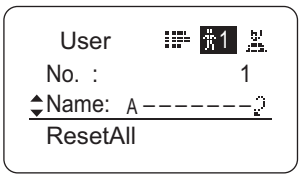
タイトル Name







タイトル Name



重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 キーを 3 回押す

［Name］に下線が付きます。

3 (Set) キーを押す

1 文字目の『-』が反転表示になり、変更可能な状態になります。

4 名前を入力する

名前文字入力
上下キーで文字を探し、桁の移動および修正をするときは左右キーで行ってください。

5 (Set) キーを押して、確定する

タイトル Name に戻ります。

選択項目	_(D) －ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
文字数	最大 8 文字まで

(D)：デフォルト値
_ ：スペース

MENU → (Set) → User [1] → × 3 → (Set) → 名前文字入力 → (Set)

リセットする

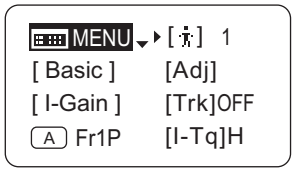
(1) 1 ユーザー分の設定をリセットする

1 つのユーザーに設定された内容をリセットし、デフォルト値に戻すことができます。

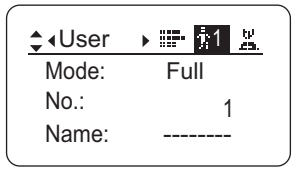
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

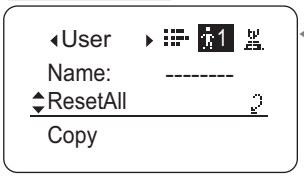
Top 初期画面



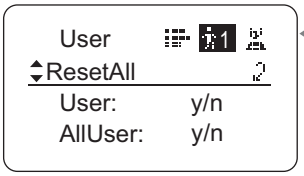
User 画面

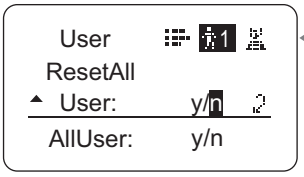


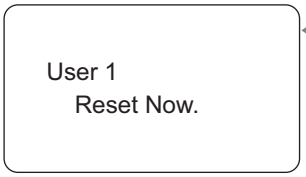
タイトル Reset



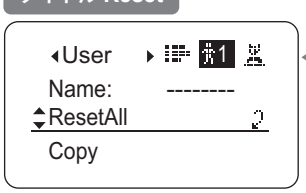
Reset 画面







タイトル Reset



1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 キーを 4 回押す

［ResetAll］に下線が付きます。

『ご注意ください』
アイリスゲイン値・エンコーダー出力設定・カメラフォロー電圧については、リセットは行われません。リセット前の値が残ります。

3 Set キーを押す

Reset 画面に切り替わります。

『ご注意ください』
手順 5 の Set キーを押すまでは、リセットをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。リセットせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

4 キーを押す

あらかじめ選択しておいたユーザーをリセットしてもよいかを聞いてきます。

5 キーを押し、Set キーを押す

一時的に『リセット中』を表す画面表示になり、タイトル Reset に戻ります。
これでリセットされました。

MENU → Set → User → × 4 → Set → → → Set

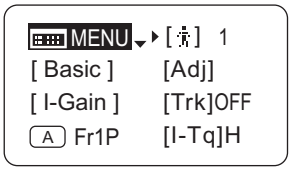
(2) 全ユーザー分の設定をリセットする

全てのユーザーに設定された内容をリセットし、デフォルト値に戻すことができます。

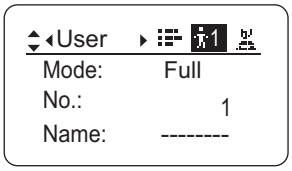
『ご注意ください』
ユーザーを切り替えておく必要はありません。

『ご注意ください』
アイリスゲイン値・エンコーダー出力設定・カメラフォロー電圧については、リセットは行われません。リセット前の値が残ります。

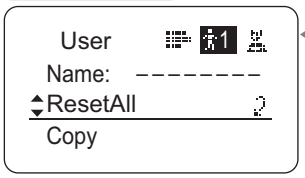
Top 初期画面



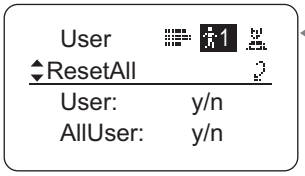
User 画面

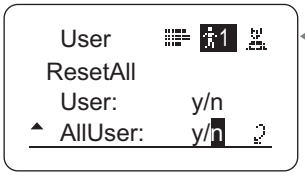


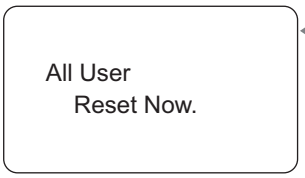
タイトル Reset

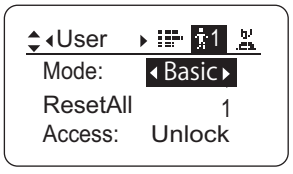


Reset 画面









1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 4 回押す

［ResetAll］に下線が付きます。

『ご注意ください』
手順 5 の(Set)キーを押すまでは、リセットをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。リセットせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

3 (Set) キーを押す

Reset 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 2 回押す

すべてのユーザーをリセットしてもよいかを聞いてきます。

5 ◀ キーを押し、(Set) キーを押す

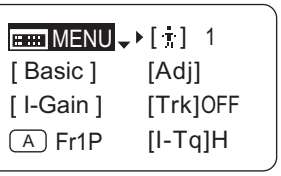
一時的に『リセット中』を表す画面表示になり、これでリセットされました。

MENU → (Set) → User → ▼ × 4 → (Set) → ▼ × 2 → ◀ → (Set)

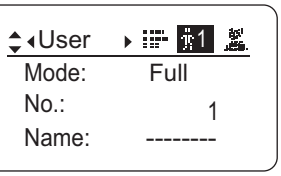
1 ユーザー分の設定を他の 1 ユーザーへコピーする

ユーザーに設定されている内容を、他のユーザーへコピーすることができます。

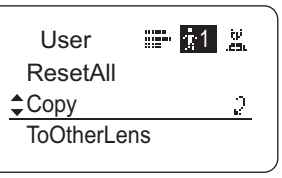
Top 初期画面



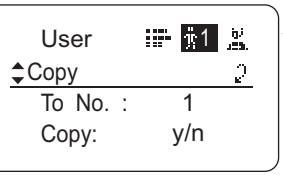
User 画面

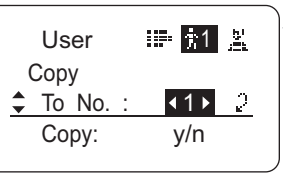


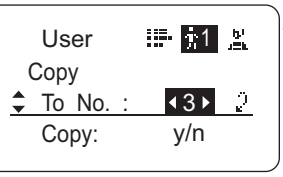
画面 A

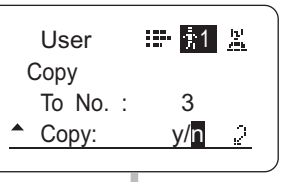


Copy 画面









重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 5 回押す

［Copy］に下線が付きます。

3 (Set) キーを押す

Copy 画面に切り替わります。

『ご注意ください』

手順 7 の(Set)キーを押すまでは、コピーをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。コピーせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

4 ▼ キーを押す

［To No.］に下線が付きます。

5 ▶ キー、または ◀ キー押す

コピー先ユーザーが表示されるまで右キー、または左キーを押します。

6 ▼ キーを押す

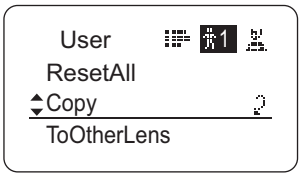
［Copy］に下線が付き、『y』(YES),『n』(NO) の選択が可能になります。

次ページへ

前ページより

7 ◀ キーを押し、Set キーを押す

画面 A



指定したユーザーナンバーにコピーされ、画面 A に戻ります。

MENU → Set → User → ▼ × 5 → Set → ▼ → ▶ または ◀ → ▼ → ◀ → Set

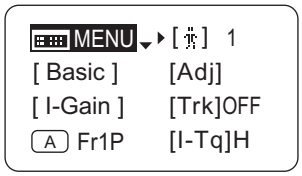
レンズ間でデーターをコピーする

情報ディスプレイ搭載タイプのドライブユニットは、情報ディスプレイ内で設定した内容を、他の情報ディスプレイ搭載タイプのドライブユニットにコピーすることができます。コピーには、1 ユーザー分のデーターコピーと、全ユーザー分のデーターコピーの 2 種類があります。この操作には、別売の専用ケーブルが必要になります。詳しくはキヤノン(株)、または販売代理店にお問い合わせください。

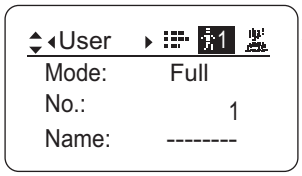
(1) 他のレンズへ、1 ユーザー分のデーター設定をコピーする

『ご注意ください』
操作を行う前の準備（必ず行ってください。）
1. 専用ケーブル（20P-20P）をコピー元レンズと、コピー先レンズのズームリモート＆フォーカスリモート用コネクター（20 ピン）に差し込みます。
2. コピー先レンズとコピー元レンズの電源を投入します。
3. コピー元レンズのディスプレイスイッチを押し、ディスプレイを表示します。（コピー先レンズのディスプレイは表示させないでおいてください。）

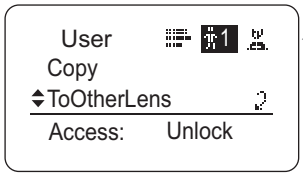
Top 初期画面



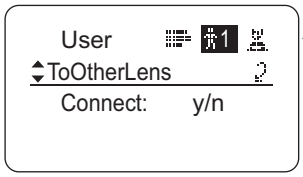
User 画面

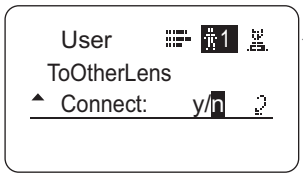


画面 A

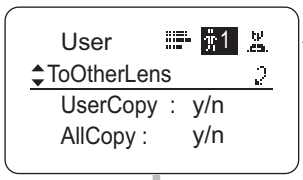


ToOtherLens 画面





画面 B



1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 6 回押す

［ToOtherLens］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

ToOtherLens 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

［Connect］に下線が付き、『y』(YES)、『n』(NO) の選択が可能になります。

5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

画面 B に切り替わります。

6 ▼ キーを押す

重要

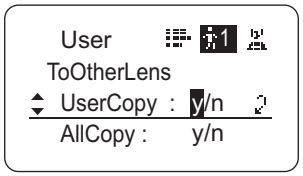
操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

『ご注意ください』
手順 11 の Set キーを押すまでは、コピーをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。コピーせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

次ページへ

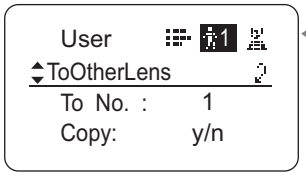
前ページより

コピー選択画面



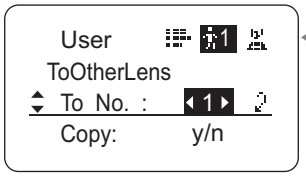
コピー選択画面に切り替わります。

コピー先ユーザー選択画面



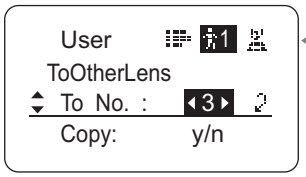
7 (Set) キーを押す

コピー先ユーザー選択画面に切り替わります。



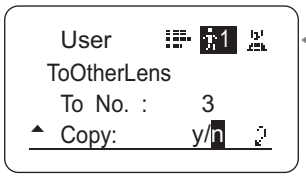
8 (▼) キーを押す

［To No.］に下線が付きます。



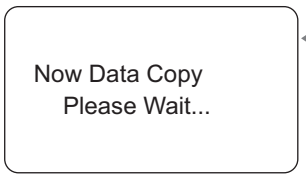
9 (▶) キーまたは、(◀) キーを押す

コピー先レンズのコピーしたいユーザーナンバーが表示されるまで、右キー、または左キーを押します。

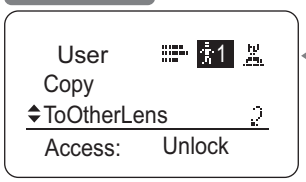


10 (▼) キーを押す

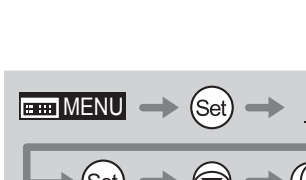
［Copy］に下線が付き、『y』(YES)、『n』(NO) の選択が可能になります。



11 (◀) キーを押し、(Set) キーを押す *1



画面 A



一時的に『コピー中』を表す画面表示になり、画面 A に戻ります。

これでレンズ間でのコピーがされました。*2

*1： ここで Set キーを押すと、実際にコピーが開始されます。一度開始すると、コピー先レンズのデーターは元データーには戻せません。ご注意ください。

*2： コピー中に、コピー元レンズ・コピー先レンズともに、操作スイッチを操作したり、ディスプレイスイッチを押したりすると、コピーが正常に行われない可能性があります。操作は行わないでください。

『ご注意ください』
コピー操作が正常に行われない場合、エラーメッセージが表示されます。対処方法については、「(3) エラー表示が出た場合」をご覧ください。

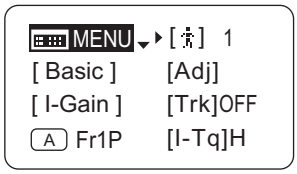
MENU → (Set) → User → 1 → (▼) × 6 → (Set) → (▼) → (◀) → (Set) → (▼)
→ (Set) → (▼) → (▶) または (◀) → (▼) → (◀) → (Set)

(2) 他のレンズへ、全ユーザー分のデータ設定をコピーする

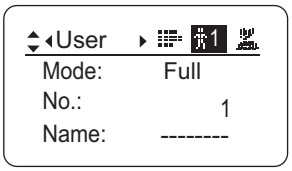
この操作には、別売の専用ケーブルが必要になります。詳しくはキヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。

『ご注意ください』
操作を行う前の準備（必ず行ってください。）
1. 専用ケーブル（20P-20P）をコピー元レンズと、コピー先レンズのズームリモート＆フォーカスリモート用コネクター（20 ピン）に差し込みます。
2. コピー先レンズとコピー元レンズの電源を投入します。
3. コピー元レンズのディスプレイスイッチを押し、ディスプレイを表示します。（コピー先レンズのディスプレイは表示させないでおいてください。）

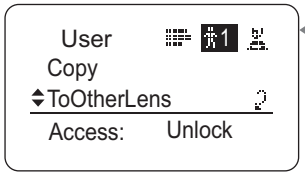
Top 初期画面



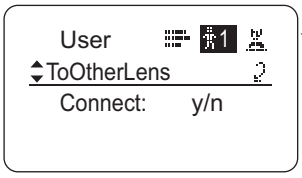
User 画面

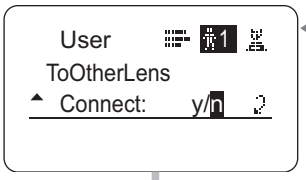


画面 A



ToOtherLens 画面





1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 6 回押す

［ToOtherLens］に下線が付きます。

3 (Set) キーを押す

ToOtherLens 画面に切り替わります。

『ご注意ください』
手順 9 の(Set)キーを押すまでは、コピーをせずに操作を元に戻すことが可能です。元の画面に戻すには上キーを押してください。コピーせずに表示を消す場合には、ディスプレイスイッチを押してください。

4 ▼ キーを押す

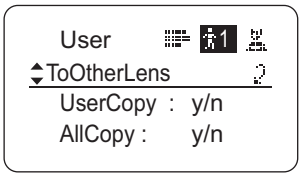
［Connect］に下線が付き、『y』(YES)、『n』(NO) の選択が可能になります。

5 ◀ キーを押し、(Set) キーを押す

次ページへ

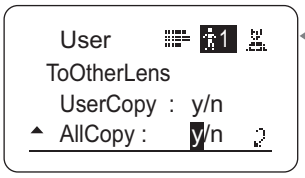
前ページより

画面 B



画面 B に切り替わります。

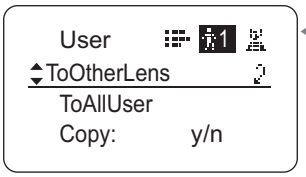
6 ▼ キーを 2 回押す



［AllCopy］に下線が付き、『y』(YES),『n』(NO) の選択が可能になります。

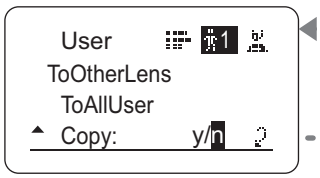
7 Set キーを押す

AllCopy 画面



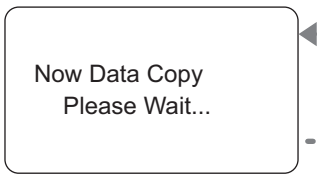
AllCopy 画面に切り替わります。

8 ▼ キーを押す



［Copy］に下線が付き、『y』(YES)、『n』(NO) の選択が可能になります。

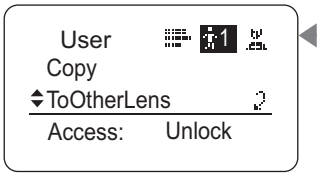
9 ◀ キーを押し、Set キーを押す *1



一時的に『コピー中』を表す画面表示になり、画面 A に戻ります。

これでレンズ間でのコピーがされました。*2

画面 A



*1： ここで Set キーを押すと、実際にコピーが開始されます。一度開始すると、コピー先レンズのデーターは元データーには戻せません。ご注意ください。

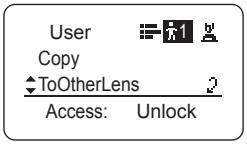
*2： コピー中に、コピー元レンズ・コピー先レンズともに、操作スイッチを操作したり、ディスプレイスイッチを押したりすると、コピーが正常に行われない可能性があります。操作は行わないでください。

『ご注意ください』
コピー操作が正常に行われない場合、エラーメッセージが表示されます。対処方法については、「(3) エラー表示が出た場合」をご覧ください。

MENU → Set → User → ▼ × 6 → Set → ▼ → ◀ → Set → ▼ × 2 → Set → ▼ → ◀ → Set

(3) エラー表示が出た場合

レンズ間でのコピー操作が正常に行われない場合、以下をご覧ください。

エラー画面	確認してください	エラー原因	対処方法
Lens Connect Error!!	専用ケーブル（20P-20P）が接続されていますか？	専用ケーブル（20P-20P）で接続されていないとレンズ間でのデーターコピーは行えません。	専用ケーブル（20P-20P）をコピー元レンズとコピー先レンズにしっかりと接続し、コピーを最初からやり直してください。
	コピー先レンズの電源は投入されていますか？	コピー元レンズとコピー先レンズともに電源が入っていないとレンズ間でのデーターコピーは行えません。	コピー元レンズ・コピー先レンズともに電源を入れ、コピーを最初からやり直してください。
	コピー先レンズのドライブユニットのモデルは同じですか？	世代が異なるドライブユニットのレンズ間でのデーターコピーは行えません。	コピー可能なドライブユニットのモデルに関しましては、キヤノン（株）または販売会社にお問い合わせください。
Copy Error!!	専用ケーブル（20P-20P）が接続されていますか？	コピー中に断線した場合または、コピー先レンズの電源が低下および OFF になった場合、左記の画面が表示されます。この場合、データーのコピーは途中で止まってしまっており、正常にコピーされていません。	コピー元レンズ・コピー先レンズともにレンズの電源が投入され、専用ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。ディスプレイスイッチを押し、<u>画面 A</u> に戻し、コピーを最初からやり直してください。 画面 A 
	コピー元レンズ・コピー先レンズともにレンズの電源は投入されていますか？		

ロックモードを設定する

設定した機能が容易に変更されないようにするため、特定の機能にロックモードを設定できます。ロックモード設定はユーザーに関係なく、一度設定すると全ユーザーに適用されます。
アナログモード時のロックについては、『5. アナログモードで操作する』をご覧ください。

Unlock 状態

MENU ▸ [ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

Lock 状態

MENU ▸ [ ] Lock
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

『ご注意ください』

1. User No. の表示部分に 0 から 9 の数字がある場合は、Unlock 状態を示します。
   User No. の表示部分に Lock の文字がある場合は、Lock 状態を示します。
2. Lock 状態では下記項目の設定のみが可能で、それ以外の設定はできなくなります。
   - プリセットデーター (ShtlShot 位置、FramePreset 位置、PresetSpeed) の設定
   - ZoomTrack の位置および ON/OFF 設定
   - AutoIrisGain 設定
   - エンコーダー出力設定
   - カメラフォロー電圧調整

(1) Lock 操作

Top 初期画面

MENU ▸ [ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

User 画面

User ▸ 1
Mode: Full
No.: 1
Name: --------

User 1
Copy
ToOtherLens
Access: Unlock

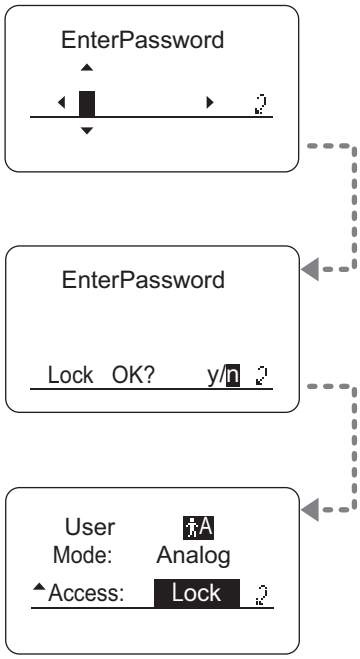
1 Set キーを押す
User 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 7 回押す
前回設定値、またはデフォルト値が反転表示になります。

3 Set キーを押す

次ページへ

前ページより



4 パスワードを入力し、Set キーを押す

パスワード文字入力

上下キーで文字を探し、桁の移動および修正をするときは左右キーで行ってください。
パスワード入力完了までは、絶対に Set キーを押さないでください。

5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

Lock が設定されました。

『ご注意ください』

パスワードについて
本製品には、パスワードを特別に設けておりません。Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードです。したがって、パスワードは毎回メモを取っておくなどしてください。パスワードを忘れた場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。パスワードは未入力から最大 8 桁まで入力できます。

パスワード入力可能文字

選択項目	(D) __ー ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
文字数	最大 8 文字まで

(D)：デフォルト値
__ ：スペース

選択項目	(D) Unlock	Lock

(D)：デフォルト値

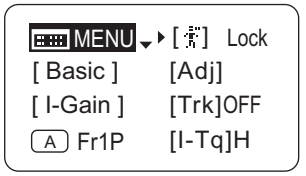
MENU → Set → ▼ × 7 → Set → パスワード入力 → Set → ◀ → Set → DISPLAY

(2) Unlock 操作

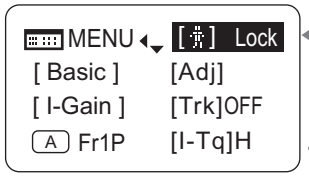
Unlock 操作は 2 通りの方法があります。

(Unlock 操作 1)

Top 初期画面



1 ▶ キーを押す

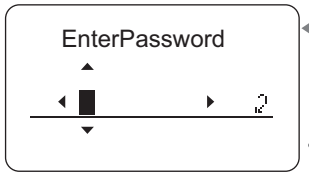


2 Set キーを押す

点滅表示になります。

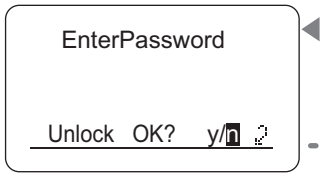


3 ▶ キー、または ◀ キー押す



4 パスワードを入力し、Set キーを押す

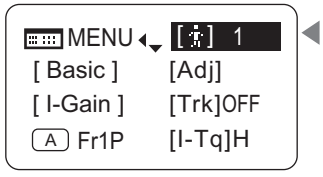
Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードになります。



5 ◀ キーを押し、Set キーを押す

Lock 文字が User No. に変更になります。

(Lock 時の User No. を表示)



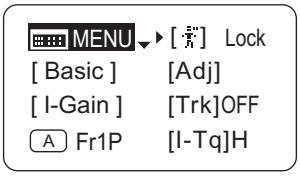
選択項目	(D) Unlock	Lock

(D)：デフォルト値

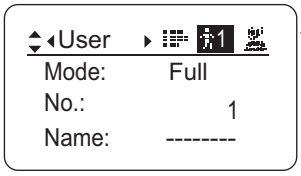
MENU → ▶ → [ ] Lock → ▶ または ◀ → パスワード入力 → Set → ◀ → Set

（Unlock 操作 2）

Top 初期画面

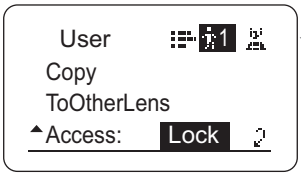


User 画面

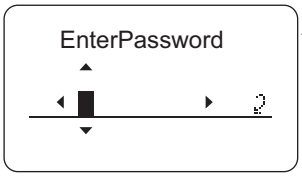


1 Set キーを押す

User 画面に切り替わります。



2 キーを 7 回押す

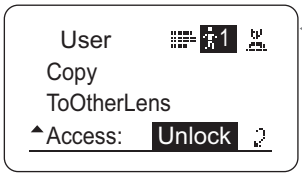


3 Set キーを押す



4 パスワードを入力し、Set キーを押す

Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードになります。



5 キーを押し、Set キーを押す

Unlock が設定されました。

MENU → Set → × 7 → Set → パスワード入力 → Set → → Set

4.2.2 Switch 画面で設定する

Switch 画面では下記項目が設定できます。

AUX スイッチに機能を割り付ける Top
AUX1 スイッチに機能を割り付ける Top
AUX2 スイッチに機能を割り付ける Top
VTR スイッチに機能を割り付ける Top
RET スイッチに機能を割り付ける Top
アイリス A/M スイッチを設定する Top
シーソーに機能を割り付ける Top

Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

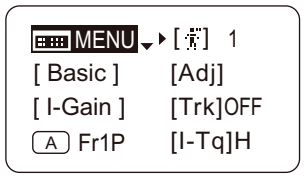
AUX スイッチに機能を割り付ける Top

AUX スイッチに、機能を割り付けることができます。

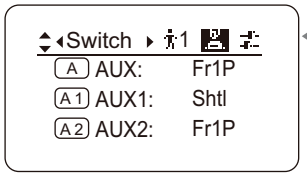
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



Switch 画面

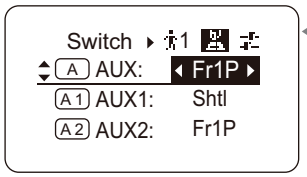


1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

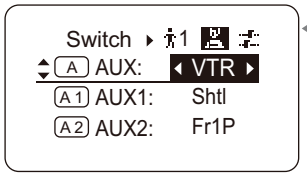
2 ▼ キーを押す

［AUX］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。



選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ → ▶ または ◀

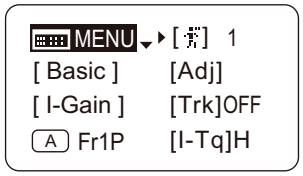
AUX1 スイッチに機能を割り付ける Top

ズームデマンドの AUX1 スイッチに、機能を割り付けることができます。

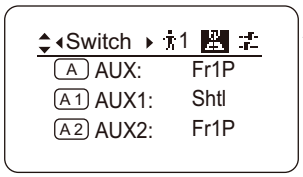
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

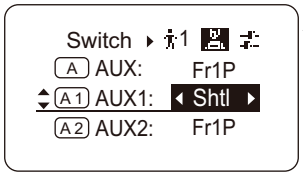


Switch 画面



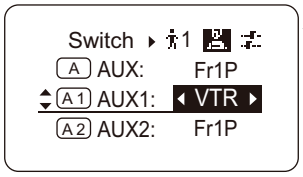
1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 2 回押す

［AUX1］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	(D) Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 2 → ▶ または ◀

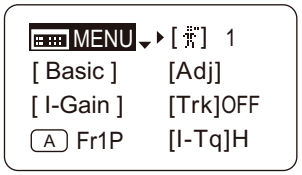
AUX2 スイッチに機能を割り付ける Top

ズームデマンドの AUX2 スイッチに、機能を割り付けることができます。

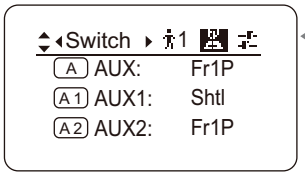
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

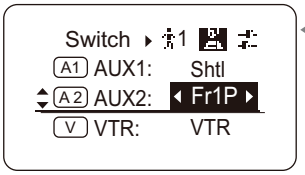


Switch 画面



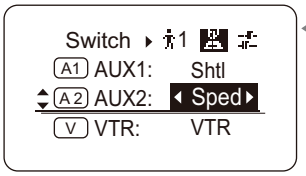
1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 3 回押す

［AUX2］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

選択項目	(D) Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON	VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	機能なし	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 3 → ▶ または ◀

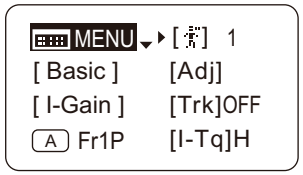
VTR スイッチに機能を割り付ける Top

VTR スイッチに、機能を割り付けることができます。

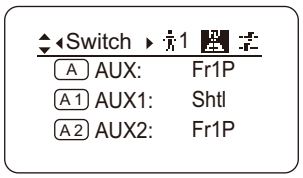
重要

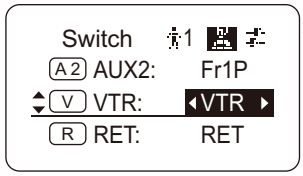
操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

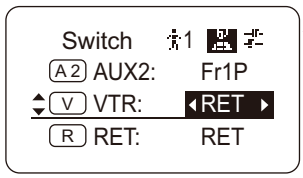
Top 初期画面



Switch 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 4 回押す

［VTR］に下線が付きます。
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	(D) VTR	RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

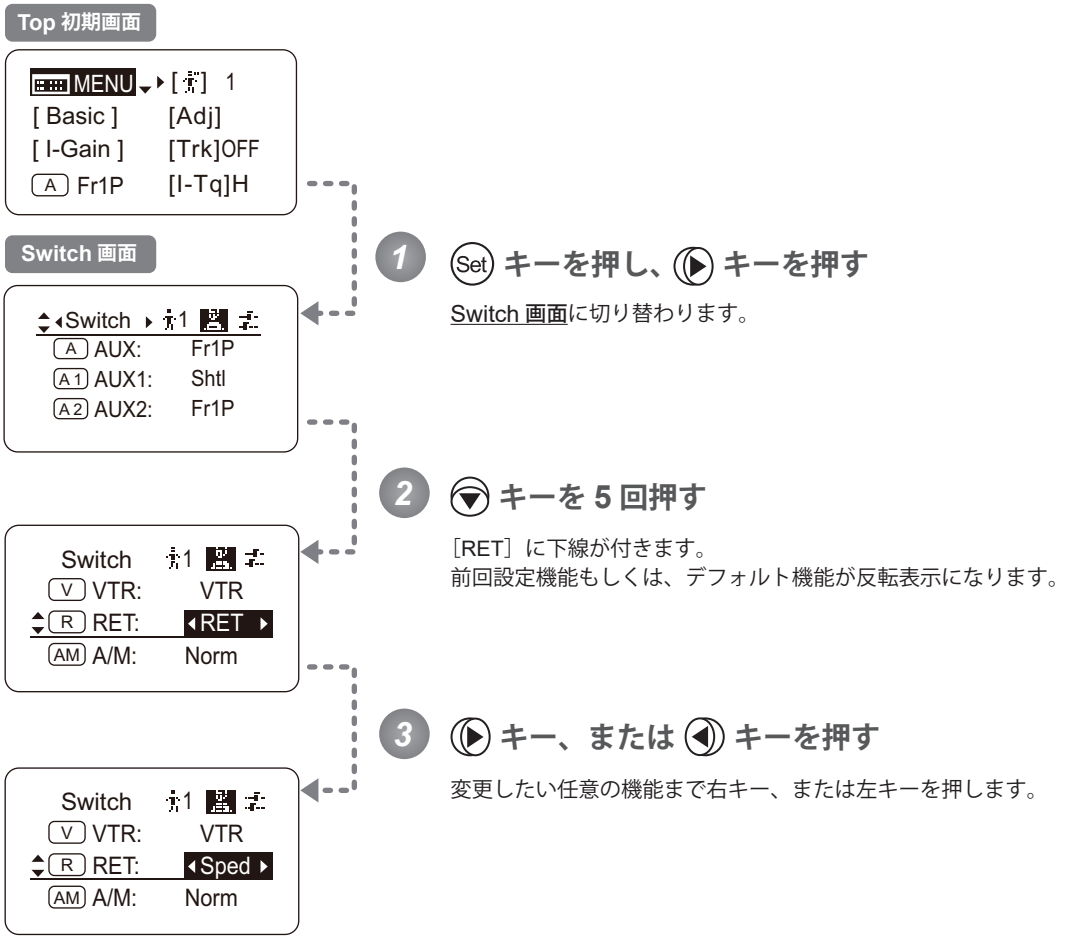
MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 4 → ▶ または ◀

RET スイッチに機能を割り付ける Top

RET スイッチに、機能を割り付けることができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 5 回押す

［RET］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

選択項目	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	VTR	(D) RET
機能	Framing Preset1 スイッチ（設定速度）	Framing Preset1 スイッチ（最高速度）	Framing Preset2 スイッチ（設定速度）	Framing Preset2 スイッチ（最高速度）	Speed Preset スイッチ	シャトルショット スイッチ	VTR スイッチ	RET スイッチ

(D)：デフォルト値

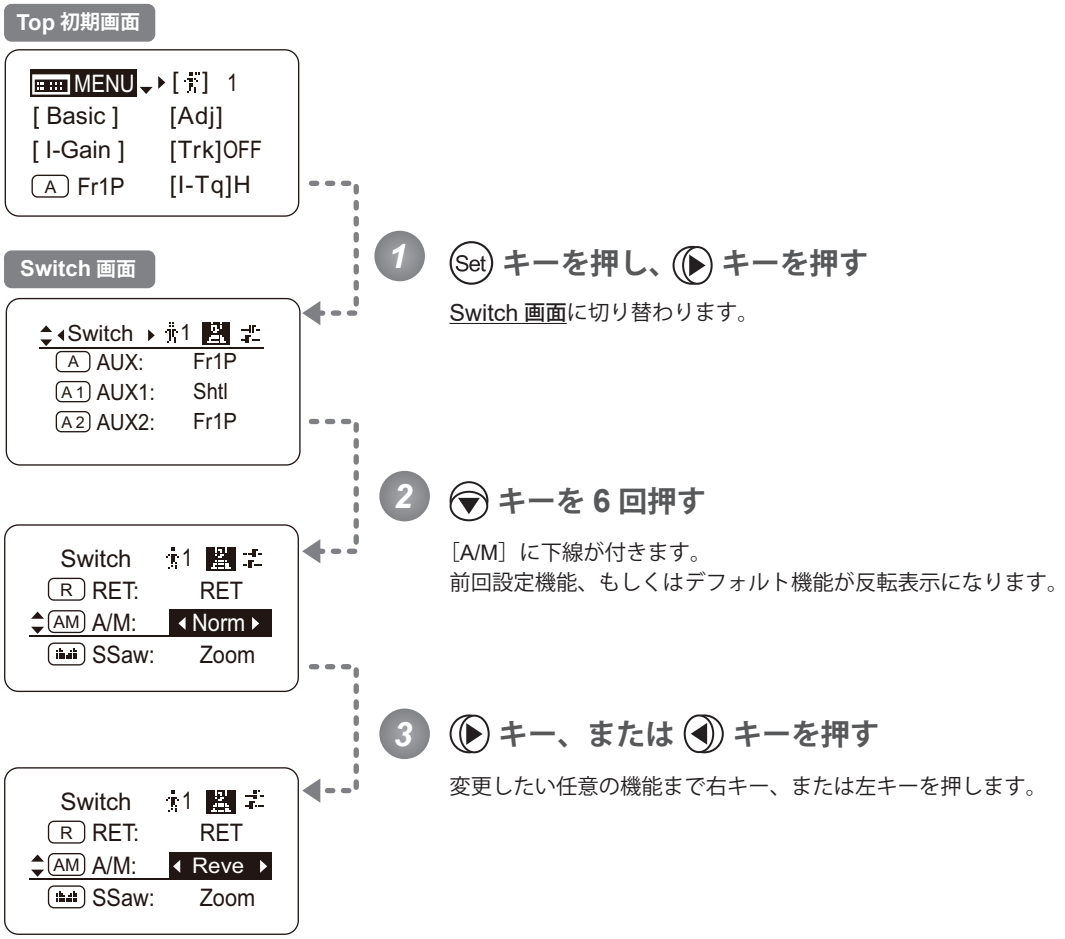
MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 5 → ▶ または ◀

アイリス A/M スイッチを設定する Top

アイリス A/M スイッチに、機能を割り付けることができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



選択項目	(D) Norm	Reve	Auto	Manu
機能	標準動作 A：Auto / M：Manual	逆転動作 A：Manual / M：Auto	Auto Only A：Auto / M：Auto	Manual Only A：Manual / M：Manual

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 6 → ▶ または ◀

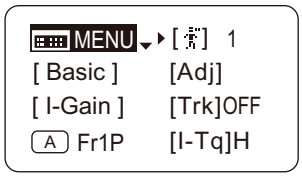
シーソーに機能を割り付ける Top

ズームシーソースイッチに、『Zoom』または『Iris』操作機能を割り付けることができます。

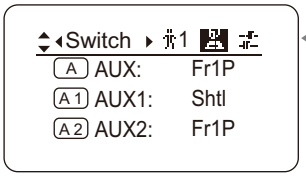
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



Switch 画面

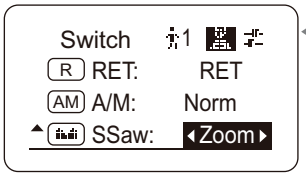


1 Set キーを押し、▶ キーを押す

Switch 画面に切り替わります。

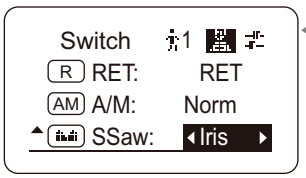
2 ▼ キーを 7 回押す

［SSaw］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、
または左キーを押します。



『ご注意ください』
アイリス機能を割り付けた場合の注意事項

1. シーソーでのズーム操作は行えません。
2. アイリスをロッカースイッチで操作するには、アイリスモードが MANUAL になっていることが必要です。
   AUTO / REMOTE モード時には操作できません。
3. TELE 側を押し込むと、OPEN 側に動作します。また、WIDE 側を押し込むと、CLOSE 側に動作します。
4. ズームスピード調整機能は有効になり、アイリスの最大スピードを変えられます。（『4.2.5 Zoom 画面で設定する / ズームスピード調整ボリューム最大値を設定する』参照）

選択項目	(D) Zoom	Iris
機能	Zoom 操作	Iris 操作

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ → Switch 1 → ▼ × 7 → ▶ または ◀

4.2.3 Preset 画面で設定する

Preset 画面では下記項目が設定できます。

Frame Preset1 の制御対象を切り替える
Frame Preset2 の制御対象を切り替える
プリセットモード時のズームスピードを設定する
各プリセットのズーム立上がり特性を設定する
各プリセットのズーム止まり際特性を設定する

Frame Preset1 の制御対象を切り替える

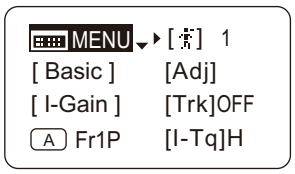
フレームプリセット 1 の制御対象を切り替えることができます。

Zoom ： ズームがメモリ位置へ移動
Focus ： フォーカスがメモリ位置へ移動
Z+F ： ズーム、フォーカスがメモリ位置へ移動

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

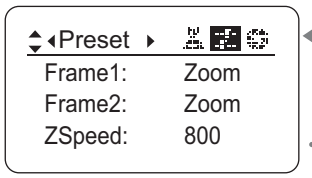
Top 初期画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

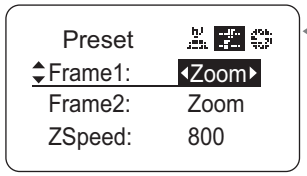
Preset 画面



2 ▼ キーを押す

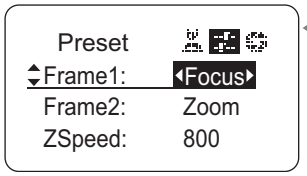
［Frame1］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

画面 A



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

Frame1 画面



選択項目	(D) Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム動作制御	フォーカス動作制御	ズーム + フォーカス動作制御

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 2 → Preset ▸ → ▼ → ▶ または ◀

Frame Preset2 の制御対象を切り替える

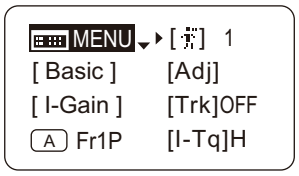
フレームプリセット 2 の制御対象を切り替えることができます。

Zoom ： ズームがメモリ位置へ移動
Focus ： フォーカスがメモリ位置へ移動
Z+F ： ズーム、フォーカスがメモリ位置へ移動

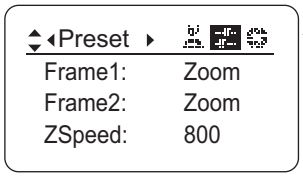
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



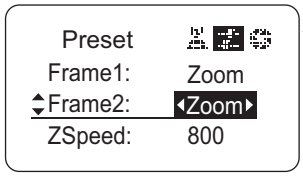
Preset 画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

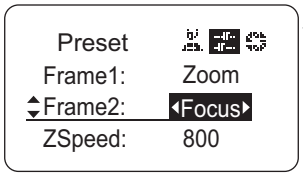
画面 A



2 ▼ キーを 2 回押す

［Frame2］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

Frame2 画面



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

選択項目	(D) Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム動作制御	フォーカス動作制御	ズーム + フォーカス動作制御

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 2 → Preset → ▼ × 2 → ▶ または ◀

プリセットモード時のズームスピードを設定する

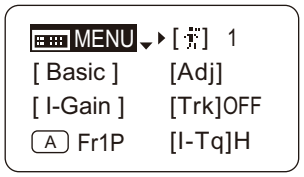
任意の位置から記憶ポジションまでのズームスピードを、設定することができます。
変更方法には、Memo スイッチによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）と、ディスプレイ操作による変更方法とがあります。
2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。

重要

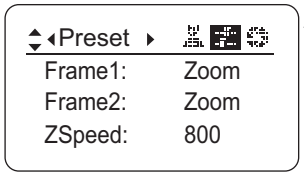
操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

『ご注意ください』
設定した値は、Fr1P, Fr2P の両方に同じ値が適用されます。

Top 初期画面



Preset 画面

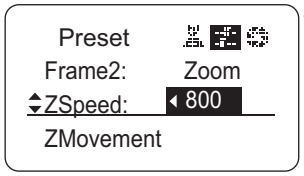


1 Set キーを押し、▶ キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

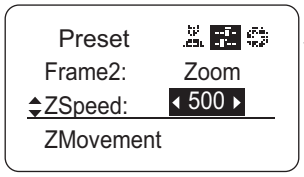
2 ▼ キーを 3 回押す

［ZSpeed］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。



選択項目	1	～	(D) 800
機能	最低速		最高速

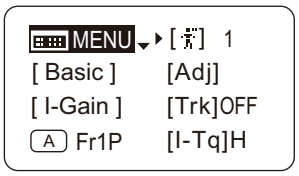
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 2 → Preset → ▼ × 3 → ▶ または ◀

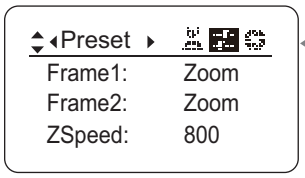
各プリセットのズーム立上り特性を設定する

プリセット操作を行ったときのズーム立上がり特性を、設定することができます。

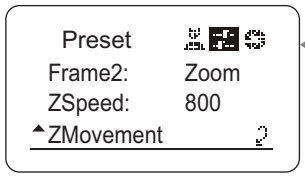
Top 初期画面



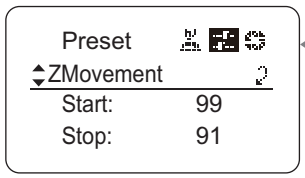
Preset 画面

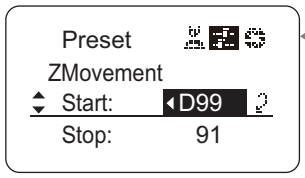


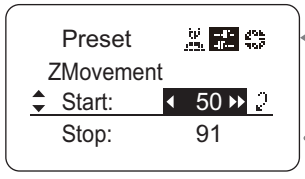
画面 A



ZMovement 画面







重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

1 **(Set) キーを押し、(▶) キーを 2 回押す**

Preset 画面に切り替わります。

2 **(▼) キーを 4 回押す**

［ZMovement］に下線が付きます。

3 **(Set) キーを押す**

ZMovement 画面に切り替わります。

4 **(▼) キーを押す**

［Start］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 **(▶) キー、または (◀) キーを押す**

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

6 **(Set) キーを押す**

画面 A に戻ります。

選択項目	00	～	(D) 99
機能	ゆっくり立上がる		急に立上がる

(D)：デフォルト値

MENU → (Set) → (▶) × 2 → Preset ▸ → (▼) × 4 → (Set) → (▼) → (▶) または (◀) → (Set)

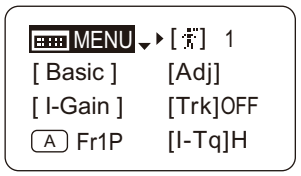
各プリセットのズーム止まり際特性を設定する

プリセット操作を行ったときのズーム止まり際特性を、設定することができます。

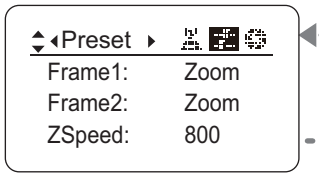
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

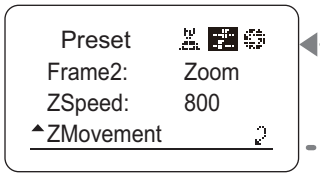
Top 初期画面



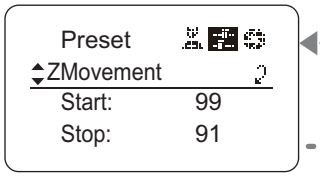
Preset 画面

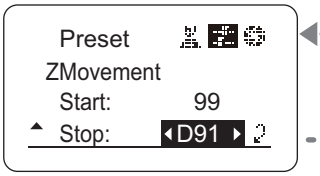


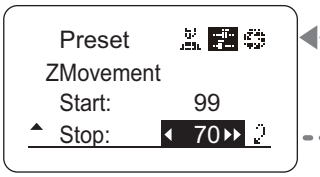
画面 A



ZMovement 画面







1 (Set) キーを押し、(▶) キーを 2 回押す

Preset 画面に切り替わります。

2 (▼) キーを 4 回押す

［ZMovement］に下線が付きます。

3 (Set) キーを押す

ZMovement 画面に切り替わります。

4 (▼) キーを 2 回押す

［Stop］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 (▶) キー、または (◀) キーを押す

変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

6 (Set) キーを押す

画面 A に戻ります。

選択項目	00	～	99
機能	ゆっくり止まる		急に止まる

デフォルト値：91

MENU → (Set) → (▶) × 2 → Preset → (▼) × 4 → (Set) → (▼) × 2 → (▶) または (◀) → (Set)

4.2.4 Iris 画面で設定する

Iris 画面では下記項目が設定できます。

アイリスゲインを設定する
- (1) オートアイリスゲインを設定する Top
- (2) リモートアイリスゲインを設定する Top

アイリストルクを設定する Top

アイリス補正の ON/OFF を切り替える

アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える

フォーカスデマンドによるアイリス操作の ON/OFF を切り替える

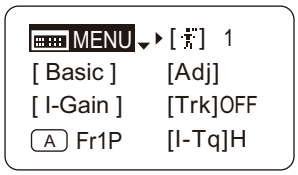
Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

アイリスゲインを設定する

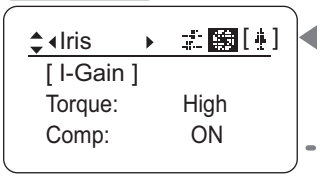
(1) オートアイリスゲインを設定する Top

出荷時には適正に設定されていますが、設定を変更することができます。
変更方法には、オートアイリスゲイン調整トリマーによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）と、ディスプレイ操作による変更方法とがあります。2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。
オートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく、全てのユーザーに共通で使用されます。そのため、ユーザー切替えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に 0 ユーザーにも設定変更が反映されます。

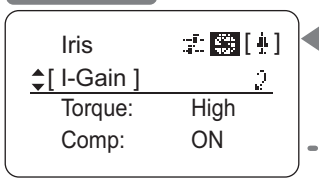
Top 初期画面



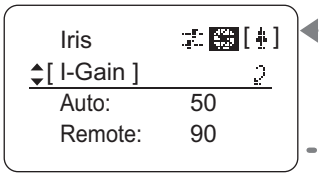
Iris 画面

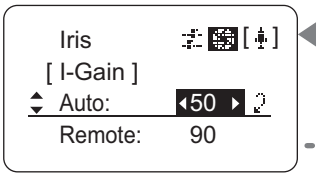


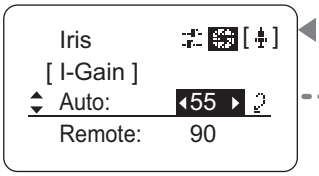
画面 A



[I-Gain] 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［I-Gain］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

[I-Gain] 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

［Auto］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Auto］にします。

『ご注意ください』
レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが最高になるように設定してください。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、4.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

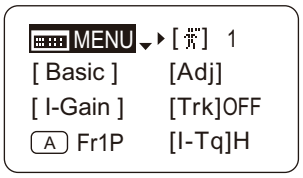
デフォルト値：工場出荷値により異なりますが、アイリスゲイン調整トリマーでの設定値となります。

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [ ] → ▼ → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

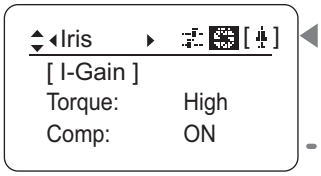
(2) リモートアイリスゲインを設定する Top

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
リモートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく、全てのユーザーに共通で使用されます。そのため、ユーザー切替えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に 0 ユーザーにも設定変更が反映されます。

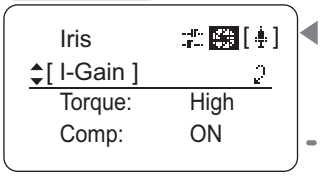
Top 初期画面



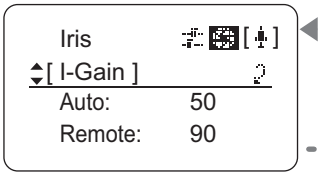
Iris 画面

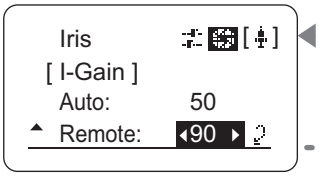


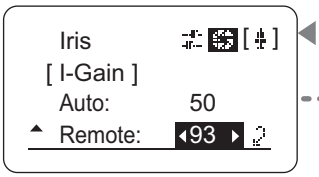
画面 A



[I-Gain] 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを押す

［I-Gain］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

[I-Gain] 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 2 回押す

［Remote］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Remote］にします。

『ご注意ください』
アイリスゲインの設定値は、4.2.1 に記載の「リセットする」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはどこかにメモしておくことをお薦めします。

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

デフォルト値：90

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris → [ ] → ▼ → Set → ▼ × 2 → ▶ または ◀ → Set

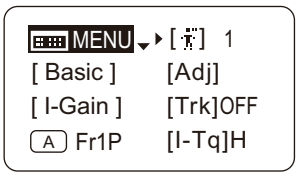
アイリストルクを設定する Top

アイリスリングをマニュアル操作したときの操作力が選択できます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

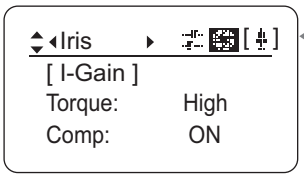
Top 初期画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

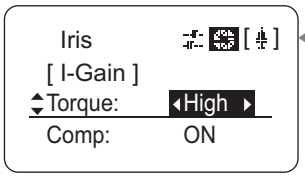
Iris 画面に切り替わります。

Iris 画面



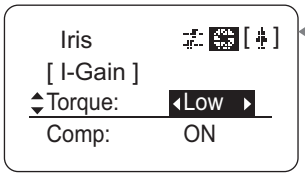
2 ▼ キーを 2 回押す

［Torque］に下線が付きます。
前回設定機能もしくは、デフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キーまたは、左キーを押し、『High』または『Low』に切り替えます。



選択項目	(D) High	Low
機能	操作力が重い	操作力が軽い

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [ ] → ▼ × 2 → ▶ または ◀

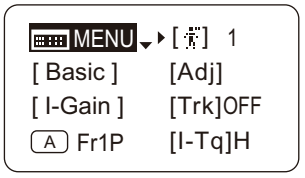
アイリス補正の ON/OFF を切り替える

エクステンダー（1.5x）を使用すると、光量が低下します。そのため、光量を維持するようにアイリスをオープン側に補正する機能が設定できます。

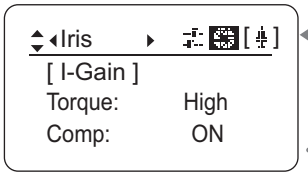
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



Iris 画面



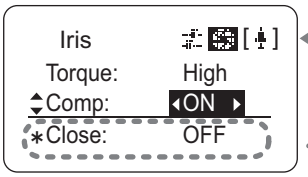
1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

［Comp］に下線が付きます。

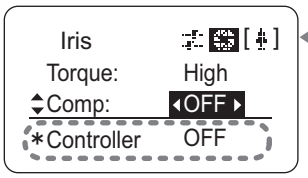
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



＊:『Comp』が ON 時に表示されます。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。



＊:『Comp』が OFF 時に表示されます。

『ご注意ください』
アイリス補正を ON に設定、エクステンダー（1.5x）のとき、アイリスは完全クローズにならない場合があります。このときは「アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える」で ON に設定してください。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	アイリス補正する	アイリス補正しない

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [ ] → ▼ × 3 → ▶ または ◀

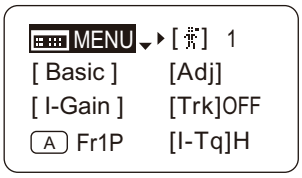
アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り替える

アイリス補正機能が ON になっているときに、エクステンダー（1.5x）を入れると、アイリスをクローズにできない状態になります。その対策として、クローズを検出したときは、クローズさせる機能を設定できます。

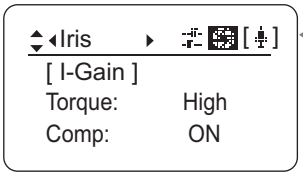
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

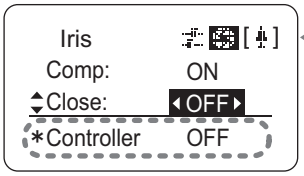


Iris 画面



1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

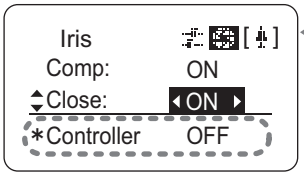
Iris 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 4 回押す

［Close］に下線が付きます。

前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

『ご注意ください』
カメラによっては、レンズのアイリス補正とカメラからのアイリスコントロールとの相互関係で、アイリスが正常に動作できない場合があります。そのときはアイリスクローズ検出機能を OFF にしてください。

＊：『Comp』が ON 時に表示されます。

『ご注意ください』
アイリス補正が ON 設定時に、アイリスクローズ検出が有効になります。

選択項目	(D) OFF	ON
機能	クローズ検出しない	クローズ検出する

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris ▸ [ ] → ▼ × 4 → ▶ または ◀

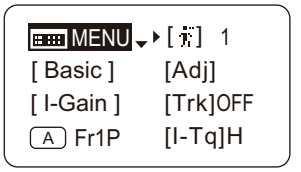
フォーカスデマンドによるアイリス操作の ON/OFF を切り替える

フォーカスデマンドによるアイリスの ON/OFF 切り替えが可能になります。

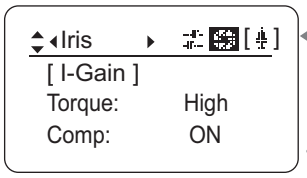
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



Iris 画面



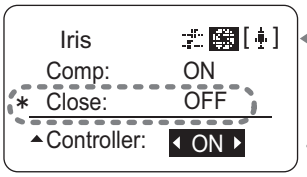
1 Set キーを押し、▶ キーを 3 回押す

Iris 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 5 回押す

［Controller］に下線が付きます。

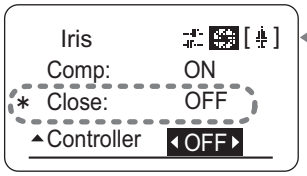
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



＊：『Comp』が ON 時に表示されます。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。



選択項目	ON	(D) OFF
機能	フォーカスデマンドで アイリス操作する	フォーカスデマンドで アイリス操作しない

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 3 → Iris [ ] → ▼ × 5 → ▶ または ◀

4.2.5 Zoom 画面で設定する

Zoom 画面では下記項目が設定できます。

ズームトラックの ON/OFF を切り替える Top
ズームサーボの立上がり特性を設定する
ズームサーボの止まり際特性を設定する
ズームメカ端部止まり特性を設定する
シーソーのカーブ特性を設定する Top
アナログデマンドのカーブ特性を設定する Top
ズームスピード調整ボリューム最大値を設定する
ズームスピード調整ボリューム最小値を設定する
ズームデマンドからのサーボ方式を設定する
ズームスピード調整ボリュームを
　デマンドに対して有効 / 無効に設定する
ズームデマンドの仕様を設定する

Top は、Top 画面でも設定変更可能項目

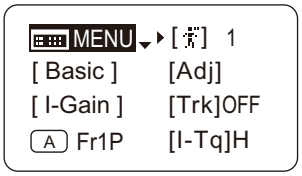
ズームトラックの ON/OFF を切り替える Top

ズームトラックの ON/OFF を切り替えることができます。

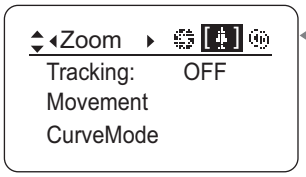
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User画面で設定する/ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面



Zoom 画面

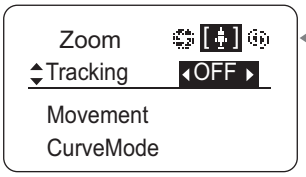


1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

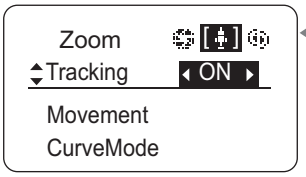
2 ▼ キーを押す

［Tracking］に下線が付きます。
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。



選択項目	(D) OFF	ON
機能	ズームトラック無効	ズームトラック有効

(D)：デフォルト値

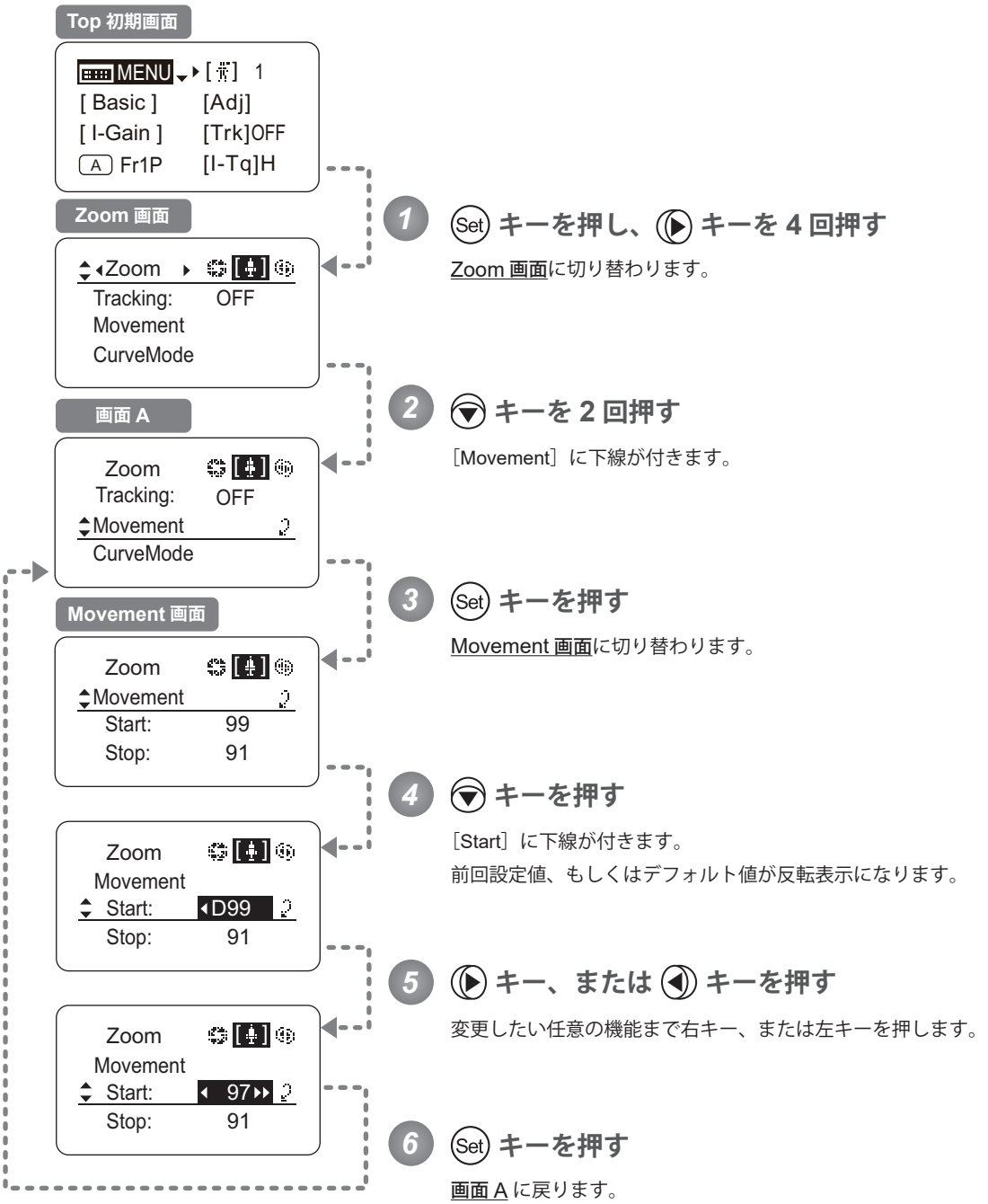
MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → ▼ → ▶ または ◀

ズームサーボの立上り特性を設定する

ズームシーソースイッチなどでズーム操作を行ったときの、ズーム動きだし時の特性を設定することができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



選択項目	00	～	(D) 99
機能	ゆっくり立上がる		急に立上がる

(D)：デフォルト値

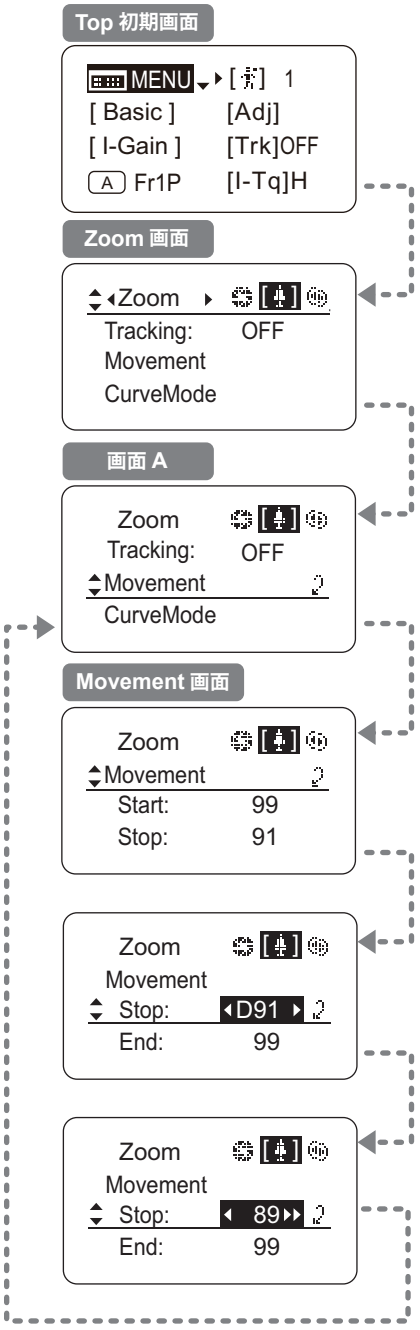
MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → ▼ × 2 → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

ズームサーボの止まり際特性を設定する

ズームシーソースイッチなどでズーム操作を行い、ズーム操作を停止したときの止まり際特性を設定することができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 2 回押す

［Movement］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

Movement 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 2 回押す

［Start］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

選択項目	00	～	99
機能	ゆっくり止まる		急に止まる

デフォルト値：91

MENU → Set → ▶×4 → Zoom → ▼×2 → Set → ▼×2 → ▶ または ◀ → Set

ズームメカ端部止まり際特性を設定する

ズームシーソースイッチなどでズーム操作を行ったときの、ズームメカ端部においての止まり際特性を設定することができます。

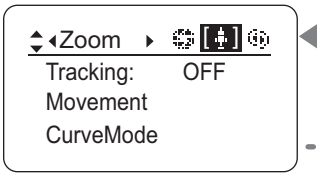
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

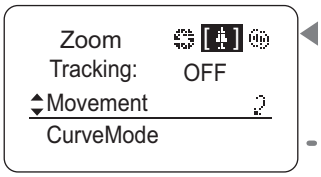
Top 初期画面



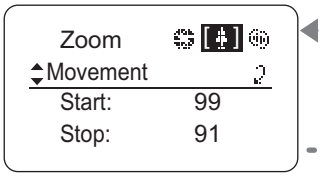
Zoom 画面

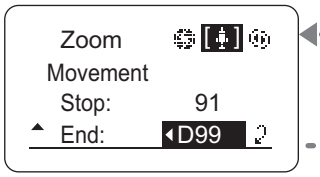


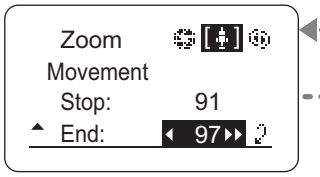
画面 A



Movement 画面







1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 2 回押す

［Movement］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

Movement 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 3 回押す

［End］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

選択項目	00	～	(D) 99
機能	ゆっくり止まる		急に止まる

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶×4 → Zoom → ▼×2 → Set → ▼×3 → ▶ または ◀ → Set

シーソーのカーブ特性を設定する Top

ズームシーソースイッチの押込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ [ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

Zoom 画面

◂Zoom ▸ [ ]
Tracking: OFF
Movement
CurveMode

画面 A

Zoom [ ]
Movement
CurveMode
SpeedAdj

CurveMode 画面

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: ◂ D5 ▸
Demand: 5

Zoom [ ]
CurveMode
Seesaw: ◂◂ 7 ▸
Demand: 5

1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

［CurveMode］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

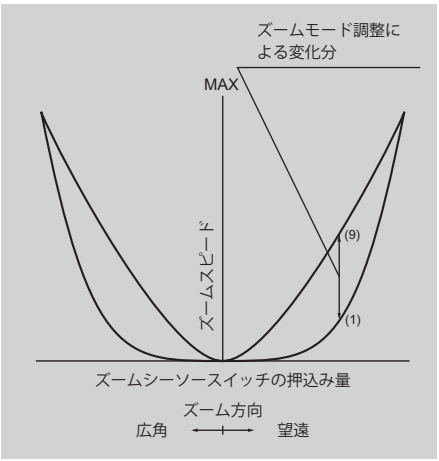
［Seesaw］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 4 → ◂Zoom ▸ [ ] → ▼ × 3 → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

アナログデマンドのカーブ特性を設定する Top

アナログデマンドの倒し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。
（設定する際、別画面に切り替わりますのでご注意ください。）

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

MENU ▸ [ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

Zoom 画面

◂Zoom ▸
Tracking: OFF
Movement
CurveMode

画面 A

Zoom
Movement
CurveMode
SpeedAdj

CurveMode 画面

Zoom
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: 5

Zoom
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: ◂ D5 ▸

Zoom
CurveMode
Seesaw: 5
Demand: ◂◂ 7 ▸

1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 3 回押す

［CurveMode］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを 2 回押す

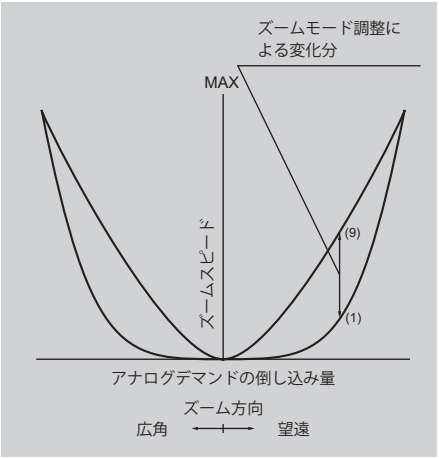
［Demand］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	2	3	4	(D)5	6	7	8	9

(D)：デフォルト値

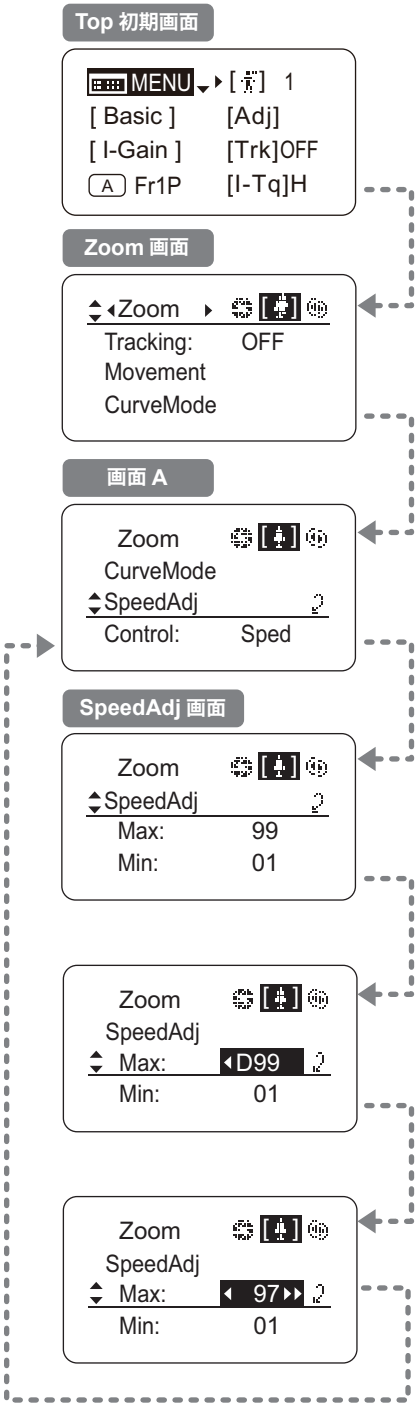
MENU → Set → ▶×4 → ◂Zoom ▸ [ ] → ▼×3 → Set → ▼×2 → ▶ または ◀ → Set

ズームスピード調整ボリューム最大値を設定する

ドライブユニットの最高ズームスピード調整ボリュームを Max にしたときの値を、設定することができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 4 回押す

［SpeedAdj］に下線が付きます。

3 Set キーを押す

SpeedAdj 画面に切り替わります。

4 ▼ キーを押す

［Max］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。

選択項目	Min 設定値 ～ (D)99

(D)：デフォルト値

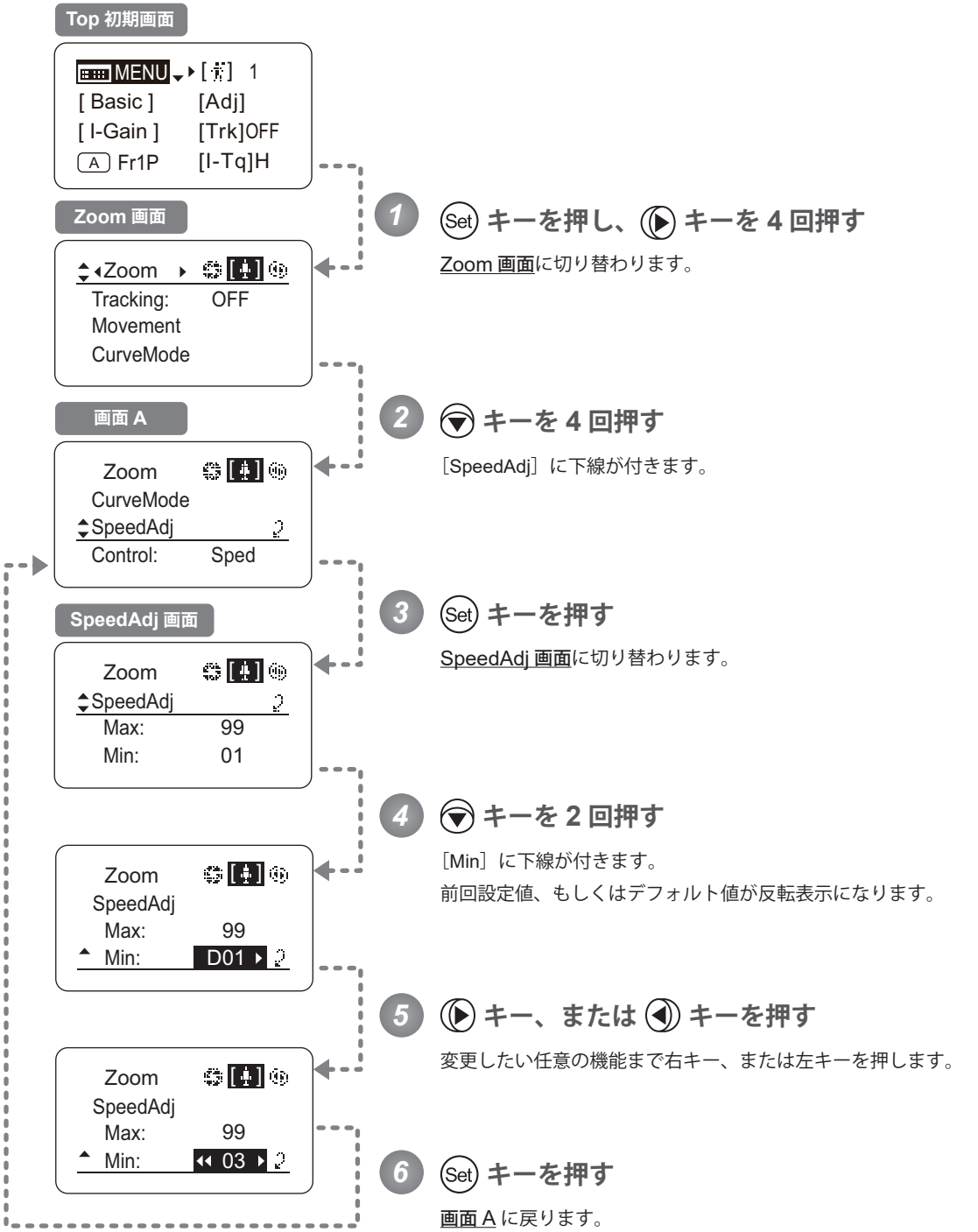
MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → ▼ × 4 → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

ズームスピード調整ボリューム最小値を設定する

ドライブユニットの最高スピード調整ボリュームを Min にしたときの値を、設定することができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User 画面で設定する / ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



選択項目	(D)01 ～ Max 設定値

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶×4 → Zoom → [ ] → ▼×4 → Set → ▼×2 → ▶ または ◀ → Set

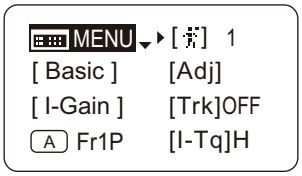
ズームデマンドからのサーボ方式を設定する

ズームデマンドからのサーボ方式をスピードサーボ、またはポジションサーボのいずれかに設定できます。

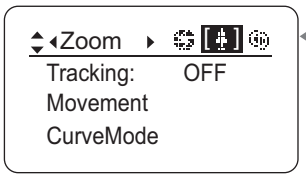
重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User画面で設定する/ユーザーを切り替える』をご覧ください。）

Top 初期画面

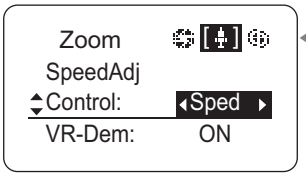


Zoom 画面



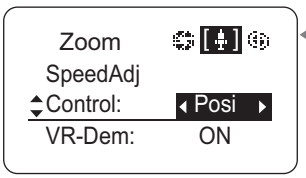
1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 5 回押す

［Control］に下線が付きます。
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Sped』、または『Posi』を切り替えます。

『ご注意ください』
『Posi』を選択したときは、シーソースイッチは使用できなくなります。
『Posi』を選択したときは、デマンドコネクタの接続は 1 系統のみです。
通常は『Sped』を選択します。

選択項目	(D) Sped	Posi
機能	スピードサーボ	ポジションサーボ

(D)：デフォルト値

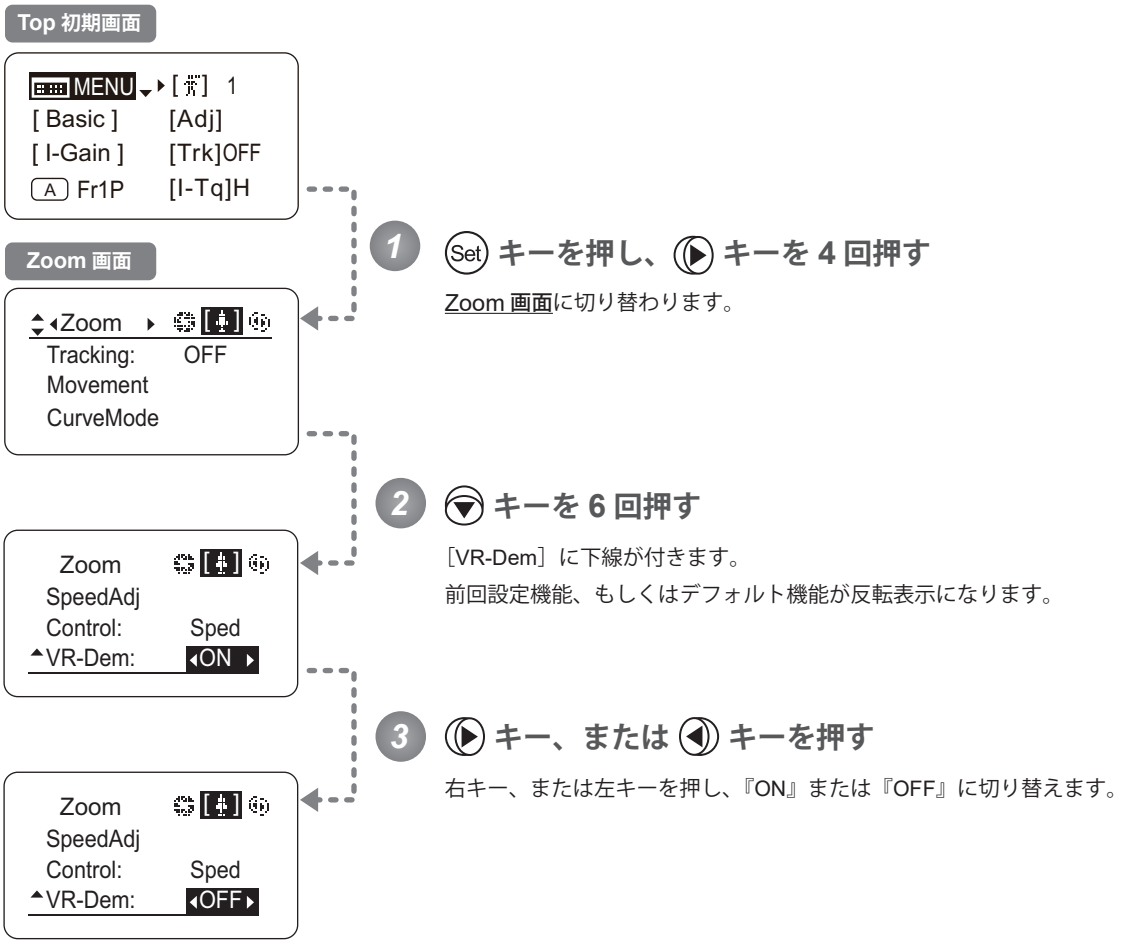
MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → ▼ × 5 → ▶ または ◀

ズームスピード調整ボリュームをデマンドに対して有効 / 無効に設定する

ドライブユニットの最高ズームスピード調整を、ズームデマンドに対して有効 / 無効にする設定ができます。

重要

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り替えておいてください。
（ユーザー切替え方法は、『4.1.3 ユーザーを切り替える』または『4.2.1 User画面で設定する/ユーザーを切り替える』をご覧ください。）



1 Set キーを押し、▶ キーを 4 回押す

Zoom 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 6 回押す

［VR-Dem］に下線が付きます。
前回設定機能、もしくはデフォルト機能が反転表示になります。

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	有効	無効

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ▶ × 4 → Zoom → ▼ × 6 → ▶ または ◀

4.2.6 Focus 画面で設定する

Focus 画面では下記項目が設定できます。

フォーカスデマンドのカーブ特性を設定する

フォーカスデマンドのカーブ特性を設定する

アナログフォーカスデマンドの操作に対して、カーブ特性を設定することができます。

Top 初期画面

MENU ▸[ ] 1
[Basic] [Adj]
[I-Gain] [Trk]OFF
A Fr1P [I-Tq]H

『ご注意ください』
フォーカスデマンドにはカーブ切替えスイッチを有し、そのスイッチは FAR 側を選択したときに有効になります。

1 Set キーを押し、◀ キーを 3 回押す

Focus 画面に切り替わります。

Focus 画面

Focus ▸[ ]
CurveMode

2 ▼ キーを押す

［CurveMode］に下線が付きます。

画面 A

Focus [ ]
CurveMode

3 Set キーを押す

CurveMode 画面に切り替わります。

CurveMode 画面

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: 5

4 ▼ キーを押す

［ADemand］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: D5

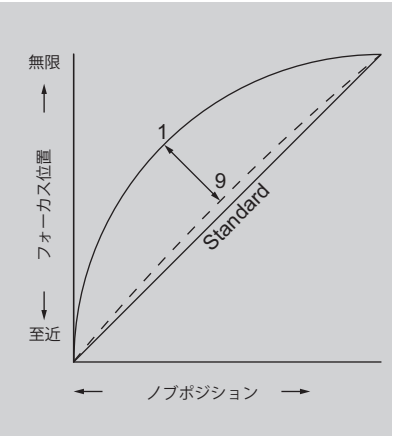
5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したい任意の機能まで右キー、または左キーを押します。

Focus [ ]
CurveMode
ADemand: 7

6 Set キーを押す

画面 A に戻ります。



選択項目	1	～	9
機能	カーブが大きい		カーブが小さい

デフォルト値：5

MENU → Set → ◀ × 3 → Focus ▸[ ] → ▼ → Set → ▼ → ▶ または ◀ → Set

4.2.7 Info 画面で設定する

Info 画面では下記項目が設定できます。

シリアル No. を確認する

3D 機能を設定する（3D 機能を設定する際は、3D 専用ケーブル「BC-100」の取扱説明書をご覧ください。）

エンコーダー出力を設定する

カメラシリアル通信の有効 / 無効を設定する

カメラからの指令信号の入力経路を設定する

/ Technology 使用時の距離単位を設定する

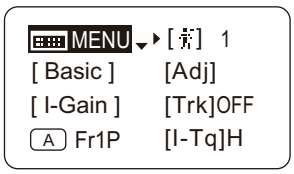
ドライブユニットとレンズ本体との通信状態を確認する

システムモードで設定をする（この設定はキヤノンサービスマン専用となります。）

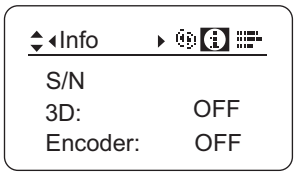
シリアル No. を確認する

レンズ本体とドライブユニットのシリアル No. を確認することができます。

Top 初期画面

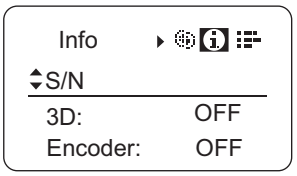


Info 画面



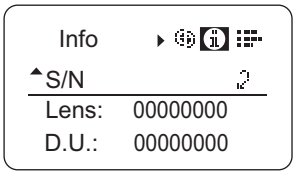
1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを押す

［S/N］に下線が付きます。



3 Set キーを押す

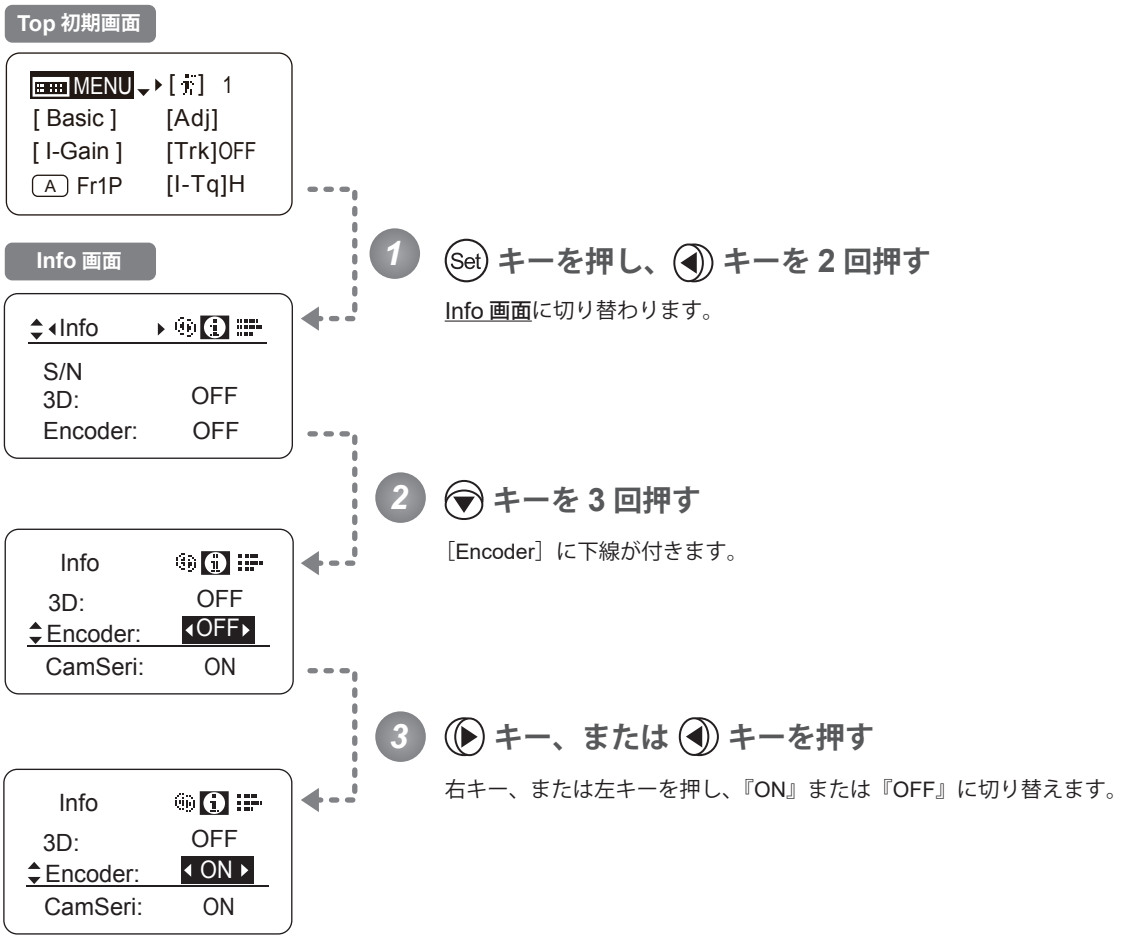
レンズ本体とドライブユニットのシリアル No. が表示されます。

『ご注意ください』
カメラマウントからレンズ本体に電源が供給されていない場合は、レンズ本体のシリアル No. は表示されません。

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → 1 → ▼ → Set

エンコーダー出力を設定する

エンコーダー出力機能の有効 / 無効を設定できます。有効の場合は、バーチャルコネクターより出力されます。詳しくは、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。



選択項目	(D) OFF	ON
機能	出力無効	出力有効

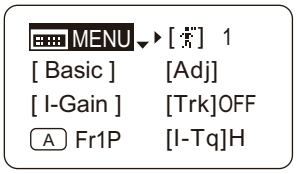
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → 1 → ▼ × 3 → ▶ または ◀

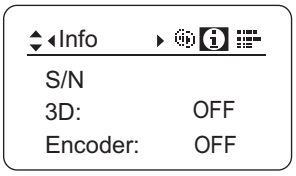
カメラシリアル通信の有効 / 無効を設定する

カメラとレンズの間のインターフェースには、シリアル通信制御とアナログ制御の 2 種類があります。本設定は、このインターフェースの自動認識を行う設定と、アナログ制御を行う設定の切替えを行います。
出荷時設定は " 有効 " で、このときレンズは、シリアル通信制御とアナログ制御の自動認識を行います。
" 無効 " を選択すると、カメラとレンズ間のインターフェースはアナログ制御となります。

Top 初期画面

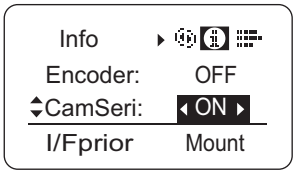


Info 画面



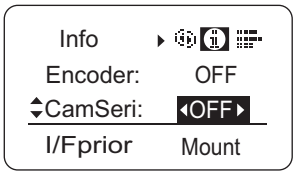
1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。



2 ▼ キーを 4 回押す

［CamSeri］に下線が付きます。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『ON』または『OFF』に切り替えます。

選択項目	(D) ON	OFF
機能	カメラシリアル通信有効	カメラシリアル通信無効

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 4 → ▶ または ◀

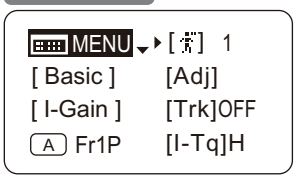
カメラからの指令信号の入力経路を設定する

カメラからの指令信号の入力経路は、マウント経由と 12 ピンケーブル経由の 2 種類があります。この設定では、カメラからの指令信号入力経路を設定します。出荷時は『Mount』に設定されていますが、このときレンズは、マウント経由の指令信号を優先的に採用します。
ただし、マウント経由の指令信号が入力されていない場合は、12 ピンケーブル経由の指令信号に自動的に切替わります。また、『Cable』を選択すると、12 ピンケーブル経由の指令信号のみを採用します。

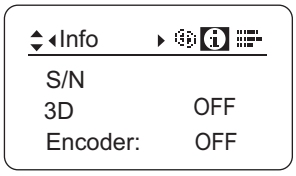
『ご注意ください』

カメラのオートフォーカス機能を使用する場合は、『Mount』に設定してください。（オートフォーカス対応カメラにつきましては、キヤノン（株）、または販売会社へお問い合わせください。）

Top 初期画面



Info 画面

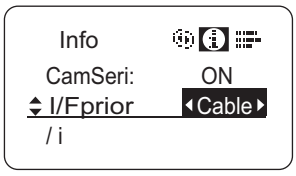


1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

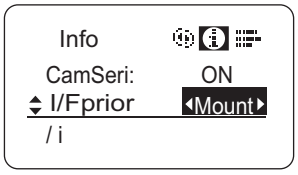
2 ▼ キーを 5 回押す

［I/Fprior］に下線が付きます。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Cable』または『Mount』に切り替えます。



選択項目	(D) Mount	Cable
機能	マウント経由	12 ピンケーブル経由

(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 5 → ▶ または ◀

Technology 使用時の距離単位を設定する

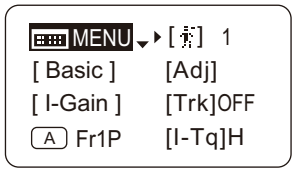
Technology 使用時 (PL マウントカメラ搭載時のみ) のカメラへの送信情報の距離単位（Feet/Meter) の初期設定をすることができます。この設定により、実際の被写体距離、過焦点距離、至近側被写体距離、無限側被写体距離、入射瞳位置の情報が設定した距離単位で送信されます。

『ご注意ください』

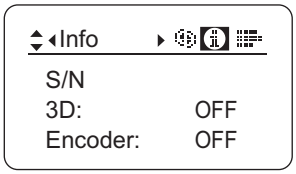
カメラ側で距離単位が設定されている場合は、カメラ側の設定が優先されます。

はクック・オプティクス社の登録商標です。

Top 初期画面

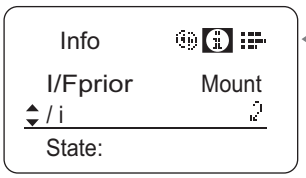


Info 画面



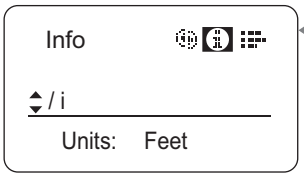
1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

Info 画面に切り替わります。

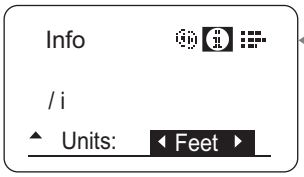


2 ▼ キーを 6 回押す

［/ i］に下線が付きます。

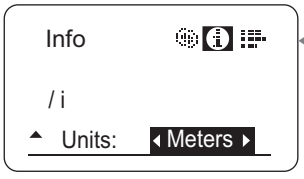


3 Set キーを押す



4 ▼ キーを押す

［Units］に下線が付きます。
前回設定値、もしくはデフォルト値が反転表示になります。



5 ▶ キー、または ◀ キーを押す

右キー、または左キーを押し、『Feet』または『Meters』に切り替えます。

選択項目	(D) Feet	Meters
機能	フィート	メートル

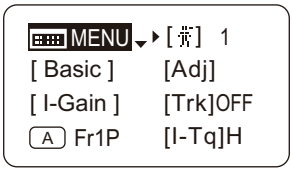
(D)：デフォルト値

MENU → Set → ◀ × 2 → Info → ▼ × 6 → Set → ▼ → ▶ または ◀

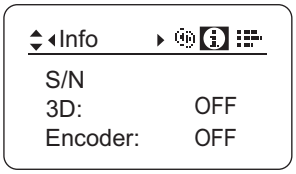
ドライブユニットとレンズ本体の通信状態を確認する

ドライブユニットとレンズ本体の通信状態を表示します。

Top 初期画面



Info 画面

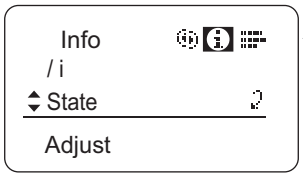


1 Set キーを押し、◀ キーを 2 回押す

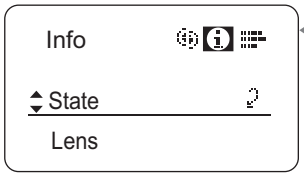
Info 画面に切り替わります。

2 ▼ キーを 7 回押す

［State］に下線が付きます。

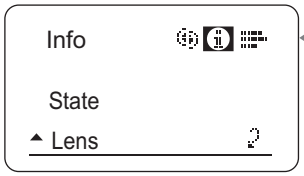


3 Set キーを押す

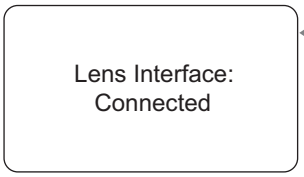


4 ▼ キーを押す

［Lens］に下線が付きます。



5 Set キーを押す



この画面が表示されたら、通信状態は正常です。

“Non-connected” の表示が出た場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。

『ご注意ください』
カメラマウントからレンズ本体に電源が供給されていない場合は、“Non-connected” が表示されます。

MENU → Set → ◀ × 2 → Info ▸ → ▼ × 7 → Set → ▼ → Set

4.2.8 FoI. 画面で設定する

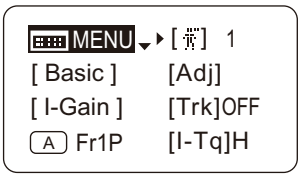
FoI. 画面では下記項目が設定できます。

レンズのフォロー（Iris, Zoom, Focus）を表示する

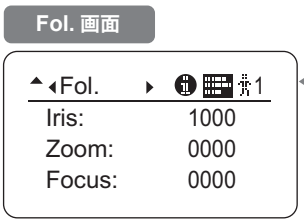
レンズのフォロー（Iris, Zoom, Focus）を表示する

Iris, Zoom, Focus それぞれのメカ的に動作する全領域を、0 ～ 1000 の相対値として表示します。

Top 初期画面



Fol. 画面



1 Set キーを押し、◀ キーを押す

Fol. 画面に切り替わり、Iris, Zoom, Focus フォローが相対表示されます。

『ご注意ください』

Fol. 画面表示中は、2 分以上操作しない状態が続いても、ディスプレイ表示が自動的には消えません。

消す場合は、ディスプレイスイッチを押してください。

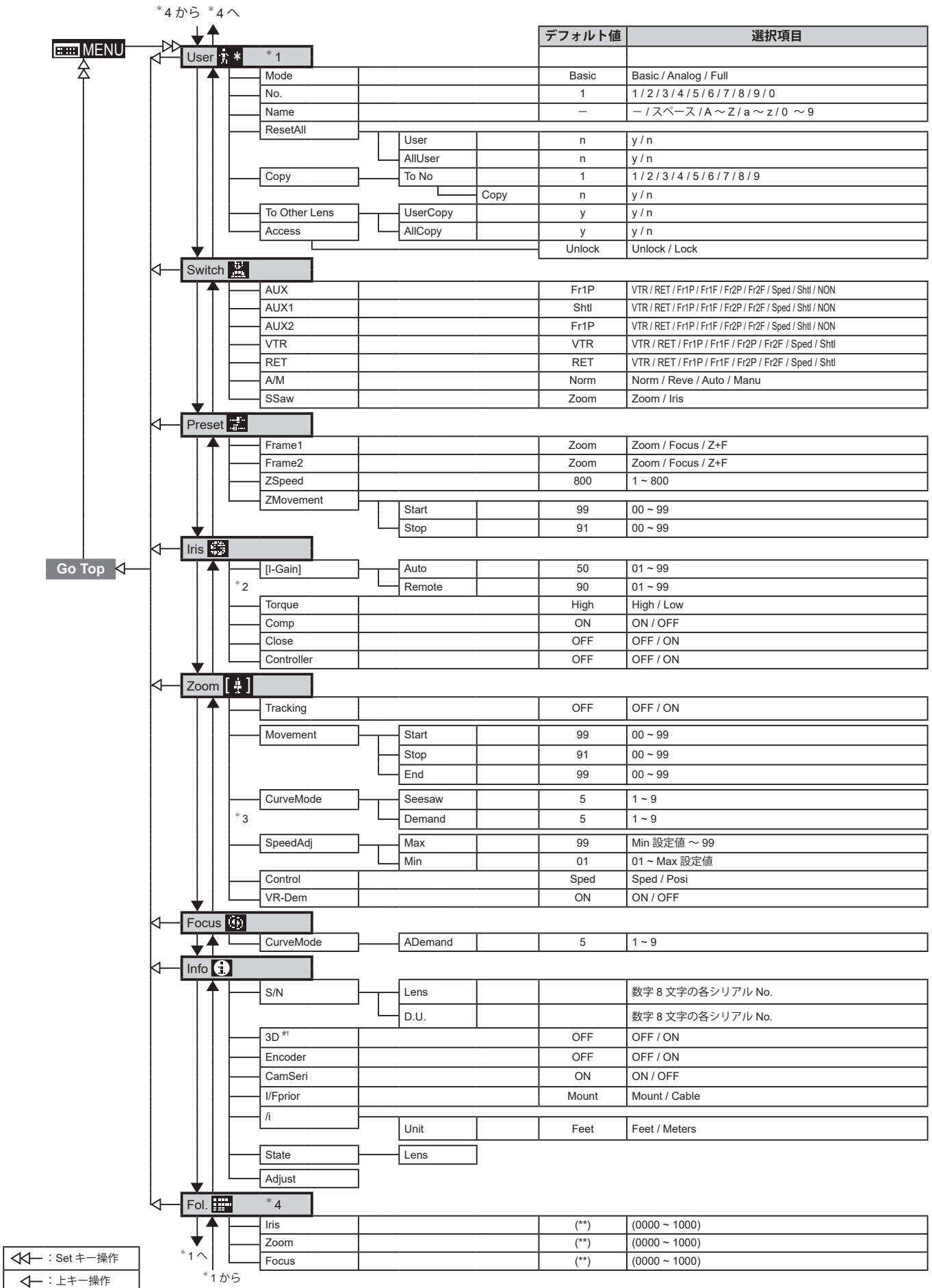
MENU → Set → ◀ → Fol.

4.3 設定一覧

Top

	デフォルト値	選択項目
MENU		次ページ *1 へ
[ ]	1	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 0
[Basic]	Basic	Basic
[Adj]	n	n / y
[I-Gain]		
		次ページ *2 へ
[Trk]	OFF	OFF / ON
A	Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
[I-Tq]	H	H / L
A 1	Shtl	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
V	VTR	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl
A 2	Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
R	RET	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl
[Z.M.]		
		次ページ *3 へ
	Zoom	Zoom / Iris
AM	Norm	Norm / Reve / Auto / Manu

エスケープ操作	User 0 設定状態に移動	Display スイッチと Set キーを同時に 2 秒押す



			デフォルト値	選択項目
User ＊1				
Mode			Basic	Basic / Analog / Full
No.			1	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 0
Name			－	－ / スペース / A ～ Z / a ～ z / 0 ～ 9
ResetAll	User		n	y / n
	AllUser		n	y / n
Copy	To No		1	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9
		Copy	n	y / n
To Other Lens	UserCopy		y	y / n
Access	AllCopy		y	y / n
			Unlock	Unlock / Lock
Switch				
AUX			Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
AUX1			Shtl	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
AUX2			Fr1P	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl / NON
VTR			VTR	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl
RET			RET	VTR / RET / Fr1P / Fr1F / Fr2P / Fr2F / Sped / Shtl
A/M			Norm	Norm / Reve / Auto / Manu
SSaw			Zoom	Zoom / Iris
Preset				
Frame1			Zoom	Zoom / Focus / Z+F
Frame2			Zoom	Zoom / Focus / Z+F
ZSpeed			800	1 ~ 800
ZMovement	Start		99	00 ~ 99
	Stop		91	00 ~ 99
Iris				
[I-Gain] ＊2	Auto		50	01 ~ 99
	Remote		90	01 ~ 99
Torque			High	High / Low
Comp			ON	ON / OFF
Close			OFF	OFF / ON
Controller			OFF	OFF / ON
Zoom [ ]				
Tracking			OFF	OFF / ON
Movement	Start		99	00 ~ 99
	Stop		91	00 ~ 99
	End		99	00 ~ 99
CurveMode ＊3	Seesaw		5	1 ~ 9
	Demand		5	1 ~ 9
SpeedAdj	Max		99	Min 設定値 ～ 99
	Min		01	01 ~ Max 設定値
Control			Sped	Sped / Posi
VR-Dem			ON	ON / OFF
Focus				
CurveMode	ADemand		5	1 ~ 9
Info				
S/N	Lens			数字 8 文字の各シリアル No.
	D.U.			数字 8 文字の各シリアル No.
3D #1			OFF	OFF / ON
Encoder			OFF	OFF / ON
CamSeri			ON	ON / OFF
I/Fprior			Mount	Mount / Cable
/i	Unit		Feet	Feet / Meters
State	Lens			
Adjust				
Fol. ＊4				
Iris			(**)	(0000 ~ 1000)
Zoom			(**)	(0000 ~ 1000)
Focus			(**)	(0000 ~ 1000)

#1	：3D 通信を設定する際は、「3D 専用ケーブル取扱説明書」をご覧ください。

Memo

5

アナログモードで操作する

5. アナログモードで操作する

5.1 Top 画面から設定する

ディスプレイスイッチを押して表示される画面を Top 画面と言います。
アナログモードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 3 項目です。最初に表示される画面を Top 初期画面と言います。また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。

アナログモード Top 初期画面



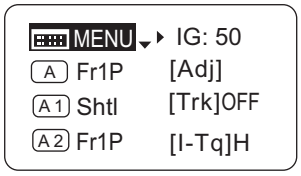
5.1.1 アナログモードを選択する

工場出荷時には簡易モードに設定されていますが、アナログモードに切り替える場合は下記の手順にて設定を切り替えることができます。
アナログモードは従来型ドライブユニット（アナログ仕様）の操作をする場合に選択します。このモードではデジタル機能が使用できなくなります。

- VTR・RET・IRIS A/M・IRIS INST のスイッチは、刻印文字通りの機能になります。ロッカースイッチは、通常のズーム操作スイッチになります。
- AUX・MEMO のスイッチは使用できません。
- オートアイリスゲイン調整はディスプレイ操作または、トリマー操作で設定ができます。
- シャトルショット・フレームプリセット・スピードプリセット・ズームトラックの機能は使用できません。

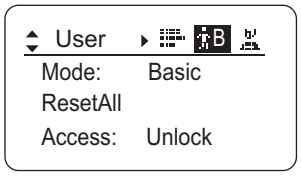
簡易モード⇒アナログモードへの切替え

簡易モード Top 初期画面



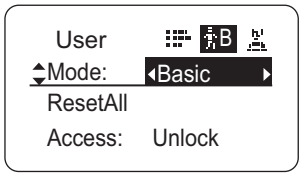
1 Set キーを押す

簡易モード User 画面



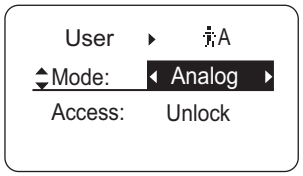
2 キーを押す

[Basic] が反転表示になります。



3 キーを押す

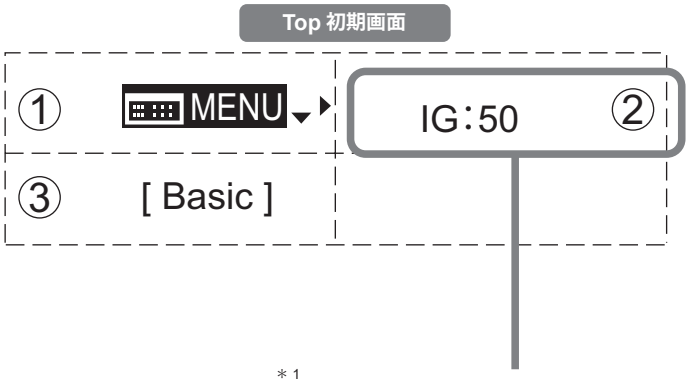
[Analog] が反転表示に切り替わり、確定されました。



MENU → Set → ▼ → ▶ → [Analog]

5.1.2 Top 画面について

アナログモードの Top 画面において設定可能項目は、全部で 3 項目で、最初に表示される画面を Top 初期画面といいます。
また、項目によっては設定状況の確認を行うことができます。（下図*1）



*1

線内：現在の設定状況が表示される項目です。
例：「IG：50」はオートアイリスゲイン値が
50 であることを示しています。

---

① MENU **MENU 画面**

『5.2 MENU 画面から設定する』をご覧ください。

---

② IG **オートアイリスゲイン**

オートアイリスゲインの値を変更することができます。

『5.1.3 オートアイリスゲインを設定する』をご覧ください。

---

③ [Basic] **簡易モードへの切替え**

簡易モードに切り替えることができます。

『5.1.4 簡易モードに切り替える』をご覧ください。

5.1.3 オートアイリスゲインを設定する [IG]

出荷時には適正に設定されていますが、設定変更することができます。
変更方法には、オートアイリスゲイン調整トリマーによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）とディスプレイ操作による変更方法とがあります。2 つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。
オートアイリスゲインの設定値は、全てのユーザーに共通で使用されます。

Top 初期画面

MENU ▸ IG: 50
[Basic]

『ご注意ください』
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、
→ ドライブユニットの A/M スイッチの設定が［Auto］モードになっていることを確認します。
→ カメラのアイリスモードを［Auto］にします。

1 ▶ キーを押す
反転表示になります。

MENU ◂ IG:50
[Basic]

『ご注意ください』
レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが最高になるように設定してください。

2 Set キーを押す
点滅表示になります。

IG: 50

3 ▶ キー、または ◀ キーを押す
変更したい任意の数値まで右キー、または左キーを押します。

IG: 51

4 Set キーを押す
点滅表示から反転表示に切り替わり、確定されました。

MENU ◂ IG:51
[Basic]

選択項目	01	～	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

デフォルト値：工場出荷値により異なりますが、アイリスゲイン調整トリマーでの設定値となります。

MENU → ▶ → IG: 50 → Set → ▶ または ◀ → Set

5.1.4 簡易モードに切り替える [Basic]

Top 画面から簡易モードへの切替えができます。

アナログモード⇒簡易モードへの切替え

アナログモード Top 初期画面



1 ⊛ キーを押す

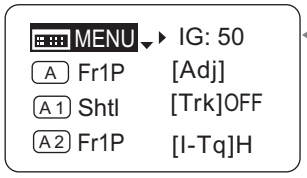
[Basic] が反転表示になります。



2 Set キーを押す

簡易モード Top 初期画面に切り替わりました。

簡易モード Top 初期画面

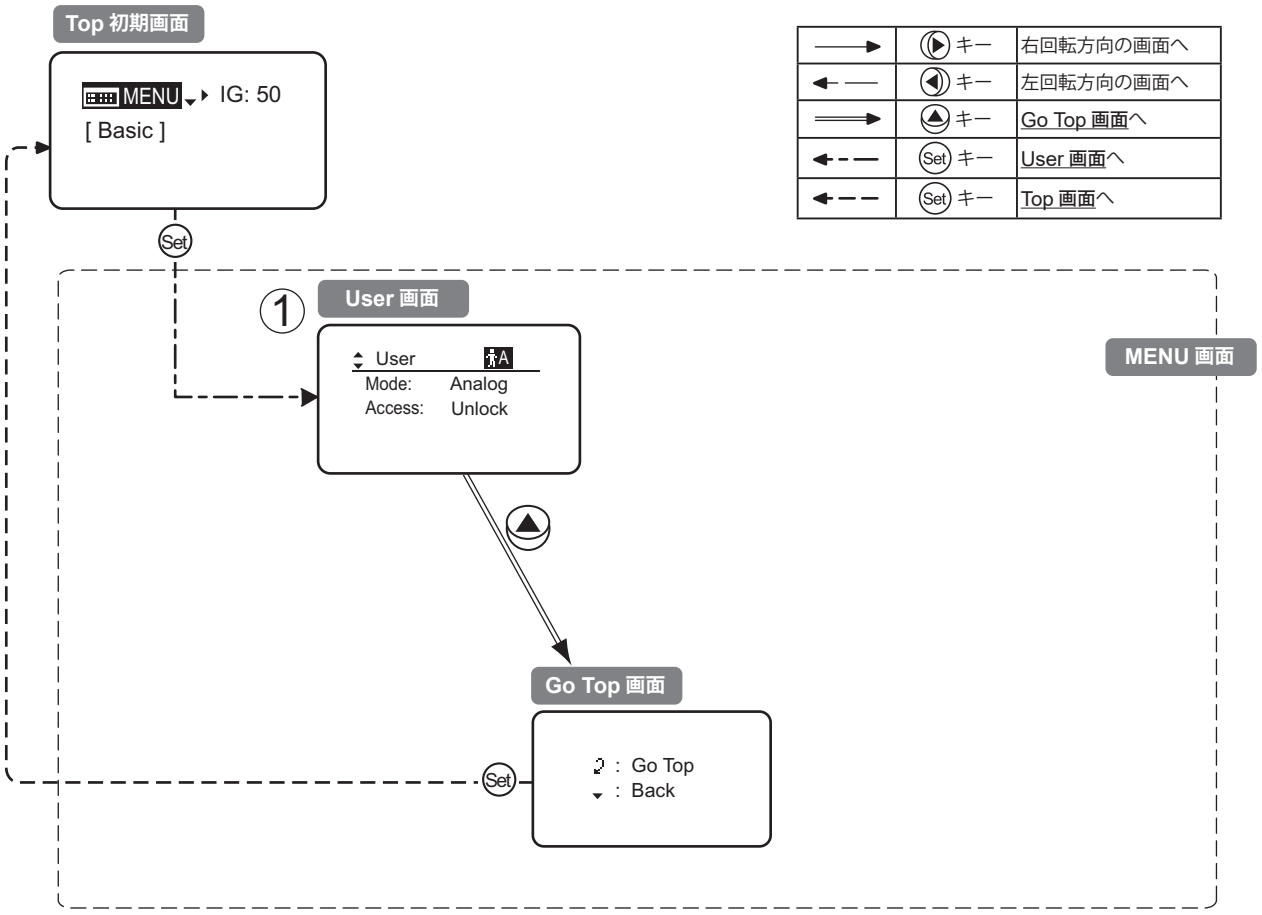


MENU → ⊛ → [Basic] → Set

5.2 MENU 画面から設定する

アナログモードの MENU 画面*では、本情報ディスプレイにある 2 種類の設定項目を設定または表示させることができます。
アナログモードの MENU 画面には、User 画面があります。
Top 画面の［MENU］を選択し Set キーを押すと、User 画面が表示されます。（下図参照）

*： MENU 画面という画面そのものは存在しませんが、[MENU] を選択し Set キーを押して表示される画面を総称して MENU 画面と呼びます。



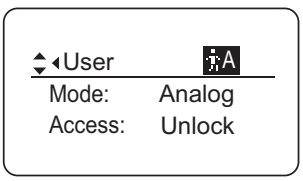
① User 画面 5.2.1

5.2.1 User 画面で設定する

User 画面では下記項目が設定できます。

モードを切り替える
ロックモードを設定する

アナログモード User 画面



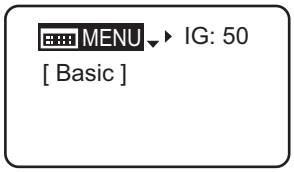
モードを切り替える

使用するモード（簡易モード、通常モード）への切替えができます。

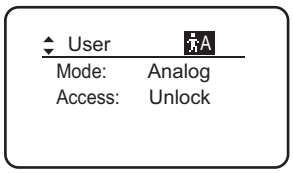
重要

電源を OFF しても、モードの切替え設定を記憶します。

Top 初期画面



User 画面

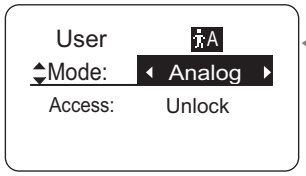


1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

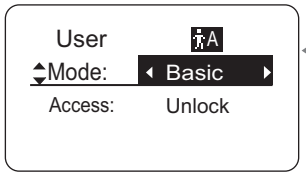
2 ▼ キーを押す

［Mode］に下線が付きます。
前回設定のモードが反転表示になります。



3 ▶ キー、または ◀ キーを押す

変更したいモードまで右キー、または左キーを押します。



選択項目	(D) Basic	Full	Analog
設定保存	簡易モード	通常モード	アナログモード

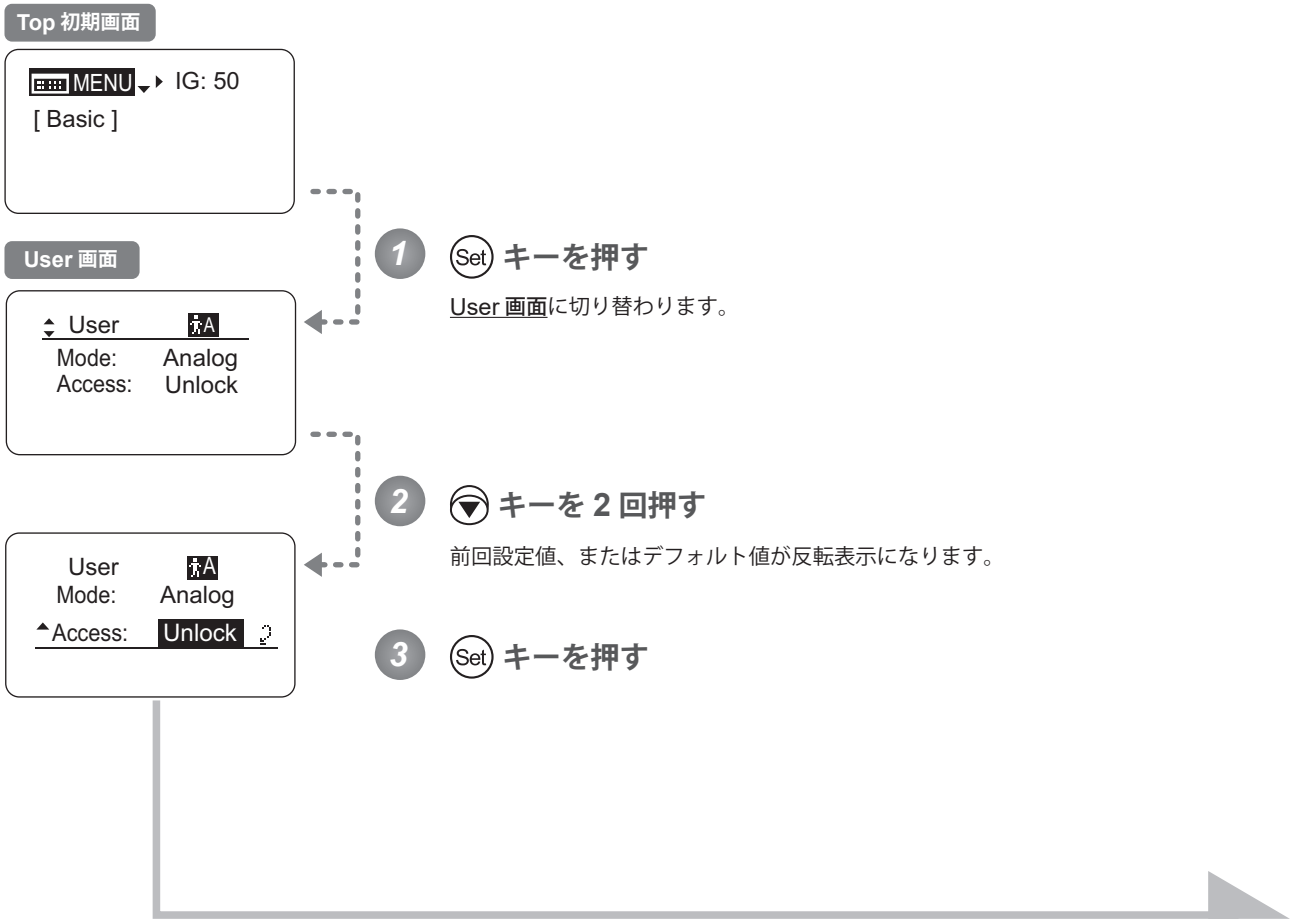
(D)：デフォルト値

MENU → (Set) → User → ▼ → ▶ または ◀

ロックモードを設定する

設定した機能が容易に変更されないようにするため、特定の機能にロックモードを設定できます。ロックモード設定はユーザーに関係なく、一度設定すると全ユーザーに適用されます。
アナログモードのディスプレイで可能な操作は、オートアイリスゲイン調整とアナログモードから他のユーザーへの変更です。ただし、ロック時は他のユーザーへの切り替えの機能がロックされます。解除するには設定時のパスワードが必要です。

（1）Lock 操作



次ページへ

前ページより



4 パスワードを入力し、(Set) キーを押す

パスワード文字入力

上下キーで文字を探し、桁の移動および修正をするときは左右キーで行ってください。
パスワード入力完了までは、絶対に Set キーを押さないでください。

5 (◀) キーを押し、(Set) キーを押す

Lock が設定されました。

『ご注意ください』

パスワードについて

本製品には、パスワードを特別に設けておりません。Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時のパスワードです。したがって、パスワードは毎回メモを取っておくなどしてください。パスワードを忘れた場合は、キヤノン（株）、または販売代理店にお問い合わせください。パスワードは未入力から最大 8 桁まで入力できます。

パスワード入力可能文字

選択項目	(D) __ー ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789
文字数	最大 8 文字まで

(D)：デフォルト値
__ ：スペース

選択項目	(D) Unlock	Lock

(D)：デフォルト値

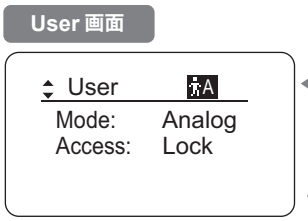
(Set) → (▼) × 2 → (Set) → パスワード入力 → (Set) → (◀) → (Set) → (DISPLAY)

(2) Unlock 操作



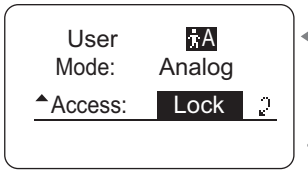
1 (Set) キーを押す

User 画面に切り替わります。

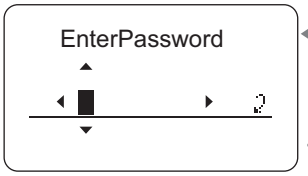


2 (▼) キーを 2 回押す

前回設定値、またはデフォルト値が反転表示になります。



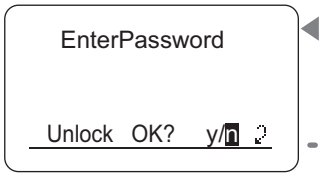
3 (Set) キーを押す



4 パスワードを入力し、(Set) キーを押す

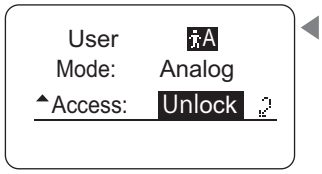
パスワード文字入力

上下キーで文字を探し、桁の移動および修正をするときは左右キーで行ってください。
パスワード入力完了までは、絶対に Set キーを押さないでください。



5 (◀) キーを押し、(Set) キーを押す

Unlock が設定されました。



選択項目	(D) Unlock	Lock

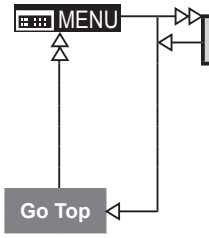
(D)：デフォルト値

(Set) → (▼) × 2 → (Set) → パスワード入力 → (Set) → (◀) → (Set) → DISPLAY

5.3 設定一覧

	デフォルト値	選択項目	ページ
Top			
MENU		次ページ＊1へ	
IG	50	01 ～ 99	
[Basic]		Basic	

エスケープ操作	User 0 設定状態に移動	Display スイッチと Set キーを同時に 2 秒押す	



		デフォルト値	選択項目	ページ
Mode		Basic	Basic / Analog / Full	
Access		Unlock	Unlock / Lock	

：Set キー操作	：右キー操作
：上キー操作	：左キー操作

Memo

キヤノン株式会社
〒 146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

BT1-D026-A-JPN
©2022.09 CANON INC.